

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO MAY 2016 VOL.64 NO.5

ロータリーの友5月号 第64巻 第5号
平成28年5月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻761号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

5

2016



異文化に接して

This Close

ポリオ撲滅に取り組むロータリアンたち

Rotary 



1949 年

東京ロータリークラブが国際ロータリーに復帰

1940 年、国際ロータリー（R I）から脱会した日本のロータリークラブですが、戦後、1949 年に復帰が認められました。同年 3 月 29 日、東京ロータリークラブは、旧登録番号 855 で、R I に再登録され、4 月 27 日、例会でジョージ・ミーンズ事務総長から小林雅一会長に、認証状が手渡されました。

ロータリーの物語は書き換えられなければならない

親愛なるロータリアンの皆さん、数年前、善意ある開発援助機関が、ケニアのカノ平原のある地域社会で水供給の改善事業を引き受けました。実行委員会が結成され、会議が開かれ、地元の人からも意見を聞きました。そして、灌漑^{かんがい}と家畜用の水供給システムを改善するという主なニーズが特定されました。地元の代表者が望む通りに、このニーズに取り組む計画を立て、すぐに作業が始まりました。

しかし、工事が始まると、地元の女性グループが即座に反対の声を上げ、水の迂回路^{うかい}を造ろうとする作業員の前に立ちはだかりました。さらなる調査の結果、農業用に迂回させようとした水は、何世帯もが飲料水や生活水として使う唯一の水源だったということがわかりました。開発プロジェクトは一からやり直しとなりました。

なぜこんなことが起きたのでしょうか。それは地域住民を代表するグループがすべて男性で、誰一人として女性の声を聞かなかったからです。計画のどの段階でも、男性たちは地域の事情とニーズをよく知り、地域を代弁し、地域を代表できると決めてかかっていた。これが実情とはほど遠いということは明らかです。地域のニーズとリソースをよく理解していたのは女性たちでしたが、彼女らの意見を求められることはありませんでした。

ロータリーに女性が入会するようになったのはわずか 30 年ほど前のことですが、それ以来、ロータリーが最も生産的な状態であることは偶然ではありません。1995 年当時、女性会員は 20 人に 1 人にすぎませんでしたが、今では 5 人に 1 人の割合です。進歩していますが、まだ十分ではありません。私たちが地域の代表になりたいと考えるなら、その地域の状況を反映させなくてはならないというのが常識です。そして、地域のために十分に奉仕したいのなら、ロータリーに地域の実情を十分に取り入れなければならないのです。

男女平等に関するロータリーの方針は非常に明確です。しかしながら、ほぼ 5 分の 1 のクラブは女性の入会を今も拒み続けています。会員となるのにふさわしい女性が見つからないと言うのです。そう論じるロータリアンに対して、私はこう申し上げるでしょう。その方こそ、ロータリアンに求められる最も基本的な 2 つの資質、すなわち「誠実さ」と「良識」が欠けている、と。

女性への門戸を閉ざすクラブは、持ちうる才能、能力、人脈の半分以上を見逃しています。地域社会や人々への奉仕に欠かせない、全体像を失っているのです。私たちの可能性を限定するような固定概念に固執すれば、奉仕活動だけでなく組織全体がダメージを受けるでしょう。またパートナー団体が私たちを真剣にとらえることはなくなり、入会見込者にとっては魅力のない団体と映るに違いありません。特にロータリーの未来に欠かせない若い層を失うことになります。

女性差別を容認することは、ロータリーをまったく見当違いの組織へと追い込むことになるでしょう。私たちはポール・ハリスの時代に生きているふりをするわけにはいきませんし、ハリス自身もそれを望んではいないはずです。ハリスが「ロータリーの物語は何度も何度も書き換えられなければならない」と言ったように、ハリスが誇りに思えるようなロータリーの物語を共につづいていきましょう。

編集部注 * 日本では 20 人に 1 人 ** 日本では約 4 割



原文（英語）は
こちらから

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

K. R. Ravindran

K. R. RAVINDRAN
2015-16年度 国際ロータリー会長



世界へのプレゼントになろう



5月は青少年奉仕月間です

- 3 RI 会長メッセージ
ロータリーの物語は
書き換えられなければならない 
RI 会長 K. R. ラビンドラン
-
- 14 青少年奉仕
異文化に接して — 青少年交換派遣を通して
元ロータリー青少年交換学生
第2780地区 諏訪 亮／第2740地区 對馬 ゆうみ／
第2510地区 大作 公美子／第2710地区 田村 梨瑛／
第2820地区 早川 日向子
ロータリー青少年交換学生
第2520地区 成澤 みく
-
- 18 This Close
ポリオ撲滅に取り組むロータリアンたち
浦和南RC／熊本城東RC／牛久RC／
熊本南RC ローターアクト委員長 馬場 大介／
郡上八幡RC／守山RC／佐久RC／宇佐八幡RC
-
- 21 Rotary いま……
あなたのクラブに女性会員はいますか
-
- 22 日本から平和のメッセージを発信
東京米山友愛RC 関 博子
東京米山友愛RC 金 王環／楊 錦華／
広島南RC 川妻 二郎
-
- 6 ■ロータリーとは
25 ■パズルdeロータリー
40 ■エバンストン便り
40 ■管理委員長の思い 
41 ■「パズルdeロータリー」(2月号)の答えと解説
42 ■ロータリー掲示板
新RC・RC事務所住所変更・RC例会変更・新RAC・広報誌の
ご案内・2016-17年度版ロータリー手帳のご案内・『友』誌で購読
数変更についてのごお願い・RAC名称変更・地区別クラブ数／
会員数／出席率一覧表・『友』6月号主要記事予定
44 ■日本ロータリー分布図
44 ■奥付
45 ■ご投稿をお待ちしています(投稿規定)

- 7 特集
子どもたち、若い人たちが
夢を持てる未来のために④
日向RC 日高 秀和／観音寺ロータリークラブ／
倉敷水島ロータリークラブ／横浜旭RC 五十嵐 正／
びわ湖八幡ロータリークラブ／
松江南RC 雑誌委員長 和久本 光／
旭川東北RC 畠山ルミ子／福島RC 会長 幡 研一／
東京愛宕ロータリークラブ／沼田中央ロータリークラブ／
大東RC 国際奉仕・世界社会奉仕委員長 中野 秀一／
東大阪RC 池本 達也
-
- 26 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 5月号から
-
- 28 心は共に 東日本大震災
あすかRC／宇都宮RC 雑誌・広報委員長 松井 公彦／
石巻南RC 広報 及川 幸八・
岐阜長良川RC 会長 高井 宏康
-
- 30 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ⑮
縁と仲間がつくる“和”の心
津南RC 佐々木 喬
米山学友 鄭 珉昊
-
- 32 フィリピンの子どもたちを支援
一般財団法人比国育英会バギオ基金
-
- 34 視点 ガバナーのページ
第2650地区 中澤 忠嗣／第2660地区 立野 純三
第2670地区 山田 戒乗／第2680地区 丸尾 研一
第2690地区 佐藤 芳郎／第2700地区 本田 正寛
第2710地区 東 良輝／第2720地区 野田 三郎
第2730地区 野中 玄雄／第2740地区 宮崎 清彰
-
- 39 「お楽しみ」がいっぱい
ソウル国際大会 5月28日～6月1日
2016年ソウル国際大会ホスト組織委員会

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp



P14～17 青少年交換学生たちは、海外生活を通じてさまざまな経験をしています

ロータリーの友
委員会

委員長 橋本 長平 (京都東)
副委員長 清水 良夫 (横浜)
R I 理事 杉谷 卓紀 (玉名)
R I 理事エレクト 斎藤 直美 (豊田)

特別顧問 中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
顧問 藤居 彰一 (日立)
大野 清一 (横浜東)
田中 俊實 (鹿屋)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)

地区
代表委員

2500 森山 昌彦 (旭川北)	2830 平川 賢悦 (青森モーニング)	2650 小川 秀明 (京都南)
2510 荒木 敏博 (岩見沢)	2840 松島 宏明 (桐生)	2660 庄野 晋吉 (大阪)
2520 三浦 一 (仙台泉)	2580 林 茂男 (東京ベイ)	2670 斎藤 賢治 (徳島)
2530 星 遼一 (南相馬)	2590 荒木 彦次 (横浜)	2680 折戸 善信 (神戸西神)
2540 佐野 公彦 (秋田北)	2600 西堀 恒司 (松本)	2690 江尻 博子 (岡山南)
2550 真尾 和夫 (足利東)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 石村 信悟 (福岡)
2560 高橋 登 (新潟南)	2620 佐藤 正幸 (甲府)	2710 藤里 隆 (宇都東)
2570 細井 保雄 (行田さくら)	2630 前田 和也 (鈴鹿シティ)	2720 高宮 宏 (熊本南)
2770 隅内 道三 (川口東)	2750 井上 直行 (東京町田サピリア)	2730 中島 司人 (延岡東)
2790 中村 正見 (千葉)	2760 水野 吉紹 (名古屋北)	2740 新岡 正久 (唐津東)
2800 中村 隆志 (米沢上杉)	2780 桐本美智子 (平塚)	
2820 山崎 恭弘 (竜ヶ崎)	2640 寺下 卓 (海南東)	編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,122、会員総数1,222,340人（2016年1月31日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,269、会員数89,215人（2016年2月末現在）となっています。

2015 - 16 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the World

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



子どもたち、若い人たちが 夢を持てる未来のために 4

小学校統合支援のわくわく体験

日向 R C 日高 秀和



11月12日、日向市立美々津小学校の体育館で、今年4月から統合する同校と日向市立幸脇小学校の2校の全校児童約100人を対象に、理科の科学実験教室を開催した。

空気を煙で見るようにして、渦輪状に遠くに飛ばす大きな空気砲の実験から、ペットボトルによる小さな空気砲や、今ではあまり見かけなくなったアナログカメラのフィルムケースを使ったホバークラフトを一人ひとり手作りしたり、ドライアイスを利用してシャボン玉を凍らせたり、オレンジジュースをシャーベットにして食べてみたりもした。

工作では低学年の児童が苦戦する姿も見られたが、高

学年のお兄さん、お姉さんたちが優しくサポートしてくれたこともあって、おおむね成功し、作品がきちんと動くと、あちこちで歓声が上がった。暖かな当地では、自然現象としてまず見ることができない凍るシャボン玉に、子どもたちは目を輝かせていた。

およそ2時間の企画で、あれこれ予定を詰め込んでしまったが、今回の活動を通じて、2016年の春から一緒に勉強する2校の児童たちが仲良くなるきっかけに、また科学に対する興味を深めるきっかけになったと信じている。

クラブでは今後とも、こうした活動を続けていきたいと考えている。

(第2730地区 宮崎県)

補導活動の際に着用するベストを贈呈

観音寺ロータリークラブ

当クラブは今年度の青少年奉仕委員会の新たな活動として、観音寺市少年育成センターによる補導活動を支援するため、8月23日、補導活動の際に着用するベストを寄贈しました。

少年育成センターは青少年の安全や健全育成を目指し、毎日、市内のどこかで補導活動を行っています。補導員は、教師やPTAのほか、市内の13地域からボランティアを募り、総勢135人が活動しています。声か

けが活動の中心になりますが、補導で得た情報は学校や警察に提供され、対処されています。市からは補導員の腕章が提供されていますが、それだけでは補導員としてあまり認知されないようでした。

そこで、われわれは地区補助金を活用し、誰でもひと目で補導員とわかるような統一したベストを作って寄贈することにし、会員からも数人が補導活動に参加しました。

障がい児と美術を通じてコミュニケーション

倉敷水島ロータリークラブ

11月14日、倉敷市のヘルスピア倉敷において、「ロータリーデー」のイベントとしてロータリー財団の地区補助金を活用し、講演会「障がいのある人とのコミュニケーション・指導者育成セミナー」を開催しました。

自閉症など発達障がいのある子どもたちとのコミュニケーションの取り方について、美術を通じて五感（触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚）の働きを高め、人間関係の改善、社会適応力の向上を図ろうとするもので、支援学校、保育園、小中学校の指導者や保護者、病院関係者、一般の方を対象に、講師として倉敷芸術科学大学の五十嵐英之准教授をお招きしました。

当日は参加者に粘土を配り、五感との関わりがいかに関係しているかをコミュニケーションに有効であるか、また絵画を仲立ち

とした自閉症の子とのコミュニケーションの取り組みなどが紹介され、参加者は熱心に聴き入っていました。

講演後、参加者から受ける相談は切実で、少しでもそういった方々や教育現場の力になれるクラブになっていきたいと考えました。（第2690地区 岡山県）



地区大会でこども美術展開催

横浜旭RC 五十嵐 正

第2590地区の美術親睦活動グループは、11月14日の地区大会の会場ロビーで「ロータリーこども美術展」を開催。日ごろ会員を支える家族に、少しでも地区大会に関心を持ってもらい、同時に子どもたちの夢や元気の



パワーを、会員に感じてもらうというものです。

恒例となっている地区内会員らの美術作品展「ロータリアン芸術祭」、地区音楽同好会による財団学友のミニコンサートとあわせて、大会を盛り上げる一助になればと企画。子どもたちには自由なテーマで画用紙に絵を描いてもらい、それをチョウの形に切って、躍動感のある展示を試みました。

地区内会員の子供はもとより、東日本大震災の復興支援で縁のある宮城県の子供たちの作品も加わり、400点余を展示することができました。当日は孫の作品を熱心に撮影する会員や家族連れで訪れる人もいて、子どもたちの作品のおかげで、いつもとは少し違った和やかな地区大会を演出することができました。（神奈川県）

近年、大した理由もないのに、子どもたちが社会悪の犠牲者となるが増えています。一人でも多くの子どもたちを非行や事故から守ることができれば、青少年奉仕委員会の活動の意義があると思いました。

当クラブは昨年6月で創立55周年を迎えました。また、所在地の観音寺市は合併10周年を迎え、庁舎を新築し、新たな街づくりを目指して活気づいています。クラブでは、今後ますます少子高齢化が進む地方の町で、次世代を担う青少年を守り、安心して生活ができる地域社会づくりを目標に、できる範囲でこうした支援を続けていきたいと考えています。（第2670地区 香川県）



学童野球「新チーム交流会 in 近江八幡」

びわ湖八幡ロータリークラブ

11月21日、この日は最高の野球日和となりました。「ようこそ近江八幡へ」という歓迎のあいさつを皮切りに、当クラブ主催による学童野球「新チーム交流会 in 近江八幡」を、近江八幡市の市民球場をはじめ13の会場で盛大に開催しました。

参加65チームによる熱戦、延べ104試合が、21～22日の2日間にわたって繰り広げられました。県内各地からの交通の利便性もよく、選手、指導者、保護者な

ど2,500人以上が、水や緑の自然と歴史に香る近江八幡に参集しました。

当クラブが主催して開催する青少年スポーツ大会としては初めての事業で、運営方法などの不安に加え、各チームの学年編成が異なるため、対戦の組み合わせには少々苦慮しましたが、天気にも恵まれ無事終了することができました。

日々の練習の成果を発揮する子どもたちの姿、指導者の熱意、温かく見守る保護者の姿を間近で見ることができ、子育てを終えた会員にも熱い何かを感じさせた交流会でした。子どもたちがスポーツを通じて礼節を学び、次世代の指導者となり、地域社会に貢献してくれることを強く願います。

また、青少年育成のため、長年この学童野球に取り組んできた指導者、および保護者の皆さんの多大な努力に感服した大会でもありました。今後もこのような活動を支援できればと願っています。

(第2650地区 滋賀県)



目指せ、世界を！ 中学生卓球指導会

松江南RC 雑誌委員長 和久本 光

11月3日の文化の日に、松江市にある、当クラブ会員が経営する「さんびるアカデミー卓球塾」を会場に、クラブ主催、松江市卓球連盟後援の中学生卓球指導会を開催しました。講師に益田明誠高校卓球部総監督の岸卓臣氏を招き、市内の中学生と同アカデミー塾生の計92人の中学生が参加しました。

講師の岸氏は、2003年から日本女子ジュニアナショナルチームコーチとして活動し、日本女子ジュニアナショナルチーム監督に就任した2010年には、石川佳純選手、森蘭美咲選手、谷岡あゆか選手、前田美優選手を擁した第8回世界ジュニア卓球選手権スロバキア大会で、日本チームを悲願の初優勝に導きました。現在は、日本女子ナショナルチームヘッドコーチ、U-12女子ホープスナショナルチーム監督、日本オリンピック委員会強化スタッフとして活躍。今回は、昨年のインターハイで団体5位に入賞した益田明誠高校の卓球部員も連れてお越しいただきました。

参加した中学生は緊張した様子でしたが、講師の熱意あふれる指導に引き込まれ、次第に中学生から指導を願う場面も見られるようになりました。そして、講師の軽

妙な語り口や益田明誠高校の卓球部員による丁寧な指導のおかげで、みんな技術向上のために熱心に取り組んでいました。

会員は参加者が打ち込む球を拾うのに追われて汗をかき、太もも、お尻の筋肉がパンパンになり、筋肉痛となりましたが、中学生に夢と希望を与えてくれた講師と部員の方々に感謝でいっぱいになりました。

(第2690地区 島根県)



野球とバレーボールで 30 回記念大会

旭川東北RC 畠山ルミ子

秋晴れの 9 月 26 日に「旭川東北ロータリークラブ(RC) 旗争奪中学校野球大会」、そして 11 月 15 日に「旭川東北RC 旗争奪小・中学校バレーボール大会」を開催。それぞれ記念すべき第 30 回を迎えました。クラブ所在地の近隣の小中学校を対象に、青少年健全育成を目指し、また地域社会への奉仕として開催する、伝統ある大



会です。

野球大会は今年度から参加が 1 チーム増えて 5 チームに、バレーボール大会は小中学校から計 8 チームが参加しました。会員は、クラブ名の入ったスタッフジャンパーを必ず着用し、早朝例会の後、肅々と開会式に臨みます。また、地元紙には地域へのPRも兼ねて取材を依頼しています。子どもたちの生き生きとした姿、真剣なまなざし、繰り広げられる熱戦に圧倒されながら、朝早くから応援に駆け付ける保護者とともに声援を送ります。

過去に大会に参加した子が成長して親となり、同じ大会で、わが子を応援する姿を見ると、30 年という長い歴史が感じられます。今年度の各大会とも、子どもたちにけががなく、無事に、大好評のうちに終了することができました。

(第 2500 地区 北海道)

地域と海外の青少年が触れ合う

福島RC会長 幡 研一

12 月 6 日、青少年が国際理解を深め、親睦を図り、今後の国際交流の懸け橋になることを目的に「青少年国際理解フォーラム」を開催。発表者は、当クラブがスポンサーを務める福島学院大学ローターアクトクラブ(RAC)と福島東稜高校インターアクトクラブ(IAC)から計 2 人、同 IAC 副顧問と同高校の留学生ら 7 人、米山奨学生 2 人。そのほか出席者は、RAC、IAC、学校関係者ら 32 人にロータリアンを加え、総勢 65 人。

ベトナムから福島大学に留学している米山奨学生、ヴェクワン・ジューフンさんは民族衣装のアオザイを着て、母国の高校生生の制服や家庭料理について発表。イギリスから来て IAC 副顧問を務めるジェームス・ガスキンさんは、イギリスが地域によって歴史や文化が異なることを発表した。身長が 2m10cm もあるセネガルからの留学生、シセ・セリン・ウスマンさんは、母国の地理、言語、気候、宗教のほか、有名なパリ・ダカールラリーについても紹介。また、セネガルではあいさつをととても大事にしており、知らない人にあいさつしても気持ちの良いあいさつが返ってくることを紹介。これには感心させられた。

インターアクターの穴戸久瑠美さんは、地理や気候、人口、方言、伝統行事など日本の基礎知識のほか、和食が世界文化遺産に選ばれた理由などについて説明。ロー

ターアクターの三澤愛歌さんは、地元の福島県や福島市について、温泉が豊富なことや、豊かな自然、祭りなど、当地の魅力をアピールした。

発表後に質疑応答を行い、最後は鈴木和夫ガバナー補佐の講評。その後は会場を移して、昼食を取りながら懇談し、お互いに理解を深めるとともに、親睦を図った。

福島県は 2011 年以降、東日本大震災と原発事故の影響で留学生が減少(16 年から回復傾向)し、地域の青少年が海外の青少年と触れ合う機会が減少している。国内外の若者が一堂に会し、交流・理解・親睦を深めることは将来のために重要と考え、今回のイベントを企画した。このフォーラムは地区の復興補助金を活用して開催。次回からは、RAC、IAC の若者が主体となって開催してもらいたいと考えている。

(第 2530 地区 福島県)



愛宕ドルフィンキッズプロジェクト

東京愛宕ロータリークラブ



東京都港区に在住、在校、在勤している家庭の小学生を対象に、オリンピック競泳日本代表ヘッドコーチ、現役オリンピック選手が子どもたちに直接指導を行い、正しいスポーツ教育を学ぶ事業として、港区スポーツセンターで開催。11月8日、当日は40人の小学生とその保護者80人、総勢120人が集まりました。今回のように市民参加型で行政と協力関係の中、日本トップレベルの競泳コーチ、選手を招いて事業を行うことのインパクトは大きく、当日の会場には地元港区のローカルテレビ（J-COM）、東京MXテレビ、NHKなどテレビ局3社が駆けつけ、放映しました。

当初、子どもたちは目の前で泳ぐオリンピック選手の

迫力に圧倒されていましたが、やがてその目は真剣になり、選手の指導に必死についていました。会が終わった後、子どもたちは「日本代表になって世界記録を出したいです」「水泳がもっと好きになりました」など、うれしい言葉を寄せてくれました。

おかげで会員も心地よい疲労感とともに大きな充実感を得ることができました。

今回、大きく分けて2つの意味で収穫がありました。一つ目は、これまで行うことのなかった公共の施設を借り切って市民参加型の事業を民間主体で行政と協力して行えたこと。今後の良いモデルケースとなりました。

二つ目は、一流のアスリートが直接指導してくれたことで、参加してくれた子どもたちが将来への具体的な目標を口にするようになったことです。地域に生きるロータリーは、地域の活性化に目を向けなければなりません。とりわけそれは若者に向けられるべきであるし、次世代の力なくして明るい未来は望むべくもないと思います。今回、子どもたちが口々に前向きな言葉を残してくれたのなら、それに勝る収穫はないように思います。

東京愛宕ロータリークラブは、今後も次世代の人材育成に目を向け、地域の活性化に努めていこうと思っています。

（第2750地区 東京都）

小学生による「大根収穫体験教室」 沼田中央ロータリークラブ

地元小学校の4年生を対象に「大根収穫体験教室」を行った。今年で3回目となるこの活動は、「沼田大好き ふるさと学習」をテーマに、教育委員会の方針に沿った取り組みへの協力として、児童の暮らす地元で栽培されている大根について、知識として学習するだけでなく、体験することによって多くの発見をするとともに郷土への誇りや愛着が育つことを願って開催している。

9月の種まきの後、11月20日に収穫。洗うのも子どもたちに手伝ってもらい、その後は会員による大根を使った料理（寿司・おでん・漬け物・餃子など）で、子どもたちも大満足の様子。後日、学校から届いた

子どもたちのお礼の手紙に会員たちも感激。

（第2840地区 群馬県）



カトマンズで子どもたちを支援

大東RC国際奉仕・世界社会奉仕委員長 中野 秀一

10月15～18日、ネパール・カトマンズにおいて、当クラブとカトマンズ西ロータリークラブ（RC）、NPO法人・国境なき奉仕団、（公社）日本青年会議所が連携して事業を行いました。

前年度に行った水インフラ整備事業の実施先でもある職業訓練施設「アーリーリハビリテーションセンター」の子どもたちに、蚊帳20張、文房具、キルティングの人形作製に必要なフェルトパンチャー（針）750本（約3年分）と寄付金を贈りました。

また、日本の子どもたち、石川県山中中学校の生徒による激励の絵葉書を持参。現地の子どもたちとは、日本の遊び（折り紙、紙風船、竹とんぼなど）や、お祭り（緑日）を通じて心の交流を図りました。現地の子どもたちからも日本に対する感謝の気持ちを表した絵やメッセー



ジをいただき、これらは日本の子どもたちへのメッセージとして届けていきます。

その他、地震被災地のテント村を訪問して蚊帳を寄贈し、子どもたちに玩具を配りました。この活動を通じて、日本とネパールの友好関係のさらなる発展と、国際貢献に対する意識の向上に大いに寄与できたのではないかと思います。

（第2660地区 大阪府）

ベトナム・ハノイでの9年間の国際奉仕活動を終えて

東大阪RC 池本 達也

10月22～25日、ベトナム・ハノイのSOS子供村を会員12人で訪問しました。

ハノイでの支援は、今回で9年目となります。NPO法人VCI人材戦略研究所（ハノイアカデミー）などの協力を得て、2007～09年度はハータイ県立障がい者施設、10～12年度はタイン・ズアン平和村、13年

以降はSOS子供村と3施設、それぞれ3年間、障がい児や親のいない子どもたちに、生活の改善、技能習得や学習に役立つ機材を寄贈してきました。

現在、ベトナムは目覚ましい経済発展をしていて、街は若い人たちであふれ、非常に活気のある国へと変貌している半面、いまだ数多くの障がい児や親のいない子どもが存在します。現実として、若者たちの就労先が不足していることもあり、経済発展途上にある国の表と裏を目の当たりにしたように感じました。

今年度でハノイへの支援は終わりますが、9年間の支援で特筆すべきことは、支援をきっかけに複数の会員の事業所が8人のベトナム人技術者を正社員として採用したことにあります。ロータリーの奉仕活動は、クラブ主催の活動を通じ、会員個人がそれぞれの立場で実践することを求めています。ベトナム人の採用は、単に物品の支援だけではなく、各会員が複数回にわたり現地に赴き、人々と接することで実現した奉仕活動の一つであると認識しています。

（第2660地区 大阪府）



異文化に接して—青少年交換派遣を通して

ロータリー青少年交換は、高校生が交換学生として海外に派遣されるプログラムで、毎年、日本からさまざまな国へ高校生が派遣されています。派遣先での異文化交流を通じて、経験したこと、思ったことを彼らに伺いました。

留学を機にウラジオストクの大学に進学

諏訪 亮

スポンサークラブ：小田原城北RC（第2780地区）
ホストクラブ：マガダンルネサンスRC（第2225地区）

皆さんこんにちは。私は1年間、ロシアのマガダンに留学しました。このたびの留学を通して私が異文化に接して感じたことについて書こうと思います。ロシアは日本人にとってまさに近くて遠い国だと思います。距離としては意外なことに、韓国よりもロシアの方が日本から近いのです。とはいえ日露間の交流は、隣国としてはとても少なく、ロシアについてちゃんと知っている日本人は残念ながらあまりいません。

私がロシアに留学して一番驚いたのは、ロシアの人々がとても親日であるということです。彼らは私が日本人だと知ると、知っている簡単な日本語の単語を言ったり、

日本の車について語り出したりします。そして日本語を勉強しているロシア人もとても多く、日本語や日本について教える機会も多くありました。

そんなロシアの人たちに接してみて感じたのは、彼らの性格が、どこかアジア人に似ているところがあることです。見た目はヨーロッパ人かもしれませんが、中身は他のヨーロッパ人とは異なる部分が多いのです。そして、文化や言葉が違えどもわかり合えることも多くあります。

この留学中にさまざまな国籍、人種の人々と関わって、自分の世界観が大きく広がりました。現在はウラジオストクにある極東連邦大学に進学し、これから4年間、

こちらで学生生活を送ることになりました。この進学のきっかけになった青少年交換プログラムに携わってくださった方々に感謝しながら、これからもこちらでがんばりたいと思います。

（2014 - 15年度派遣）



伝えたいのに伝わらない

對馬 ゆうみ

スポンサークラブ：佐賀大和RC（第2740地区）
ホストクラブ：カンジドモータRC（第4510地区）

ブラジルのカンジドモータに留学しました。滞在して感じたことは、言語の大切さです。ブラジルはポルトガル語を話すのですが、それまで生活してきた中でポルトガル語を聞いたことがなかったため、どのような言語かわからず、留学の数か月前からレッスンを受けたのですが、なかなか習得できずにいました。おまけに、ブラジル人と出会う機会もなかったため、とても新鮮な気持ちでブラジルに出発しました。到着してからは、持って行

ったポルトガル語の本とジェスチャーと英語でのコミュニケーションが始まりました。初めて覚えた単語が衝撃的で、トイレのことをbanheiroといい、想像さえもつかない言葉に、これからポルトガル語を習得できるのか心配したのを覚えています。

初めのホストファミリーは、ホストマザーと息子さんが英語を話せたため、コミュニケーションにはそれほど困らなかったのですが、英語の話せないホストファーザー

一との会話はすごく大変でした。知っている単語を並べて、一生懸命話そうとしているのに言いたいことが伝わらないことも多くありました。伝えたい、話したいのに伝わらないというモヤモヤした気持ちを味わいました。今まで日本では、何かあれば自分の気持ちを伝えて何不自由なく過ごしてきたのに対し、屈辱的な気持ちになりました。生活していく中で、最も大切であるコミュニケーションが取れないというこの悔しさは、今でも忘れられません。

異国で新しい言語を身に付けることは簡単なことではありません。しかし、そ

の壁を乗り越えることで、その国の人と交流し、視野を広げることができたのです。日本ではできない、このような経験すべてが今の私の力になっています。

(2014 - 15 年度派遣)



フィンランド語で新たな発見 大作公美子

スポンサークラブ：札幌幌南RC（第2510地区）
ホストクラブ：ライヒアRC（第1380地区）

私は2013年の夏から1年間、フィンランドのライヒアに留学しました。最初の数か月は留学先の生活に慣れるのに必死で、日々が一瞬のように感じました。食事をするのもテレビをホストファミリーと一緒に見るのも学校へ行く道も友達もすべて新鮮で、きらきらしていたことを今でも覚えています。

何をするにも初めての私をいつもサポートしてくれたのがホストファミリーと友達です。特に、過ごす時間が長い学校では、わからないことが多かったのですが、友達がいつも助けてくれました。ホストファミリーは、自分の気持ちをうまく言葉にできないつらさを理解しようとしてくれていて、私はすごく救われました。これが、ホームシックにならなかった理由の一つにもなっていると思います。言葉や文化が異なっている、人に対する思いやりの気持ちは変わらないのだと知ることができました。

また、最初は英語で会話していましたが、フィンランド語を勉強するようになって、とても面白い発見がありました。日本

語にある言葉が、フィンランド語でも全く同じ発音で意味が異なる単語などがあったのです。たとえば、「カニ」。フィンランド語ではウサギという意味になります。このようにフィンランド語を勉強していくにあたって発見があり、新しい言語を習得する楽しさも知りました。

留学を通して異文化に触れることができたおかげで、相手を理解しようとする気持ちの大切さを知り、自分の視野を広げることができました。

今では異文化に触れる機会をもっとたくさんの人に持ってほしいと願っています。

(2013 - 14 年度派遣)



ハグに驚く

田村 梨瑛

スポンサークラブ：山口RC（第2710地区）

ホストクラブ：キャッスルガーサンライズ2000RC（第5080地区）

私はカナダのキャッスルガーという町に留学しました。留学先でまず驚いたことは、初めてホストファミリーと会ったときのハグです。留学する前からそのような習慣があることは知っていましたが、実際に自分がその場面に出くわすと、初対面の人とのハグは少し抵抗がありました。しかし、その行動を通して、留学生の私を歓迎してくれているということを体で感じる事ができ、これからカナダで約1年間過ごすことへの不安が少しなくなりました。ハグなどをして自分の感情を行動で表現することは、日本人にとってはオーバーアクションのように思えますが、それがあることによってお互いが心を開きやすくなると感じました。

学校生活においても、廊下に座って昼食を食べる、授業中に飲食ができるなど、日本とは随分異なる点がありました。その中でも私が特に驚いたのは、授

業中に生徒が机に座って先生の話を聞く光景を、よく目にしたことです。最初は、授業中に生徒がそのような態度をしていたら怒られるのではないかと不安になりましたが、そんなに珍しいことではないと友達から聞きました。ある国では失礼にあたることでも、他の国では普通に行われていることも多くあるのを実感し、文化の善しあしは決められるものではないと思いました。

留学したからこそわかる異文化に触れた時の感覚やそこから学べることは他にもたくさんあり、この留学は私の人生の中で、かけがえのないものとなりました。

（2013 - 14 年度派遣）



タイの人々の温かさと文化の多様性にふれて

早川日向子

スポンサークラブ：下妻RC（第2820地区）

ホストクラブ：ノンケームRC（第3350地区）

2013年8月から1年間、タイ・バンコクに留学しました。「ほほ笑みの国」と言われる通り、タイの人々は

おおらかで笑顔を忘れず、優しい人々ばかりでした。そのように考える理由には、ホストファミリーや学校の友人たちが、常に私に笑顔で話し掛け、何か困ったことがあると、積極的に協力してくれたことが挙げられます。時にはその「おおらかさ」に戸惑うこともありましたが、何か問題が起きた時にも、タイ式の解決方法で乗り切れたと思っています。ホストファミリーをはじめとするロータリーの皆さん、学校の友人や先生たちなど、数々のすてきな出会いが私の心に残っています。タイで築いた人間関係をこれからも大切にして、一生続く交流をしていきたいと考えています。

日本に対する関心が非常に高いことも大きな気づきでした。日タイ関係が良好なことに加え、日本文化が大人気で、特に日本食レストランの多さには驚きました。アニメなどのサブカルチ



一番の親善大使になるには

成澤 みく

スポンサークラブ：仙台南RC（第2520地区）
ホストクラブ：コンピエーニュRC（第1770地区）

昨年の8月末に渡仏し、現在、パリから北に車で45分の所にあるコンピエーニュという町の公立高校に通っています。8か月前の私は全くフランス語が理解できず、これからの生活に不安でいっぱいになり、毎日のように泣いて過ごしていました。そんな時に助けてくれたのは、ホストファミリー、ロータリアン、新しくできた友達、いろいろな国からの留学生仲間でした。日本を離れて生活し、私なりにいろいろな新しい考えを持てるようになりました。この8か月に学んだことを2つ紹介します。

1つ目は、11月13日に起きたパリ同時多発テロ事件です。私自身は、留学中に一度くらいは起きてはいけない事件が起こるかもしれないと思っていましたが、目の当たりにすると、怖さと、また起きるかもしれないという不安で、気持ちに余裕がなくなりました。テロの次の日からは、お店や学校などあらゆる所で荷物検査が行われ、私の町でも3か月近く、一歩外へ出ると銃を持った軍兵士や警察官があらこちらに在るという状況の中での生活でした。2月までパリに行くことも禁止され、この先どうなるのかとパニックになりました。海外へ出るといふことは、単に語学、文化や歴史を勉強するだけではない、危険なこともあるということに認識しておくべきだと痛感しました。そして、日本はどれだけ安全なのかと感じていました。フランスにはさまざまな宗教、民族の人たちがいて、普段は上手に共存しています。今まで宗教についてあまり考えたことはありませんでしたが、考えるきっかけになりました。

2つ目は、人種差別です。皆さんは「Fuck Asia」と言われたことはありますか？ 私は学校でそんな言葉を浴びせられました。とても悲しく、そして、心が折れそうになります。地区の中で日



本人は私だけで、アジア人ということでみんなと別行動ということもありました。もし、私の容姿が違っていれば、あの時一緒にいられたのでしょうか…？ 差別は、さまざまな事情から生まれていると思いますが、私の友達はみんな平等に見てくれて、理解してくれる人ばかりです。素晴らしい友達に感謝しています。留学とは、お互いに異なった言語・文化・人種などをそれぞれ理解し、尊重しあっていくものだと思います。一つひとつの出来事を試練と捉え、残りの期間も充実した生活にしたいと思います。

私は、この留学の最大の目標を「フランスから愛され、一番の親善大使になって帰る」としています。それを達成させるために、常に誰かと行動／常にフランス語という環境をつくる／夕食を作る（日本食）／日本について話す／震災で自分が受けた被害の心情とともに支援に対する感謝の気持ちを伝える／常に笑顔、といったことを心がけています。

今は毎日が充実していますが、留学する前に考えていた時のように、留学とは簡単なことではありませんでした。こんなに素晴らしい経験ができることに感謝の気持ちでいっぱいです。帰国まで残りわずかな期間、一番の親善大使を目指し、自分らしくがんばりたいと思います。

（2015 - 16年度派遣）



ヤーに関するイベントも頻繁に開催され、幅広い年齢層にその人気が高いことがうかがえました。学校でも日本語習得を目指す生徒が多く、日本語や日本文化についてよく質問を受けたことを覚えています。

留学中にクーデター勃発という予想外の事態もあり

ましたが、このような得難い経験ができた背景には、「出会い」に恵まれたことが挙げられます。タイで得た人間関係、吸収した多くの気づきや学びを将来にも何らかの形で生かしていきたいと考えています。

（2013 - 14年度派遣）

This Close

ポリオ撲滅に取り組むロータリアンたち



浦和南ロータリークラブ

7月20日、「浦和まつり」南浦和会場での「浦和よさこい」に協賛し、会場内にブースを設置して「ポリオ撲滅まであと一步」と銘打ったポリオ撲滅募金活動を実施。今年度で7回目のポリオ募金となりました。

当日は猛暑の中で6時間、一人ひとりが通りに立ち、100円で子ども一人の命が救えることを訴え、募金を呼びかけました。私たちの話をよく理解してくれて、多くの方々、特に子どもたちがお小遣いの中から、思い思いの額のお金を出して、募金に協力してくれたことは、とても感動的でした。毎回感じるのですが、やって良かったと実感できた一日でした。

(第2770地区 埼玉県)



熊本城東ロータリークラブ

11月8日、熊本市内で行われた「風流街浪漫フェスタ」に参加して、ボーイスカウトの子どもたちと一緒に、ポリオ撲滅のための募金活動を実施。この活動は恒例となっています。

(第2720地区 熊本県)

牛久ロータリークラブ

11月3日、牛久市で開かれた「ワイワイ祭り」会場入り口で、今年度も募金活動を実施。若い世代からは「ポリオとは何？日本にはないのに、なぜ今更騒いでいるの？」といった質問も出て、質疑応答の場ともなった募金活動でした。

(第2820地区 茨城県)



熊本南RC ローターアクト委員長 馬場 大介

10月25日、熊本南ローターアクトクラブが熊本市内の繁華街で、提唱クラブの熊本南ロータリークラブと、熊本国府高校インターアクトクラブとともに、ポリオ撲滅に向けた啓蒙を兼ねて募金を呼びかけました。

準備期間が約1か月と短期間で、おまけに募金活動の経験者が全くいない中、ポリオの何を知っているのか、この募金がどう使われるのか、何を訴えていくのかといった目的を共有することから始めました。運営面などでは、ロータリアンやインターアクターの協力を得て準備を進めていきました。

本当に声が出せるのか、興味を持ってもらえるのかといった不安もありましたが、参加したロータリアン、インターアクターと連帯して乗り切ることができました。また、当日は野田三郎ガバナーも参加。おかげさまで予想を上回る金額を、ロータリー財団に寄付することができました。

つたない説明でも真剣に聞いてくれる市民の姿、募金する瞬間の笑顔に出会うことができました。行動したことで、あらためてロータリーの一員であることに誇りと喜びを感じました。(2720地区 熊本県)

郡上八幡ロータリークラブ

11月1日に開催された「郡上八幡ふるさと祭り」にブースを出展。クラブを紹介するパネルやポリオ撲滅キャンペーンのポスターを展示し、クラブの名前入りの風船300個を子どもたちに配りました。ポリオ撲滅のための募金箱を用意したところ、予想以上の多くの浄財が集まりました。(第2630地区 岐阜県)



守山ロータリークラブ

9月6日、「もりやま環境フェア 2015」が開催されました。広く市民に環境やごみ問題に対する意識を高めてもらうことなどを目的に、行政と市民団体の協力によって毎年開催されているイベントです。

クラブでは6年前から、会員の各事業所や家庭でペットボトルのキャップを回収して得た収益により、ポリオワクチンを寄付してきました。回収によって、ごみの減量、二酸化炭素の削減、そしてポリオワクチンの寄付という3つが実現できます。

4年前からは、環境フェアにより積極的に参画するため、ポリオ撲滅のためのペットボトルキャップの回収ブースを設置。今回はキャップを持参してくれた人に、クラブ名を入れたエコボールペン、定規セット、「子ども



たちにポリオのない世界を」のパフレットを配布しました。

当日は雨天にもかかわらず、約1,600人も市民が来場。当クラブのブースでは41.3kg（1万7,759個、二酸化炭素削減量として約130kg分、ポリオワクチン20.65人分）のキャップを回収しました。

（第2650地区 滋賀県）



佐久ロータリークラブ

10月3～4日、佐久市の駒場公園で開催された「ぞっこん！さく市」に、ポリオ撲滅募金活動をメインに、ロータリーの公共イメージと認知度の向上、そして社会奉仕活動を目的として参加しました。

会員が協力して前日から準備を行い、当日は「ポリオ撲滅募金」「ポリオ撲滅シールの配布」「ポップコーンの無料配布」「当クラブ会員の漫画家・田中しょう氏の色紙プレゼント」を行いました。2日間で延べ5万人の来場者があり、掲示物やシールによりロータリーの活動の一端が周知されるとともに、想像以上の金額をポリオプラス基金に寄付しました。

（第2600地区 長野県）



宇佐八幡ロータリークラブ

9月12～13日、ブドウの産地、宇佐市安心院地区で、恒例の「安心院ワイン祭り」が盛大に開催されました。その会場で、恒例のポリオ撲滅の募金活動を、クラブが

提唱している大分県立安心院高校インターアクトクラブに加え、ガールスカウトのメンバーにも協力してもらい実施。「ポリオのない世界まであと少し」を掛け声に頑張りました。

（第2720地区 大分県）

あなたのクラブに女性会員はいますか

今月号の国際ロータリー（R I）会長メッセージで、K. R. ラビンドラン会長は、女性会員について触れています。ラビンドラン会長は、今年 1 月に開催された国際協議会でも女性会員について触れ、「男女の機会均等は『あった方がいい』のではなく、奉仕のため、未来のために『なくてはならない』ものです。女性の入会促進を最優先させなければ、ロータリーは一步も前に踏み出せないまま、いずれ暗礁に乗り上げてしまうでしょう。女性を排除しているクラブは、本来なら得られるはずの才能、能力、人脈の半分を逃しています。そして、家族や地域社会に効果的に奉仕するために必要な視点も逃しています。このようなクラブは、型にはまって自らに限界を設けることで、クラブ自体の奉仕にダメージを与えているだけでなく、ロータリー全体にダメージを与えているのです。このままでは、他の団体はロータリーを真のパートナーとは見なさず、入会候補者、特に、未来を担う若い人々にとって、ロータリー全体の魅力は薄いものとなります。女性差別を容認することは、ロータリーとこの世界との格差を広げていくことなのです」と述べています。

1978 年、アメリカ・カリフォルニア州デュアルテ・ロータリークラブ（R C）が 3 人の女性の入会を認めました。それに対し、R I は、同クラブの認証を取り消しました。デュアルテ R C と同クラブの女性会員 3 人が訴訟を起し、1987 年 5 月 4 日、アメリカの最高裁判所は「アメリカ国内では、R I は女性を入会させたという理由だけで、クラブの認証を取り消すことはできない」という判決を下しました。

女性会員の入会に関しては、それまでも何度か規定審議会で審議され、否決されてきた経緯がありますが、1989 年、シンガポールで開催された規定審議会で、正式に女性の入会が認められたのです。

現在、世界のロータリアンの約 20 % が女性会員、ガバナーの約 10 % が女性、17 人の R I 理事のうちの 4 人が女性です。一方、日本のロータリーを見てみると、女性会

員は約 5 %、今年度、来年度、女性ガバナーはゼロです。2007 - 08 年度、日本に初めて女性ガバナーが誕生して以来、今日までにガバナーに就任した女性ロータリアンは 5 人にすぎません。

ラビンドラン会長は「私たちが地域の代表になりたいと考えるなら、その地域の状況を反映させなくてはならないというのが常識です」と述べています。しかし、日本で女性会員が増えないのは、日本の状況を反映した結果であるのかもしれませんが。単に日本のロータリークラブが女性会員を否定しているというのではなく、女性の社会進出が遅れていることの反映そのものであるようにも思われるからです。

2005 - 06 年度 R I 会長のカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、就任前の国際協議会で「私たちの組織は、『120 万人のロータリアンから構成されていて、女性会員はそのうちの 14 万 4,000 人である』というような言い方をします。なぜそのような言い方をするのでしょうか。『私たちの組織は 120 万人のロータリアンから構成されている』だけで十分です」と述べました。このスピーチを受け、『ロータリーの友』では、それまで掲載していた女性会員の数を掲載しないことにしました。

女性会員を無理に入れる必要はないと思います。しかし、「女性だから入れない」という考えは排除しなければならないことと思います。大切なのは男性か女性かではなく、その人がどのような人か、ということではないでしょうか。

『友』編集長 二神 典子



© Rotary International



日本から平和のメッセージを発信

東京米山友愛RC 関 博子

K. R. ラビンドラン国際ロータリー（RI）会長とレイ・クリングスミス・ロータリー財団管理委員長は、1月15日～3月19日の間に5会場でロータリーの重点分野に焦点を当てた会長主催会議を開催しました。

1月15～16日、その皮切りとなる会議が、「平和と紛争予防／紛争解決」をテーマに、アメリカ・カリフォルニア州オンタリオで開催され、日本から、「2013年ロータリー世界平和フォーラム広島」実行委員長の川妻二郎氏（第2710地区パストガバナー）はじめ4人のロータリアンが参加し、それぞれの視点から平和に対する取り組みを発表しました。

私たちは13日に現地に入り、会議前日には通しリハーサルがありました。マイクの持ち方、スピーチの姿勢などの助言からスタート。ここに至るまで、半年前から自

分が話すことについてのさまざまな書類（英文の経歴書、スピーカー登録、スピーチを聞いた側が何を得ることができるか）の提出など、詳細な手続きに驚いていましたが、加えて念入りなりハーサル。日本では経験したことのないことに面食らいました。また、プログラムを見て、初めてこの会議の大きさ、全体像を、一同実感した次第です。

両日を通じて13の分科会があり、私たちはトラックMに所属。初日は10時から田中作次元RI会長の平和に関するスピーチに続いて私は「日本独自の米山奨学制度とその支援を受けた米山学友で構成された2つのロータリークラブ（RC）」の紹介。続いて、ロータリアンになって活躍している米山学友の楊錦華氏、金王琮氏、姫軍氏のスピーチと続けました。最後に、川妻パストガ

バナーが緑の遺産活動「グリーン・レガシー・ヒロシマ(被爆樹木から芽生えた苗木を通じて平和メッセージを世界に発信するプログラム)」について詩を読みながら紹介しました。

12時にはメイン会場に移り、ラビンドランR I会長に、日本から持ち込んだ70年前に被爆したツバキの2世の苗木の贈呈式を行いました。この模様は本会場の大きなスクリーン4面に映し出され、同時にこの活動を紹介する映像が流れました。原爆投下後の広島の様子、そして平和を取り戻した現在の広島の姿を、5分の映像で紹介。これは十分に会場の人たちをひきつけることができたのではないかと思います。その後の女優、シャローン・ストーン氏の講演にも負けない感動を会場に残せたことに、一同胸をなでおろしました。

その後も、私たちの滞在中に多くの人からこの活動に賛同し、被爆樹木の苗木をほしいという声が相次ぎ、現在、広島東南ロータリークラブ(RC)、国連ユニター

ル広島、特定非営利活動法人A N T広島の手がけている「グリーンレガシー・ヒロシマプロジェクト」が、私たちの関わるロータリーの活動の一つとして、大きな継続事業となる手ごたえを大いに感じました。

翌日、会議は続いていましたが、私たちはR Iに贈呈した今回のツバキの苗木をロサンゼルス郊外にあるパサディナの日本庭園STORRIER STERNS JAPANESE GARDEN (<http://www.japanesegardenpasadena.com/index.html>)に届け、仮り植えをしました。5月8日に地元のロータリークラブの助けを借り、ロサンゼルス^{しやうべい}の領事館を招聘して日系人の皆さまとともに、正式な植樹セレモニーを執り行うことになっています。

今回、この会議に参加して、日本とアメリカのロータリーに対する取り組み、会議の準備の仕方、主催側、参加側の楽しみ方の違いを大いに感じてきた次第です。あらためて貴重な機会をいただけたご縁に心から感謝しております。

(第2750地区 東京都)

歯車は平和に向かって回り続ける

東京米山友愛RC **金 王環**

今回の会議の出席に関し、職場での出張許可を得ることができ、半年かけて着々とスピーチの準備を進めていました。大会の前日、私たちが発表するセッションのコーディネーターであるスティーブ吉田バスター(第5000地区)が設けてくれたリハーサルのため、会場を訪れました。オンタリオコンベンションセンターは広く、世界中から集まった方々の前でスピーチをするのかと思ったら緊張してしまい、ミスが多くありました。しかし、リハーサルをしたからこそ、発表スライドの進行をスムーズにするための工夫や声の大きさ、話す速度などの感覚を覚えることができました。

いよいよ会議の1日目。世界に向けて米山記念奨学事業の意義や成果、そして実際その奨学金を受けた学友の生の声を伝えることができたと思います。今回のスピーチをきっかけにロータリーのロゴである歯車は止まることなく地域や時を超えて世界平和に向かって回り続けていることをあらためて実感し、その一員となったことに誇りを持つことができました。(第2750地区 東京都)

第一線の情報を得るための貴重な機会

東京米山友愛RC **楊 錦華**

海外で開催されるロータリーの会議に参加するのは今

回が初めてでした。R I会長主催会議という大きな舞台で、英語で米山についてスピーチすることは誠に光栄なことですが、それだけでなく、海外と日本のロータリーの会議のあり方の違いを意識して参加して参りました。

スピーチ原稿を書く際には、米山記念奨学事業という日本のロータリアンが長年力を入れてきた奉仕の実践とは何か、海外のロータリアンから見てユニークで参考になるのかを意識して、自分が話す内容を組み立てました。

昨年夏ごろから、スティーブさんたちと、今回の会議に関するやりとりを始めました。電子メールはもちろん、関係者によるface to faceのウェブチャット会議も月に1回行ってきました。入念な事前準備をしたとはいえ、多くの不安を抱えて渡航したのは事実です。しかし、到着翌日にリハーサルのためコンベンションセンターに到着した瞬間、全ての不安が吹き飛びました。

私たちが参加するトラックMのまとめ役で発表者でもあるKat Haberさんは、自ら乗ってきた車から分科会の部屋を装飾するための花瓶や花が入っていた箱を何個も運んできました。海外からの参加者が多いためか、Katさんは新鮮な果物とサラダまで用意して、部屋の隅にサラダバーを作ってくれました。温かいアメリカンスタイルのホスピタリティに感動したと同時に、これだけ正式なイベントでも参加者自身が自らの手で会場を装飾することに大変感心しました。

国際ロータリーという大きな組織に所属していながら、それぞれの地域で活躍しているロータリアンが、さ



さまざまな独自の奉仕の実践を行っています。今回のような国際会議への参加は、その第一線の情報を得るための貴重な機会だったと強く感じます。ソウル国際大会ではもっと多くの違いを感じとることができると思うと、今から参加することをお大変楽しみにしています。

(第2750地区 東京都)

被爆樹木が平和のメッセージを届ける

広島南RC 川妻 二郎

ジジュン 姫軍さんは、中国での仕事（国際弁護士業）の関係で当日欠席となり、急きょ英語ビデオメッセージという形で参加しました。北京大学、東京大学、ハーバード大学で学業を修めた彼にとって日本の誇れる米山記念奨学事業、さらにはカウンセラー制度と世話クラブの素晴らしさについて、彼の感じた熱いメッセージを会場に伝えました。さらに“*We are a family*”をモットーに日中の懸け橋をつくる活動として中国学友会を設立したことを語りました。2012年に日中関係が悪化してもなお、奨学金を受給できた中国人奨学生（国別第1位）が多いことも、彼にとっては驚きだったそうです。

そして、自分が恩恵を受けたこの制度が次世代につながるよう、強い願いを込めて、過去10年にわたり米山

記念奨学会へ寄付を続けているという話もしました。最後には、日本の誇れる米山記念奨学制度は、日本人から外国人留学生がそれぞれ受けた愛情だけではなく、国境を超えたロータリアンの奉仕に対する精神によって成り立っていることを強調し、スピーチを終えました。

私はグリーン・レガシー・ヒロシマについて、広島の実状を交えて話しましたが、この話を聞いていた7～8人のロータリアンから、このプログラムに参加したいので種を送ってほしいと名刺を渡されました。南米の方からは、「今年7月からガバナーを務めるので、地区内88クラブ全部に渡したい」と頼まれました。

被爆した広島の木々の子どもたちが、平和のメッセージを、世界中の大人たちに、世界中の子どもたちに届けてくれるものと期待しています。

今 70年前の広島を思い出している / 全身火傷で肩から皮膚が剥がれ 指先までの皮膚をぶら下げながら 肅々と郊外へと重い脚を引きづりながら 逃れていく多勢の集団。 / この人たちの犠牲の上に広島が平和が築かれたのだ。 / 広島で焼けた樹木から翌年芽が吹き出た。 / このグリーンレガシーもこの惨禍を覚えていた。 / こうして今の平和の世界の事をやさしい風と共に 世界に伝えているのだ。

(第2710地区 広島県)



今月は数独。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

ルール

- ①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。
0（ゼロ）は使いません。
- ②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

問題

二重枠のマスに入った数字を足すといくつになりますか。

7		8					5	
				7		3		2
	1		8		4			
3		5					7	
				4				
	6					5		8
			9		5		3	
4		6		2				
	3					6		1

答

プレゼント

毎月10人の方にロータリーの友ロゴ入りオリジナルペンをプレゼント（2色ボールペン＋シャープペン）



応募方法

郵便はがきに、①「5月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2016年6月10日（金）必着

正解と当選者発表 本誌8月号

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！

* 2月号の答えと解説を横組みP 41に掲載しています。

World Roundup

世界のロータリーニュース



イギリス

イギリスの湖水地方でサイクリングを楽しむため、数十人で始まった「ツール・ド・ファーンズ」。スタートして20年、5～75歳の幅広い年齢層の700人が参加するまでに発展し、毎年恒例の行事になっています。主催はファーンズ・ロータリークラブ。9月にバローインファーンズで開かれたレースでは、参加者がカンブリヤ地域の5、13、23、50マイル（約8、21、37、80km）のいずれかのコースを走行し、レースの収益で集まった5万9,000ドル（約680万円）以上を31の慈善団体に寄付しました。最も多くの寄付を集めたチームにはトロフィーを授与。受賞回数が最も多いのは、地元ガスターミナルの技師が集まるチーム「Terminal Trundlers」ですが、2014年は風力発電のチームが受賞し、ガス対風力の関係者による競り合いがレースをますます面白いものにしています。



トーゴ

ロメルミエ・ロータリークラブ（RC、トーゴ）とフォートウェインRC（アメリカ・インディアナ州）はアメリカ平和部隊と協力し、グレイという地域に8つの教室から成る中学校を建てました。10月に完了したこのプロジェクトは、フォートウェインRC会長ジェイソン・デネンズ氏が、2010年にガーナのアクラで開かれた「西アフリカ・ロータリー・フェア」を訪れ、新しい学校と教材が必要とされていることを知ったのがきっかけで始まりました。フォートウェインRCとシカゴRCが4万6,000ドル（約530万円）のプロジェクトを資金援助し、教科書や校庭整備などにさらに9,000ドル（約104万円）を投じ、地域住民も、土地を用意し足場を設置するなど校舎の建設に貢献。これまで600人の収容人数だった校舎が880人も利用できる施設に生まれ変わりました。アメリカ平和部隊は、教科書の輸送と式典の準備を支援し、歴史に残る画期的なプロジェクトとなりました。

マレーシアでは、成人の33%が「肥満気味」、27%が「肥満」とわれています。



マレーシア

減量したがっている友人からヒントを得て、スパン・ローターアクトクラブの会員11人が、クアラルンプール郊外のブタリン・ジャヤで、減量を目的とした募金活動を行いました。この「Project #10for1KG」で減量したい人24人に対して100人以上が寄付し、2015年3月までの6か月間に計3,600ドル（約42万円）が集まりました。国内にあるマンマー難民学校とネパールの地震被災地復興のために寄付金が役立てられると同時に、徐々にではありますが、活動を通じて健康の大切さが強調され、揚げ物好きの参加者が累計220ポンド（約100kg）以上の減量に成功するという特典もありました。

イギリス人の約3%は、週に少なくとも5日、サイクリングをします。



メキシコ

チューラビスタサンセット・ロータリークラブ（アメリカ・カリフォルニア州）の元会長、ペニー・ボーリンジャー氏は、メキシコ・ティファアナでロータリーの家屋建築プロジェクトに参加した際、現地の学校には基本的な教材がなく、厳しい状況にあることに気づきました。

偶然にも、ボーリンジャー氏が最高責任者を務める非営利団体「Learning Tools for Global Schools」は、エチオピア、ハイチ、フィリピン、タンザニアの貧しい学校に、ペン、鉛筆、クレヨン、絵の具、本、そのほか教室に必要な教材を提供していました。そこで、自分が所属するロータリークラブの会員や地元企業「Essential Support Services」と協力し、教員45人分のツールキット（20ドル相当・約2,300円）を用意。9月の式典でプリメロ・カルメカク学校に寄贈しました。



バハマ

風速が毎時130マイル（約210km）、カテゴリー4の勢力を持つ大型ハリケーン「ホアキン」がバハマ諸島を襲ったのは昨年10月のこと。ロータリアン率いるグランド・バハマ緊急水支援財団は、最も被害を受けた地域の住民に飲み水を提供するため、逆浸透膜浄水場を稼働させました。「警戒態勢が解除されるとすぐに、ロータリアンたちは車で被災地を訪ね、一軒一軒に水を供給して回りました」と話すマイク・スタフォード氏は、グランドバハマサンライズ・ロータリークラブ（RC）の会員で、水支援財団の運営に関わっています。「ロータリーの浄水施設は、被災直後の状況把握とその後の対応のためのロータリーの指令センターとしても役立ちます」

プロジェクトの始まりは、2007年、ニュープロビデンス島の慈善団体TK財団が地元のロータリアンと協力し、カリブ海地域とアメリカ・カリフォルニア州のロータリアンの支援を得て、21万8,000ドル（約2,500万円）近くを集め、ロータリー財団から補助金

を得たことでした。浄水場は、2011年から水を供給し始め、場内の井戸から水を引いて1日に7,500ガロン（約2万8,000ℓ）を浄化処理できます。「2004年のハリケーン“フランシス”と“ジャンヌ”を経験して、プロジェクトのコンセプトが生まれた」と話すスタフォード氏。壊滅的な大型ハリケーンで多くの住民が家を失い、何週間も安全な水を利用できない状態が続いたといいます。その後、プロジェクトの試金石となったのは2012年のハリケーン「サンディ」です。フリーポートRCの会員は大型トラック2台に1ガロン（約3.8ℓ）の容器275個を積み込み、グランドバハマ東部の被災地へ水を届けることができました。

「このプロジェクトは、赤十字社、救世軍、緊急事態管理機関とも協力し、住民5万人のニーズを満たすよう努めています」とスタフォード氏は続けます。「被災後の対応だけでなく、災害が発生する前から避難シェルターに水を補給しておくなど、事前の対策にも力を入れています」

—ブレッド・ウェーバー

海の幸・山の幸 食べて応援・買って応援

あすかロータリークラブ



創立 25 周年を迎えた当クラブは、東日本大震災発生直後から被災地の早期復興を願い、さまざまな社会奉仕活動を行ってきました。11 月 8 日、被災地に直接支援に行くことができない人たちにも「食べて応援・買って応援」の心意気でご支援をいただこうと、宮城県東松島市で活動している「東松島元気なまちづくり委員会」に協力いただき、当クラブが社会奉仕活動を通じて育成し

ている若い世代「チーム A S U K A」とともに「海の幸・山の幸」をふんだんに取りそろえた物産展を開催しました。

当日、開始直前から雨が降り出し、来場者の出足が心配されましたが、徐々に人が増え、7つの食ブースと産地直送・生サンマのブースには長蛇の列ができました。また、物販ブースはカゴいっぱいに商品を詰め込む人たちであふれていました。開始 3 時間

後には食ブースは次々と完売となり、予定時刻を待たずに終了となりました。最後まで雨は降りやみませんでした。地域の人たち約 4,500 人に来場いただきました。

また、事業の様子は当日の夕方にテレビのニュースで放送され、後日の新聞にも掲載され、ロータリーの活動を知ってもらうことができました。

(第 2650 地区 奈良県)

第 4 回宇都宮さんま祭り 宇都宮 RC 雑誌・広報委員長 松井 公彦

11 月 1 日、毎年開催している「宇都宮さんま祭り」を開催。今回で第 4 回になります。このプロジェクトは、東日本大震災復興に関連して、気仙沼の子どもの心のケアを目的としています。

宮城県の気仙沼ロータリークラブ(RC)と気仙沼南RCと連携し、サンマを 3,000 匹購入して、宇都宮市中心部で、当クラブと文星芸術大学附属高校インターアクトクラブ(IAC)、宇都宮女子高校百合 IAC、宇都宮文星なでしこ IAC、気仙沼の東陵高校 IAC、共催の宇都宮法人会、後援の宇都宮商工会議所の方々と協同でサンマを焼いて販売しました。毎年好評で、今回も 2,500 人強の来場者で会場はにぎわいました。

これらの収益金により、インターアクターたちが協力して、12 月 13 日に気仙沼で焼き餃子祭を開催、気仙沼の子どもたちを招待しました。

復興支援は、小さなことでも継続することが大切との思いから、今後も会員を中心に、支援の輪を広げていきたいと考えています。

(第 2550 地区 栃木県)



心は共に

友好の絆、木々に込めて

石巻南RC 広報 及川 幸八



2015年11月8日、岐阜長良川ロータリークラブ(RC 第2630地区 岐阜県)を迎え、ロータリーデーとして、4回目となる石巻市営羽黒山公園の整備活動を実施。羽黒山公園は石巻湾を見下ろす高台にあり、桜の季節には多くの市民の憩いの場となります。隣には『延喜式神名帳』にも登場する羽黒山鳥屋神社があり、1200年の歴史を秘めた由緒ある場所です。また、東日本大震災の津波の際、多くの方々が難を逃れ、生を得られた大切な所でもあります。

当日は、両クラブの会員、石巻小学校の児童、石巻西高校の生徒、保護者らとともに雨の中で泥まみれになりながら、ヤマザクラ10本、ドウダンツツジ100本を植樹。それぞれの願いを木の札に書いて、桜の木に託しました。

前日までに用意された友好クラブ締結記念の碑の傍らには、樹高6m(20年生)のシダレザクラがシンボルツリーとして植えられ、園内には多数のベンチが新設されました。続いて、新聞、テレビ関係者などが見守る中で石巻市の代表者を迎えて、記念碑の除幕式を行いました。

震災後すぐに、岐阜長良川RCの有志の方々が、被災者支援のために訪問。石巻南RCの存続が危うい中で、^{ぼうぜん}呆然と対応したのを思い出しました。その後、数度の植樹事業を通じて両クラブの友情は深まり、昨年4月には友好クラブの締結を石巻で祝うことができました。そして、9月27日に行われた岐阜長良川RCの創立50周年記念式典において、この事業目録が当クラブに授与され、今回のロータリーデー実施に至りました。

この事業を行いながら、当クラブのある会員の入会当時の話を思い出しました。彼は勤労学生としてロータリークラブから表彰を受け、ロータリークラブの会員となるのが夢だったとうれしそうに話してくれました。今回参加した子どもたちの中からも、同じようなストーリーが生まれることを期待しています。

この植樹事業に込められた被災者への励ましが、私たちの存在とは関係なく桜の花を通じてずっと続いていることに、彼らが気づき、植樹に携わった人たちの永遠の命を感じると思います。

それは、まさに「超我の奉仕」の爽快感です。

彼らもいつかロータリアンとして、私たちと同じように、永遠の命を感じる活動に取り組んでくれることを願っています。

(第2520地区 宮城県)

岐阜長良川RC 会長 高井 宏康

石巻南RC、岐阜長良川RCの会員が親しい友人であつたご縁で、震災後お付き合いが始まりました。当初、われわれにどんなお手伝いができるか、と真剣に悩みながら、まずはわれわれの得意な「桜の植樹」をしながら皆さまと仲良くなり「本当に必要なお支援を探す」ことを心がけてきましたが、桜の持つ意味をよく理解もせず、これまで不勉強であつたと恥ずかしく思っています。

除幕式では亀山紘石巻市長から「このシダレザクラを石巻と岐阜市との友好を深めるべく、しっかりと育てます」と力強いあいさつをいただき、大変うれしく感じました。

石巻市営羽黒山公園整備事業は、石巻南RCの協力がなければ成し得ないことで、両クラブの協同プロジェクトとして始まりました。プロジェクトが進行する中で、いつの間にか石巻南RCの単独事業に見えてきました。この錯覚は、本当に素晴らしいことだと思っています。石巻南RCと岐阜長良川RCの友好クラブ締結は、この錯覚によって融合し、真の友好クラブになったものと感じています。そのことを象徴するのが記念碑であり、シンボルツリー「シダレザクラ」です。

これからも元氣よく育て、石巻市民の皆さまに愛され続けることを願うとともに、石巻南RCと岐阜長良川RCの友好が末永く続くことを祈っています。

(第2630地区 岐阜県)

— 東日本大震災



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑮

縁と仲間がつくる“和”の心



津南 R. C.

(第 2630 地区 三重県)

カウンセラー

佐々木 喬さん

クラブ全員で応援して得たもの

チョンミンホ
鄭珉昊君をお世話したのは、5 年前。それまで、クラブでは 8 人の米山奨学生を受け入れましたが、韓国人は鄭君が初めてでした。私もカウンセラーは初体験の上、身近に韓国人と接した経験もなく、全く知識がなかったので、韓国の歴史や社会、生活などの本を何冊か買って、予習に努めました。

私がカウンセラーとしてまず考えたのは、従来以上に“クラブで”受け入れてあげたい、ということです。それまでは奨学生とカウンセラーという限られた関係での交流になりがちで、奨学期間後は音信不通になる奨学生も多かったのを、彼のためにもそうならないようになくては、と思いました。それで、鄭君にもネームプレートをつくり、例会では毎回、あまり話したことの無い人のそばに座ってもらうようにして、全員と交流を図れるようにしました。また、米山奨学生には毎月の第一例会に来てもらうのが通例でしたが、ゆっくり話す時間が取れるよう、彼には第二例会に来てもらうようにしました。

鄭君は本当にまじめな学生で、米山奨学金のおかげで研究に没頭できることを何よりも喜び、感謝していました。そんな研究一筋の彼が、われわれとの絆をどのようにつくり、保ってくれるのか、最初は少し心配でしたが、彼には「間接経験より直接経験。何でも自分で経験して物事を判断しなければ」という持論があり、忙しい中でも進んで交流してくれたと思います。

彼が研究に打ち込んだ結果、博士号を取得できたこと、さらに、国に帰って研究を継続し、世の中のために役立

てる仕事に就けたことを、われわれも皆で喜びました。

また、彼を応援することで、「近くて遠い国」が身近になったのも確かです。私自身、カウンセラーをやって良かったのは、「韓国に親しい友人がいる」と言えるようになったことです。話のできる相手が一人でも向こうにいるのは心強いですし、そうやって親しみのある人が増えれば、今後の関係はもっと良くなると思います。

仲間とともに懸け橋に

鄭君の送別会では、会員一人ひとりが激励の言葉をかけ、「交流を絶やさないで」「まめに連絡し合って」と、いろいろ注文をつけましたが、彼はその思いに誠実に応えてくれていると思います。

彼には帰国前から、ソウルの米山学友会に顔を出すよう勧めました。ロータリーとの絆を保ち、日本との懸け橋になるには、仲間と一緒にやっていくのが良い方法だと思ったからです。帰国後しばらくして「学友会に入りました」と報告をもらった時には、肩の荷が下りた気がしました。

彼の話では、今度、その学友会を中心に、ソウルでロータリー衛星クラブを創立したのだとか。彼も中心メンバーの一人として参画したと聞きました。彼の消息はできるだけ『週報』で報告していますが、このニュースには皆、驚いていました。今後、彼が仕事の上で研究の成果を実らせることはもちろん、ロータリーでも仲間を増やし、さらに活躍してくれることを心から期待しています。



鄭珉昊君（前列真ん中）を囲んで

母国に帰国した米山学友たちは教育や研究、ビジネスなど、各分野で活躍しています。韓国に米山学友会が創立されたのは1989年、前回のソウル国際大会がきっかけでした。今月下旬に開催されるソウル国際大会でも、同学友会は米山関連のイベントに協力し、日本からの参加者との交流を楽しみにしています。今回はその学友会のメンバーとして活躍する鄭珉昊さん、カウンセラーの佐々木喬さんに、お互いの交流について語っていただきました。



米山学友
鄭珉昊さん
チョン ミンホ

出身：韓国
奨学期間：2011 - 12
学校名：三重大学大学院

縁を大事にして“和”につなげる

誰も知り合いがいない環境で、新たなことに挑戦したいと、三重大学生物資源学部に留学しました。私はそこで、素晴らしい指導教授と、植物中に含まれる「リグニン」という物質に出会いました。今は、韓国企業のバイオテクノロジー部門の研究所で、「リグニン」の製品化に関わる仕事をしています。

米山奨学生になったのは、博士課程最後の1年間です。それ以前はほかの奨学金をもらっていましたが、米山のようにいろいろな人と関わる機会はありませんでした。学位取得後、帰国することになった私のために、津南ロータリークラブの皆さんが温かい送別会を開いてくれたことは、忘れられない思い出です。カウンセラーの佐々木喬さんからは今も時々、メールをいただきます。一つひとつの縁を大事にする姿勢に感謝し、私も見習うべきだと感じています。人と人との縁

を大事にすることが“和”につながるのだと、佐々木さんが身をもって教えてくれています。

学友会の活性化を目指して

「そろそろ学友会に参加しては？」と、佐々木さんから勧められたこともあり、帰国して2年後に韓国学友会の集まりに参加しました。最初は思ったよりも人が少ないと感じましたが、全員、日本に留学した共通点があり、すぐに楽しい“和”になりました。私たちは今年3月、韓国学友会を母体とした韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブを創立しました。ロータリーとの交流で学んだ“和”や“奉仕の精神”を広げていくためには、ロータリークラブを創立するのが最善の道ではないかと考えたからです。ソウル国際大会にも協力し、各国の学友や日本からの参加者と交流できるのを楽しみにしています。このような活動を通じ、学友会をもっと活性化して“和”を広げ、後輩たちにもつなげていくよう頑張りたいと思います。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



タイ米山学友会が総会を開催 —— 新役員が決定！

3月13日、タイ米山学友会の総会がバンコク市内で開催され、学友19人のほか、ビチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長、日本のロータリアンら計33人が出席。2年に1度の役員改選では、新会長のシュティカーン・テブサンさん（1993 - 95 / 新大阪RC）をはじめ、副会長と理事・幹事が選任されました。

タイ米山学友会は2012年に創立後、海岸清掃や児童養護施設への訪問、大学生への奨学金支援などを行ってきました。新幹事のワシン・ティシャシャイニランさん（2011 - 12 / 東京清瀬RC）は「今後も仲間を増やし、全員で社会に役立つ活動を楽しんで実施していきたい」と、語ってくれました。



タイ米山学友会で総会を開催

フィリピンの子どもたちを支援

一般財団法人比国育英会バギオ基金

バギオ基金は、フィリピン・バギオの日系および一般青少年を支援するため、一般財団法人比国育英会バギオ基金によって運営されています。育英資金の提供や日本への留学支援、日比両国の親善友好に寄与しており、後援者からの寄付で成り立っています。今回は、35 年になるバギオ基金設立の背景とその支援内容についてご紹介します。

バギオ基金ができるまで

一般財団法人比国育英会バギオ基金副会長 齊藤 実（東京臨海 R C）

1903（明治 36）年、ロータリーができる 2 年前、日本人 125 人を乗せた東洋汽船の客船、香港丸がフィリピン・マニラ港にいかりを降ろしました。当時、アメリカのケノン少佐がバギオ山頂に続くベンゲット道路建設の工事責任者として任務にあたっていました。大変な難工事でなかなか進みませんでした。そこで日本人がま



じめで勤勉なのを知り、労働者を募集したのです。

道路は無事完成し、フィリピンに残った日本人は現地の人と結婚するなど地元にしかり根を下ろし、各地に豊かな邦人社会を形成しました。

1941（昭和 16）年、太平洋戦争が始まり、日本軍はフィリピンに上陸、バギオは最後の激戦地となりました。バギオには日系フィリピン人が大勢いたため、壊滅直前の日本軍は、日本語ができ、日系人である彼らに協力させたのです。日本の敗戦後、この日系フィリピン人たちは、日本軍に協力したことで現地住民の激しい報復と迫害を受け、バギオ山中に逃げ、日本人であることをひた隠しにしてひっそりと生活していました。その生活の悲惨さは想像を絶するものでした。

そんな彼らに救済の手を差し伸べたのが、シスター・テレジア海野でした。シスター海野は 1911 年、静岡市

生まれ。還暦を機にフィリピンの貧しい人々のために余生をささげるべく、1972 年、マニラのマリア宣教者フランシスコ修道会に赴任しました。たまたま休暇でバギオへ行く途中、ベンゲット道路開拓に日本人労働者が活躍したことやその後の彼らの境遇を聞いた彼女は、彼らの子孫は今どこでどうしているのだろうと心を痛め、手

当たり次第に日系人の消息を尋ね歩き、一人二人とその存在を明らかにしていきました。「もう日系人だと隠さなくても大丈夫。これからは皆で助け合っていきましょう」と言うシスター海野の言葉に、のり巻きを食べながら何十年ぶりかで日本語を話し、人々は声を上げて泣いたといいます。「なにか私にできることはないの」と言うシスター海野に、彼らの答えはいつも「子どもの教育」。ほとんど定職を持たず、食べていくこともままならない彼らにとって、学校の授業料は大変な負担でした。この恵まれない日系人の子どもたちに奨学金を提供し、この国のために有意な人材を育てる支援を——。これを知ったロータリアンは東京のロータリークラブに呼びかけ、まさに一隅を照らす事業と、W C S（世界社会奉仕）活動の一環として実施し、3 年の準備期間を経て、1981 年 9 月 22 日、バギオ基金を設立しました。

バギオ基金の支援内容

バギオ基金では、以下のように育英資金としてのバギオ基金奨学金と、受け入れ留学生への支援を行っています。

バギオ基金による支援の種類		年額	期間	募集システム	人数（※1）
バギオ基金奨学金（育英奨学金）					
提携先	バギオ R C	3,500 ドル	大学入学から卒業まで	各提携先の選考による	4 人
	バギオサマーキャピタル R C	3,500 ドル			8 人
	（財）北ルソン比日基金	28,000 ドル	高校または大学入学から卒業まで		65 人
受け入れ留学生支援		学費全額／日本での生活費用の補助（※2）	来日から帰国まで（滞在期間約 2 ～ 3 年）	バギオ基金の奨学生対象	2 ～ 3 人／年

（※1）奨学生数は 2015 年度実績。（※2）学費約 70 万円、寮費用約 35 万円、生活費約 84 万円／一人当たり年額

戦後いまだ恵まれない日系子孫への思い

2016年2月11～14日 第37回バギオ訪問交流の旅に参加して

一般財団法人比国育英会バギオ基金会長 坂本 俊雄(東京八王子南RC)



カバルヤン小学校での歓迎

秀な生徒たちに使われていると知る。バギオロータリークラブ(RC)、バギオサマーキャピタルRCの例会で、奨学生たちが心を込めて日本の童謡・唱歌を数曲合唱する姿に感動しない者はいない。同時にアメリカ兵に追い詰められた日本軍兵士も、祖国・日本の平和と繁栄を願って歌ったと思うと、戦場にしてしまったフィリピンでのバギオ基金の授与者たちが、祖国・フィリピンのために尽くしてほしいと願うのは当然だ。カバルヤン小学校でも生徒や教師、保護者も含め約500人に日比両国の国旗で歓迎され、ジーンとなった。

今年も奨学生20人をマニラに招待した。生

まれて初めての大都会に興奮し感激しただろう。夕食交流会には、在フィリピン日本大使館から大使代理らが参加。日系フィリピン人で北ルソン比日基金理事長のカルロス・B.寺岡氏に、今回も取り仕切ってもらった。一度バギオを訪れ、奨学生に接することをぜひお勧めする。

(2007～08年度、2014～15年度 第2750地区ガバナー)

今年の1月に天皇・皇后両陛下が第二次世界大戦(太平洋戦争)中のフィリピン戦での戦没者とフィリピン人犠牲者の碑に黙とうをされた。多数の犠牲者を出し、悲劇がいたるところで繰り返されていたことはあまりに悲しい。

今年のバギオ訪問団65人が、アボン会館(シスター海野記念会館)での奨学金授与式に参加した。奨学生たちは伝統的な民族舞踊などで歓迎と感謝の気持ちを表してくれた。

バギオは山や谷の多いところだ。奨学生の家庭訪問のため、乗り合いタクシーのジブニーに分乗して9家族を訪れた。貧しさがにじみ出る家に住んでいるが、あらためて奨学金が優



奨学生の家庭訪問



奨学生による民族舞踊での歓迎

バギオ基金の現況 【創立】1981年9月22日【財団設立】2009年7月1日【奨学金を与えた学生数】3,476人
【受け入れ留学生数】14人【後援・関係RC数】369RC(34地区)【後援者数】3,897人
【バギオ訪問回数と参加延べ人数】1977年度から2015年度まで37回 1,143人

一般財団法人比国育英会バギオ基金事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-9 新盛ビル5階

Tel. 03(5367)1937 Fax. 03(5367)1938

E-mail baguiofund@eos.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.baguiofund.or.jp>

寄付金受け入れ口座

振込銀行

三井住友銀行東京中央支店

口座番号(普通) 8246604

郵便振替

口座番号 00130-0-102022

個性を発揮し、魅力あるクラブを目指して！

第 2650 地区

中澤 忠嗣 ガバナー
(京都南 R C)



第 2650 地区は福井県、滋賀県、京都府、奈良県をエリアとし、97 クラブ、会員数約 4,600 人で構成されています。地域事情やクラブの規模もさまざまですが、ロータリーらしい奉仕活動を、という志は共通です。

そこで私は本年度の地区スローガンを「クラブに『個性』と『憧れ』を！」として、各クラブの課題、継承・改革すべきこと、奉仕活動のあり方などを、徹底的に議論して、従来の概念にとらわれることなく、これからのロータリー、クラブ運営について考えてもらいました。同時に、地区組織は各クラブの課題や問題解決のためのサポートをする、という運営をしました。

諸先輩のバスターガバナーの皆さまと、少し違った方針を打ち出し過ぎたかと反省しておりますが、幸いにもバスターガバナーの皆さまにも私の考えや思いを理解いただき、貴重な助言をもらうことができ、また、各クラブの会長の皆さまも私の考えを受け入れ、素晴らしいリーダーシップを発揮してくださり、大変感謝しております。

そして、本年度の地区大会は、国際ロータリー会長代理として、第 2570 地区バスターガバナーの加藤玄静夫妻を迎え、京都きっての芸術・文化ゾーン岡崎の地に装いを新たに「ロームシアター京都」で、春爛漫の 4 月 2～3 日に開催しました。

ガバナーに就任して約 10 か月。各クラブにおいては、個性づくり、魅力づくりについて、活発に議論を交わしつつ活動を進めています。

各クラブそれぞれが、ロータリーという共通の枠の中でも個性を発揮し、地域の中で存在を確立し続ければ、これに勝る会員増強の手だてはないのではと思います。

各クラブがより個性に満ちた、輝き、憧れのクラブになるよう、ガバナーとして残された任期も奔走する覚悟でございます。

(プリント染色)

公式訪問を終えて

第 2660 地区

立野 純三 ガバナー
(大阪 R C)



昨年 1 月、サンディエゴで国際協議会に参加し、P E T S (会長エレクト研修セミナー) や地区・研修協議会などを経て、7 月からガバナーとしてスタートを切りました。わが地区は 81 クラブありますが、ガバナー公式訪問で合同例会の開催を各クラブにお願いした結果、65 か所の公式訪問となりました。

公式訪問では、国際ロータリーのテーマ「世界へのプレゼントになろう Be a Gift to the World」を基に、ロータリアンは何かを得るのではなく、与える行為によって評価されるということ、各クラブで話しました。地区方針として「変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！」を掲げ、時代の流れとともに、私たちの背景は大きく変化している状況を踏まえ、変えなければならないところ、変えてはいけないところを明確にして、誰もが入会して活動したいと思えるクラブに変化しなければ、存続が危ぶまれるクラブが多くなってくのではないかという現状を話し、戦略計画委員会を各クラブに発足させてほしいとお願いをしてきました。

これは公式訪問をしてわかったことですが、当地区は、ロータリー財団、ポリオプラス、米山記念奨学事業への関心は非常に高く、各クラブが積極的に寄付を行っています。また、地区補助金、グローバル補助金を活用してさまざまな社会奉仕活動や国際奉仕活動を行っており、皆さんの意識の高さをうれしく思いました。ロータリーは各クラブが主体であり、あくまでも地区の各委員会はクラブをサポートする役割であると思っています。

ロータリーのルネサンス。今以上に、第 2660 地区が光り輝き、全クラブが地域に根差した社会貢献、国際的な奉仕活動を積極的に行い、誰もが入会したくなるような魅力ある組織、クラブに変化していくことを願ひながら、残り少ないガバナーとしての任期を活動していきたいと思っております。

(金物製造)

お接待の心

第 2670 地区

山田 戒乗 ガバナー
(徳島 R C)



昨年末、地区内 74 クラブの公式訪問を終えました。同期ガバナーの多くは公共交通機関で訪問できるとの由。四国では全部随行の方に運転してもらいました。徳島の東端から対角線上に高知県の宿毛(約 300km)へは、徳島市から高知市まで約 2 時間 20 分、高知から宿毛まで約 2 時間 30 分かかります。そのまま北上すれば宇和島(徳島から約 270km、約 3 時間 10 分)となりますが、スケジュールが組めません。同様に、高知東部は徳島から近いように見えても室戸回りは時間がかかります。愛媛県は松山を中心として南予、西予と訪問し、今治で泊まるなどして終えました。

香川での夜間例会に待機するまでの間に、四国の最北端は？ 誰もわかりません。高松市庵治町でした。地図でご確認ください。さらに徳島市は松山市より北にあり、高知市は愛媛県の伊方原発より北にあるのを知りました。ロータリークラブが存在する町は徳島県以外ほとんど沿岸部。簡単なこととはいえ、公式訪問をしなければ気がつかないことでした。

この間、随行の皆さんには大変ご迷惑を掛けました。ほとんどの行程が、往復 3～6 時間の車中ゆえ、打ち解けた会話が弾み、楽しいことでもありました。言い換えれば現代版「お四国遍路」でした。

第 2670 地区内は各クラブに特色があり、多様な例会様式、人道支援、スポーツ支援、奥地へ入っての植樹、青少年健全育成など、奉仕活動には枚挙にいとまがありません。地区の協同事業としては、第 7470 地区(アメリカ・ニュージャージー州)との毎年 30 人前後にして 38 回目の短期青少年交換事業があります。最後の日に台風が襲来しましたが、皆さん無事に帰られほっとひと息。

ガバナーとして、素晴らしいロータリアンに出会う機会ができたのは、今年度の私の意識(勝手訳)の地区目標「お接待の心」の発露と感謝しております。

(宗教)

ロータリーが青少年に 目指すもの～R Y L A

第 2680 地区

丸尾 研一 ガバナー
(神戸西神 R C)



私のロータリー感を述べますと(多少の偏見はお許しを)、ロータリークラブとは、決して奉仕団体ではなく(でも奉仕はする)、寄付団体でもなく(でも寄付はする)、ましてや慈善団体でもなく、N P O でもありません。

私たちはロータリアンであり、点鐘とともに日常から離れ、精神が浄化され、点鐘で終わりを迎え、日常に戻ります。例会は、己の足らざることを学び、全ての人々の美しい心を感じるひとときです。公式訪問では、例会の大切さを訴えてきました。どんな奉仕をしたかではなく、どんな人材を育成したかが重要であり、人材育成(自分も含む)のために親睦と奉仕があると考えます。

最近、2 夜連続で夢を見ました。青少年には何を与えて、何を与えてはいけないのか。2 日目の夢で答えが出ました。物質的(お金)なものはあまり与えるべきではなく、チャンス(機会)はどんどん与えるべきであると。

当地区 R Y L A (ロータリー青少年指導者養成プログラム)は、第 1 回から第 2670 地区との中間にある余島(無人島)で、両地区合同で 3 泊 4 日で実施し、今年度 38 回目を迎えます。

故・今井鎮雄元国際ロータリー理事は、グループワークという社会福祉方法論の枠組みの中で育った、新しいグループ指導と方法をアメリカから持ち帰り、日本の R Y L A を開発しました。このプログラムは奥が深く、あらゆるシーンに深淵さを伴った理論が横たわっています。今井氏は、個人の成長と発達を絶えず考え、成長とは人間性の発達を第一とし、そしてなにより「弱者の側に立つ、寄り添う」ことを当然と考え、青少年の育成にその生涯をかけて力を注ぎました。R Y L A が国際 R Y L A に採り入れられたのは必然だったのです。

R Y L A とは「人と出会い 神と交わり 愛の火の燃えるところ」。青少年にチャンスを与え、寄り添い、より良い人材育成プログラムを継続していきたいです。

(モバイルコミュニケーション)

あいことばは Enjoy Rotary

第 2690 地区

佐藤 芳郎 ガバナー
(岡山南 R C)



当地区は岡山・鳥取・島根の3県にまたがり、出雲大社、隠岐、石見銀山、宍道湖、砂丘とすなば珈琲、山陰海岸ジオパーク、瀬戸大橋、倉敷、後楽園、吉備津神社などの名所旧跡が多く、また、備前焼や刀剣の長船、海山の幸や果物などのおいしいものにも恵まれています。全国のロータリアンの皆さま、ぜひ「心のふるさと」をお訪ねください。しかしながら地理的には東西約 300km、南北は中国山地に分断され、公式訪問で一日に約 800km を走破した時にその広さを再認識しました。岡山への交通の便がよくない地域から集まる苦勞に気づき、あらためて頭の下がる思いでした。

私は、本年度の国際ロータリーのテーマ「Be a Gift to the World」を実現するには、一人ひとりのロータリアンがロータリー活動に積極的に「参画」し、「相互理解」が進み、ロータリーを「楽しみ」、奉仕を「実践」し、ロータリーの「良さ」を実感し、ロータリーを「好き」になることが大切と考え、「あいことばは Enjoy Rotary」と提唱しました。「ロータリーは 100 人 100 色」と言いいますから、自分の信じるロータリーを見つけ、それを実現してロータリーを「好き」になったロータリアンは、必ずや熱意と愛情を持って自分自身が「gift」になり、「奉仕の理念」を共有できる友人を誘って増強を図り、浄財の提供により「ロータリー財団の基盤強化」にも貢献してくれると信じたからです。

結果として、地区内 67 クラブ、3,000 人強のロータリアンが、ガバナーの自分勝手な「夢」をかなえてやろうと力を貸してくれました。今年度が地区内各ロータリアンには「記憶に残るよい年度」となり、各クラブの歴史と文化創りに素晴らしい一ページを描き加えられたと思います。ロータリーを Enjoy し、好きになり、奉仕に尽力した皆さまに、この場を借りて心より御礼を申し上げます。「感謝・感謝・感謝です!!」

(公認会計士)

私の救世主 『第 2700 地区 地区史』

第 2700 地区

本田 正寛 ガバナー
(福岡 R C)



私がガバナーに就任する直前の 2015 年 1 月に、第 2700 地区で、ロータリー創立 110 周年を記念して、『第 2700 地区 地区史』が発刊されました。ページ数にして約 300 ページ。カラー印刷で上質紙の豪華版で、見事な出来栄です。当地区の会員は全員購入しましたが、私にとってこの存在はまさに「干天の慈雨」、かねてより待ち望んでいたものでした。

それまでの地区誌は、ロータリー創立 75 周年を記念して、1981 年に発刊した『第 270 地区史』があるだけで、それ以降、地区誌の編纂は行われておらず、そのため、その後の当地区の出来事や、他クラブの活動状況などを知る上で多くの会員が不便を感じておりました。そのことが、この度の地区史発刊につながりました。

ロータリー創立 110 周年を期に、前回の地区史以降の 1980 年から 2015 年までの 35 年間の地区ならびに、各クラブの歩みや、主な出来事を取りまとめ、その上、全 61 クラブの自己紹介欄を設けて、出来上がったのがこの地区史です。

ガバナーとして未熟な私をこの地区史は早速助けてくれました。と申しますのは、就任直後の 7 月中旬から、最初のミッションである「公式訪問」がスタートしたからです。公式訪問実施前に、訪問クラブの概要、例えばクラブの歴史・地域の概要・会員の状況・五大奉仕活動の内容などについて、あらかじめ予備知識として持っておきたいと思っていたところ、タイミング良くこの地区史に巡り合うことができ、おかげでなんとか公式訪問を乗り切ることができました。

そのほか、クラブの周年行事などで、ガバナー祝辞を申し上げるときにも大変重宝しております。いつも手元に必携の、私のベストパートナーであります。

(商業銀行)

ロータリーの原点を携えて公式訪問

第 2710 地区

東 良輝 ガバナー
(宇部西 R C)



第 2710 地区は、広島、山口の 2 県を守備範囲とし、12 グループ、74 クラブで成り立っています。昨年 7 月からのスタートでしたが、その前に、ガバナー補佐の主催で、グループごとにガバナーエレクトを囲む会が開催されます。会長エレクトと次期クラブ幹事が一堂に会しての会合で、ガバナー公式訪問の前に、あらかじめガバナーエレクトに各クラブの雰囲気を知ってもらおうと開催されるもので、ガバナー補佐の友情に満ちた細かい配慮がみなぎっており、大変有意義な会となりました。

7 月の暑い日から始まった公式訪問は、各クラブとも比較的順調に進んだようです。私としては、年内にすべてのクラブ訪問が終了するよう計画していましたが、8 月に台風が西日本を襲い、新幹線が始発から止まる事態に遭遇、ついに広島市内の 1 クラブには大変迷惑をかけてしまいました。

私は「ロータリーの原点に立ち返る」ことを信条に各クラブを訪問しました。今、ロータリーはいろいろと改革に取り組んでおります。しかし、変えてはいけないうものもあります。それはロータリーの根底に流れるロータリーの精神だと思っています。ロータリークラブが創立されたその時の目的は、親睦と職業倫理の確立であったであろうと思っています。あの混沌としたシカゴの街で、仲間との取引だけは高潔なものにしようと誓ったのではないかと想像しております。ロータリーは年を追うごとに大きくなっていきます。その過程で社会奉仕の概念が生まれ、それが広まって国際奉仕、青少年奉仕とつながっていきます。これを貫く思想が「奉仕の理想」であると思っています。

最終日はまもなくです。その時にガバナー補佐をはじめ、役員の人々から「東ガバナーの年度に役を引き受けてよかった」と言ってもらえればと願いつつ、筆をおきます。

(整形外科医)

人生の豊かさの一助に

第 2720 地区

野田 三郎 ガバナー
(熊本南 R C)



今年度も残すところあと 2 か月となりましたが、この 10 か月余りをガバナーとして、地区内の多くのロータリアンの皆さまとお会いし、ロータリーについて大いに語り合えたことに感謝申し上げます。

私は、今年度、ロータリーの哲学である「The Object of Rotary (ロータリーの目的)」の地区内への浸透を図っていくことを最優先に取り組みました。

ガバナー公式訪問では、アドレスを通して、これまでの私自身の人生観や人生哲学から The Object of Rotary を考察し、私のロータリーについての考え方を、多くのロータリアンの皆さんと語り合えたことが、私自身の新たな気づきになり、私自身の成長に大きく貢献したと実感しております。

もちろん、100 人のロータリアンがいれば、ロータリーに対する考え方は 100 通りあってしかるべきであります。

また、ロータリーの精神については、毎週例会時に歌うロータリーソング「奉仕の理想」「我等の生業」「それでこそロータリー」「手に手つないで」の歌詞の一つひとつにも含まれております。このことを味わって、歌ってみてはいかがでしょうか。

このように、ロータリー活動の底流にあるロータリーの哲学や精神をよく理解することで、一つひとつの奉仕活動の意義が深くなり、ロータリアンとしての意識も高まり、その結果としてロータリアンとしての自信と誇りにつながってくるものと考えます。

ロータリーも長期的には、人材でつないで発展していくものです。年配会員と若手会員のお互いの世代間の交流を密にし、各ロータリークラブがますます発展することを期待しています。

ロータリー活動が、皆さまの人生の豊かさの一助となりますことを祈念申し上げます。

(火薬配布)

ロータリー・ パートナーシップ！

第 2730 地区

野中 玄雄 ガバナー
(延岡東 R C)



国際ロータリー (R I) の「世界へのプレゼントになろう」の恩恵と地区内外ロータリアンのご厚情にあずかりながら、年度の終盤を迎えました。

地区大会は、前日の R I 会長代理 (香港ハーバー・ロータリークラブ) の急病欠席という不測の事態から起死回生、結果的には大成功となりました。ロータリー特別セッションの講師の田中作次元 R I 会長と、同じく講師の中村靖治パストガバナー (P G) が救世主となったのです。田中元 R I 会長のアドバイスで、中村 P G に急速^{きゆうきよ}その代理を務めてもらい、実に感動的なアドレスをいただきました。

さて、R I テーマを受けて、「奉仕は力！活かそう例会」を地区モットーとして掲げました。さらに、クラブの活性化には身近な家族や社員、職員の皆さんからのロータリーに対する理解と協力が最重要と考えました。

一つに、家庭や職場を対象とした「ロータリー・アピール」ポスターを作製しました。「ロータリーの目的」「四つのテスト」「ロータリアンの行動規範」「ポリオ撲滅」などを織り交ぜ、家庭と職場に各 1 枚掲示してもらいました。

二つに、公式訪問に際して最も身近な配偶者 (パートナー) の参加を、ガバナー補佐を通じて要請しました。その結果、地区内 65 クラブ中 41 クラブで延べ 270 人の配偶者 (職員、社員若干含む) の皆さまに出席いただきました。事前懇談ではロータリーへの所感を伺い、例会では食事と記念写真にも加わってもらい、何とも華やかな公式訪問となりました。ちなみに、今年度の当地区の会員増強は、年度当初比約 2.8% 増 (2016 年 2 月末現在) と好調です。また、5 月のソウル国際大会には 200 人の参加者目標が達成できました。最も身近な人の理解がここにも息づいているようであります。

まさに、「ロータリー・パートナーシップ！」は、クラブ発展の活路だと、いよいよ実感するところです。

(仏教)

ガバナーの長距離 84.39 km を走破して

第 2740 地区

宮崎 清彰 ガバナー
(諫早北 R C)



ガバナーの任期中、ガバナーに課せられる行動の軌跡は、マラソン走者の苦悩に例えることができます。年間を通してロータリーのさまざまな行事に参画し、そのすべての主役を演じ切って迎える最後の心境は、ゴールテープを切ったランナーの胸中をよぎる達成感と脱力感が入り交じった状況に似ているからです。私の場合、心臓手術後の決して万全でない体をもって 2014 - 15 年度ガバナー年度を走り切ったため、その喜びはひとしおでした。「あせらず」「無理せず」「健康」「感謝」のスローガンを抱いて、その任に就きました。

しかし、運命の女神はその喜びに浸る安堵^{あんど}の時を許してはくれませんでした。2015 - 16 年度ガバナーとして着々と準備を進めていた太田善久氏が突然の病魔に襲われ、再起不能に陥って退会しました。気がつくとは私は副ガバナー、そして 2 度目のガバナーとして 2 倍の道程を走破することになったのです。

ガバナーの最大の責務は、地区内の全ロータリークラブを公式訪問し、国際ロータリーのテーマを共有することです。これに対して病み上がりの私には、その体力はあまり残っていませんでした。そこで、第 2740 地区の各地に分散するパストガバナーに、自分のテリトリーのクラブ公式訪問を分担してもらいました。その結果、私の余力は最大のイベント「地区大会」に向けられ、佐賀県唐津市で開催された大会を大過なく終えることができ、また、その他のいろいろな行事にも出席して、祝意を述べる機会を果たすことができました。そして間もなくその任を終えようとしています。

こうして思いがけなく与えられた 2 度目のガバナーの責務も、健康があったからこそ先遂^{かんすい}することができたのであり、いつまでも健康を維持しつつ、自分の職業を通して地域社会に貢献していきたいと願う昨今です。

(医薬品配布)

「お楽しみ」がいっぱい

ソウル国際大会 5月28日～6月1日

2016年ソウル国際大会ホスト組織委員会



5月28日

3キロ平和行進 午前8時30分

(ホスト組織委員会・第3650地区 参加費：無料)

平和への願いを込めて、第3650地区とホスト組織委員会が合同で準備する3キロ平和行進がソウル市庁前の広場と光化門広場で行われます。参加者は8時までに市庁前の広場にお越しください。

江南ストリートフェスティバル 午後12～7時

(第3640地区主催 参加費：無料)

COEX前の広場で行われます。韓国人の歌手・サイ(Psy)の「江南スタイル」で有名になり、世界的観光名所となっている江南を満喫できる多様な楽しみが待っています。世界の食べ物コーナーで昼食が楽しめます。伝統衣装を着た参加者は記念品がもらえます。

Welcome Festival 午後8～10時

(ホスト組織委員会主催行事)

江南ストリートフェスティバル会場のすぐ近くにある蚕室室内体育館で開催。K-Popスター、クラシックアーティスト、韓国の伝統音楽・国楽、オーケストラ、合唱団、舞踊団など多様なジャンルの音楽が楽しめます。

会場：オリンピック公園体操競技場

料金：R席40ドル、SS席30ドル、

B席5ドル(インターアクト、ローターアクト、ヤングリーダーズサミット参加者に限る)

5月29日

コリア・シンフォニー・ナイト 午後8～9時半

(ホスト組織委員会主催行事)

「芸術の殿堂」で、KBSオーケストラと世界的な演奏家たちが競演します。2007年度チャイコフスキーコンクールで1位に輝いた日本を代表するバイオリニスト神尾真由子、岩手大学合唱団も参加する予定です。

料金：R席80ドル、S席60ドル、

A席40ドル、B席20ドル

5月30日～6月1日

昼食会 午後12～2時(RI主催 有料)

K.R. ラビンドラン国際ロータリー(RI)会長昼食会、ジョンF.ジャームRI会長エレクト昼食会、アト

ランタ国際大会昼食会が順番に開かれます。RIホームページから申し込むことができます。

分科会 午後1～5時

(6月1日は午後1～4時30分)

各国のロータリアンが提案した100以上のテーマで、熱気あふれる討論が行われます。日本語または日本語の通訳が入る分科会もあります。日程はRIホームページから確認できます。

バレエ公演 5月30日 午後7時30分～9時

(ホスト組織委員会主催行事)

世界的バレリーナであるカンスジン団長が率いる国立バレエ団とユニバーサルバレエ団、そして韓国最初の民間バレエ団であるソウルバレエシアターが、Laboratory Dance Projectとともに披露してくれます。

会場：高陽市・アラムヌリ劇場

料金：R席50ドル、S席40ドル、

A席30ドル、B席20ドル

友愛の家

食事やイベント、そしてロータリー親睦グループや地区のブースなどが一か所に集まっている大会場中の唯一のエンターテインメントの空間です。米山記念奨学会や日本の地区のブースもあります。

詳細は、RIのホームページ(<https://www.rotary.org/myrotary/ja>)ならびにホスト組織委員会のホームページ(<http://www.riconvention.org/ja/seoul/host-ticketed-events>)をご覧ください。



国際大会カウントダウン
「持続可能性」の大切さ



2014 - 15 年度、ロータリー財団は、水と衛生分野の活動に 2,000 万ドルのグローバル補助金を提供しました。これはほかのどの重点分野よりも大きな額です。ソウル国際大会（5 月 28 日～6 月 1 日）の直前、5 月 27 日に、水と衛生分野のロータリアン行動グループによる世界水サミットが開催されます。水と衛生の分野で活動している、または関心のあるクラブや地区はぜひお立ち寄りください。

今回のテーマは「持続可能な戦略と解決策：全世界の水と衛生活動」。WASHディレクターでカトリック・リリーフ・サービスのバネッサ・トービン氏が「持続可能性の歴史」、Aguaconsult ディレクターのハロルド・ロックウッド氏が「持続可能性を確保するためにロータリーが行うべきこと」、Water.org 共同創設者のゲイリー・ホワイト氏が「WASH財務の持続可能性」といったトピックを取り上げるなど、6 人の講演が行われます。基調講演の合間には、分科会も予定されており、ここでパネリストとともに持続可能性のさまざまな側面を話し合うこともできます。

K. R. ラビンドラン国際ロータリー（R I）会長も講演予定で、ロータリー財団職員からは水と衛生分野の最新情報を聞くことができます。

この行動グループによるサミットは

今回が 8 回目。これまでは、WASH in Schools（学校での水と衛生活動）、効果的な協力方法といったテーマがありました。

サミットへの登録は、wasrag.org/www8-seoul-korea から。国際大会の登録は、R I のウェブサイト www.riconvention.org/ja から。

管理委員長の思い

財団 100 周年の祝賀、ソウル国際大会で幕開け

2015-16 年度ロータリー財団管理委員長 レイ・クリングスミス



ロータリー財団の創立 100 周年祝賀行事は来年 6 月に行われますが、それに向けて 1 年間、さまざまな活動が企画されています。祝賀行事は韓国ソウル国際大会に始まり、2017 年に開催されるアメリカ・アトランタでの国際大会で最高潮を迎えます。私は、2004 - 05 年度にロータリーの 100 周年を祝った時の感動を今でも覚えています。財団の 100 周年でも全世界のロータリアンが同じ熱意をもって祝うことを願っています。

ソウル国際大会では、5 月 31 日の午前中に開かれる本会議で、財団プログラムが大きく取り上げられます。しかし、100 周年の祝賀を成功させる上で最も大切なのはクラブと地区の活動です。この 100 年に一度のイベントの計画づくりを支援するため、友愛の家に設けられたロータリーリソースセンターでは、各種資料やアイデアを紹介しています。

国際大会に参加できないロータリアンは、ウェブサイト www.rotary.org/ja/foundation100 から推進キットをダウンロードして、活用してください。推進キットには以下が含

ロータリー規定審議会が開催

4 月 10 ～ 15 日、アメリカ・シカゴで国際ロータリー（R I）規定審議会が開催され、世界中から集まる代表議員がロータリーの組織規定に関する審議が行われました。

3 年に 1 度開催される規定審議会では、各ロータリー地区から代表議員が

R I 指定記事

まれています。

- クラブと地区のための行事アイデア
- 記念誌『世界でよいことをしよう：人びとの心に触れた 100 年』の案内パンフレットとしおり
- 推進用ポストカード
- クラブが地元の活動を広報するためのプレスリリース（見本）
- ロータリー財団の歴史に関するパワーポイント資料
- 財団 100 周年のレターヘッドとパワーポイント用テンプレート
- 財団 100 周年のビデオ（お勧め）
- 財団 100 周年のロゴ

ロータリー財団という大きな支えがなければ、今日あるようにこれほど強くて活気あるロータリーにはならなかったでしょう。その財団が、今 100 歳の誕生日を迎えようとしています。ロータリーは 3 万 5,000 以上のクラブから成る草の根の組織であり、クラブのほとんどが財団から直接に恩恵を受けています。それゆえに、ロータリーが「世界でよいこと」をするために創設されたロータリー財団への感謝を込めて、皆さま一人ひとりが、皆さまのクラブが祝賀にご参加いただけることを願っています。



出席し、ロータリーの組織規定を変更するための立法案を審議し、投票するほか、R I 理事会への意見表明と推奨を行います。

審議会の最新情報と投票の集計結果は、R I のウェブサイト My ROTARY からご覧いただけます。

今回の審議会に提出された立法案に

は、クラブ例会の時間や運営方法に柔軟性を持たせることで会員増強を意図した案件が多く含まれています。また、会員としての要件を改正する立法案もあります。

今後の R I 国際大会

2016 年 5 月 28 日～6 月 1 日

韓国・ソウル

(以下、予定)

2017 年 6 月 10～14 日

アメリカ・ジョージア州アトランタ

2018 年 6 月 24～27 日

カナダ・トロント

2019 年 ドイツ・ハンブルク

2022 年

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数

1,222,340 人

クラブ数 35,122 クラブ

地区数 535 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 201,342 人*

クラブ数 8,754 クラブ*

国と地域 160 以上*

インターアクト会員数 441,278 人*

クラブ数 19,186 クラブ*

国と地域 150 以上*

2016 年 1 月 31 日現在
* 2015 年 12 月 29 日現在

ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

「パズル de ロータリー」(2 月号) の答えと解説

2 月号の答えは

「ながいずみ」

当選者 (敬称略・順不同)

応募総数 173 人 正解者 170 人
赤羽武應 (諏訪大社 R C)、尾崎幸雄 (新宮 R C)、桑原美由紀 (柏崎東 R C)、大原律子 (所沢西 R C)、古軸裕一 (南砺 R C)、沼田直輝 (川崎大師 R C)、梶田千史 (福山東 R C)、中村淳一 (岡山後楽園 R C)、中村勝治 (高岡北 R C)、小野友道 (熊本 R C)

セ	ツ	ブ	ン	コ	ア
ワ	カ	シ	サ	ク	ズ
タル	フ	ト	ド	キ	
ハ	サ	ミ	ウ	チ	
ミ	ン	カ	ン	リ	チ
ナ	トリ	ネ	イ	ル	
ト	ウ	セ	コ	ン	ド

ところで「ながいずみ」って?

長泉とは、日本のロータリー創設者であり、東京ロータリークラブ初代会長の米山梅吉が幼少期を過ごした静岡県東部に位置する村の名前です (現在は長泉町)。

梅吉は、1868 年に江戸・芝、田村町で生まれました。諸説あります

が、現在でいうと港区新橋 4～6 丁目あたりのようです。梅吉が 4 歳の時に、父・和田竹造が亡くなり、母の郷里、静岡県三島に母とともに移り住みました。

神童と言われた梅吉は、長泉の小学校を卒業すると、将来を嘱望され沼津中学に進学、16 歳の時、単身上京し、働きながら勉強を続けました。そして長泉で 400 年以上続く旧家、米山家に請われて養嗣子として入籍後、アメリカに渡りました。



8 年間の留学を終え帰国すると、縁あって三井銀行に入行。後に三井銀行常務取締役、続いて三井信託株式会社を創立、初代社長に就任しました。実業家として活躍する一方、社会的・文化的事業への支援も積極的に進めました。また、長泉村に図書館を建てて図書 1,000 冊とともに寄贈するなど、

自らの信念に基づいた社会奉仕活動を生涯を通して続け、1946 年に長泉村の別邸で逝去しました。

ちなみに、ロータリーの創立者ポール・ハリスは 1868 年 4 月 19 日生まれで米山梅吉と同じ年。これも何かの縁でしょうか。

現在、長泉には米山梅吉記念館があり、梅吉の遺品やロータリー関連の資料が展示されています。

米山梅吉記念館

電話 055-986-2946

詳細は「米山梅吉記念館」でウェブ検索を。

※関連記事『友』4 月号横組み P 18～21

『友』2 月号

印象に残った記事ベスト 3

1 位 (74 人)

努力で夢をかなえる

2 位 (20 人)

わがまち……そしてロータリー
大阪府東大阪市

3 位 (11 人)

・子どもたち、若い人たちが夢を持てる
みらいのために
・パズル de ロータリー

おまけ

ROTARY 掲 示 板

新クラブ

西宮イブニング (2680・兵庫県)

2016年3月7日承認 No.2392

会員数 20人 例会日 水 19:15

例会場 西宮市大学交流センター

事務所 〒662-0832 西宮市甲風園
1-15-8 山北恒也方

会長 山北 恒也 幹事 島中 一成

事務所住所変更

保原 (2530・福島県)

〒960-0631 伊達市保原町中瀬字日
の出 50-1 だてごるふ練習場内

吉田 (2560・新潟県)

〒959-0251 燕市吉田本所 83-1

東京東大和 (2580・東京都)

〒207-0014 東大和市南街 5-89-11

若林ビル 2 階

沼津西 (2620・静岡県)

〒410-0301 沼津市宮本 80-27

ニューウェルサンピア沼津内

高山 (2630・岐阜県)

〒506-0841 高山市下三之町 136

十六銀行高山支店 2 階

東京グローバル (2750・東京都)

〒101-0044 千代田区鍛冶町 2-1-2

鋭光ビル 6 階

名古屋葵 (2760・愛知県)

〒490-1221 あま市金岩枝村 36

美和保育園内

肥後小国 (2720・熊本県)

〒869-2504 阿蘇郡小国町西里 2052-
9-43 まるメディア内

例会場・曜日・時間変更

広尾 (2500・北海道)

ホテルむらかみ 12:15

東京東大和 (2580・東京都)

B I G B O X 東大和

玉野 (2690・岡山県)

4～9月 瀬戸内温泉たまの湯

10～3月 瀬戸大橋カントリークラブ

くにさき (2720・大分県)

ホテルベイグランド国東

新ローターアクトクラブ

東京御苑 (2580・東京都・東京御苑)

発会 2016年2月28日 会員数 11人

事務所 〒170-0013 豊島区東池袋
3-23-5 DAIWA 東池袋ビル B1

東京御苑ロータリークラブ気付

会長 黒岩 亨 幹事 戴 孟稻

広報誌 ROTARY (一般向け／会員勧誘用) 好評発売中！



今年度も公共イメージ向上のため、一般向け、会員勧誘用の広報誌を最新版に改訂して、制作しました。

一般向け「世界と日本」は、ロータリーの国際的な活動の紹介と日本のロータリークラブの活動を写真中心に紹介。1セット(10冊)定価 500 円＋消費税(送料別)です。

会員勧誘用「あなたも新しい風に」は、ロータリアンになったら実際にどのような活動をするのか？ という視点で、例会・出席や職業奉仕について紹介。1セット(5冊)定価 400 円＋消費税(送料別)です。

見本誌とご案内状(申し込み用紙付き)は『友』9月号と一緒に、クラブへお送りいたしました。

ご注文は、友事務所まで。

2016－17 年度版 ロータリー手帳 ご注文はお早めに！



縦17.4cm × 横8.5cm

「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう、毎年ロータリー年度に合わせ製作。2016－17 年度版は 2016 年 6 月～2017 年 12 月の予定が記入できます。

各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・ファクス番号・E メールアドレス、地区大会予定や、ロータリー関連事項も掲載。付録の「ロータリー関連資料」には、ロータリー用語、国際ロータリー戦略計画、ロータリー財団をはじめ、さまざまな資料を収録してあります。

印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用しています。

詳細は 2 月 1 日付で、ロータリークラブにお送りした案内状を、ご覧ください。

定価 600 円＋消費税(送料別)

ご注文は、クラブ事務局を通し『友』事務所までお願い申し上げます。在庫の有る限りの受け付けとなります。ご連絡は、郵便・電話・ファクスのいずれでも結構です。

すでにご注文いただきました「ロータリー手帳」は、5 月下旬に『友』誌発送先と同じ住所に発送いたします。請求書は 5 月 25 日付で、クラブ事務局宛てに別便でお送りいたします。お手配、よろしくお願ひ申し上げます。

『友』誌ご購読数 変更についてのお願い

- ①次年度『友』誌上半期分（2016年7月号～12月号）減部のご連絡は、2016年6月6日までに直接、友事務所へお願いいたします。ご連絡は、郵便・電話・FAXのいずれの方法でも結構です。
- ②7月号の発行部数決定や発送準備の都合上、6月7日以降は7月号の減部はご容赦ください。
- ③6月7日以降の会員変動による減部は、7月11日までにご連絡いただければ「8月号～12月号」の減部として、対応させていただきます。
- ④7月12日以降にご連絡いただいた減部は、すべて、下半期1月号からになりますので、ご了承ください。
- ⑤追加購読のお申し込みは、残部がある限りお受けいたします。随時のご連絡をお待ちしております。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2016年6月号と同じ部数を、送付させていただきます。

定価 200 円＋消費税（送料別）

『友』誌の購読をいただいている方は、併せて『友』電子版をご覧くださいだけです。

お問い合わせは、下記ロータリーの友事務所まで、お願いいたします。

ローターアクトクラブ名称変更

日立北→茨城県北（2820・茨城県・日立北／北茨城／日立／日立中央／日立南／日立港） 2016年3月16日承認

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表（2016年2月末現在）

地区	R C 数	会員数	15 年同月末 会員数	出席率(%)
第 2500 地区	67	2,298	2,294	80.70
第 2510 地区	70	2,616	2,591	82.82
第 2520 地区	79	2,318	2,314	77.99
第 2530 地区	66	2,407	2,364	74.41
第 2540 地区	42	1,126	1,119	78.62
第 2550 地区	51	1,740	1,720	84.44
第 2560 地区	56	2,113	2,118	80.95
第 2570 地区	51	1,663	1,688	82.07
第 2770 地区	73	2,604	2,636	83.15
第 2790 地区	84	2,807	2,784	82.47
第 2800 地区	50	1,664	1,633	84.28
第 2820 地区	57	2,001	2,005	81.47
第 2830 地区	40	1,167	1,147	81.87
第 2840 地区	46	2,081	2,035	79.92
第 2580 地区	70	3,048	3,027	83.09
第 2590 地区	59	2,124	2,187	86.17
第 2600 地区	55	2,012	2,004	85.18
第 2610 地区	65	2,660	2,649	83.86
第 2620 地区	78	3,000	3,022	88.40
第 2630 地区	78	3,150	3,145	85.36
第 2750 地区	100	4,829	4,767	76.78
第 2760 地区	83	4,843	4,851	93.62
第 2780 地区	65	2,356	2,341	80.80
第 2640 地区	70	1,963	1,980	86.64
第 2650 地区	97	4,686	4,657	89.86
第 2660 地区	81	3,653	3,676	86.90
第 2670 地区	74	3,004	3,008	85.59
第 2680 地区	73	2,854	2,878	91.20
第 2690 地区	67	3,131	3,113	86.99
第 2700 地区	61	3,209	3,211	89.43
第 2710 地区	74	3,358	3,333	91.72
第 2720 地区	74	2,412	2,415	84.60
第 2730 地区	65	2,376	2,351	83.06
第 2740 地区	57	2,230	2,233	85.60
34 地区合計	2,278	89,503	89,296	

日本のロータリー

会員概数 89,215 人
クラブ数 2,269

（左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です）

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 288 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から、P B グループを引いた数。15 年 2 月末 P B : 9 R C 会員数 319 人。

修正 2570 地区会員数 / 34 地区合計会員数 / 表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数・2650 平均出席率：本誌 10 号横組み P 50（7 月末）表中、1,657 人 / 88,036 人 / 87,753 人・91.07%、同 11 月号横組み P 41（8 月末）表中、1,656 人 / 88,892 人 / 88,604 人・90.82%、同 12 月号横組み P 45（9 月末）表中、1,656 人 / 89,205 人 / 88,915 人・90.63%、同 1 月号横組み P 37（10 月末）表中、1,665 人 / 89,473 人 / 89,179 人・90.70%、同 2 月号横組み P 40（11 月末）表中、1,668 人 / 89,687 人 / 89,394 人・89.55%、同 3 月号横組み P 50（12 月末）表中、2800・1,647 人、1,656 人 / 88,987 人 / 88,700 人・89.63%。同 4 月号横組み P 52（1 月末）表中、地区会員数：2570・1,663 人、2800・1,663 人、2840・2,079 人、2750・4,816 人、2640・1,962 人、2650・4,673 人、2740・2,229 人、34 地区合計会員数 89,339 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 89,049 人、平均出席率：2800・85.96%、2650・89.31%。

* 2520・震災につき概数、『ロータリージャパン』『ロータリー関連資料』にデータ修正後の表を掲載。

ロータリーの友

6 月号主要記事予定

横組み クラブ名からつながったご縁

ロータリー親睦活動

地区大会略報

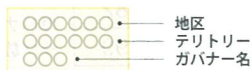
World Roundup

縦組み iPS 細胞がひらく新しい医学

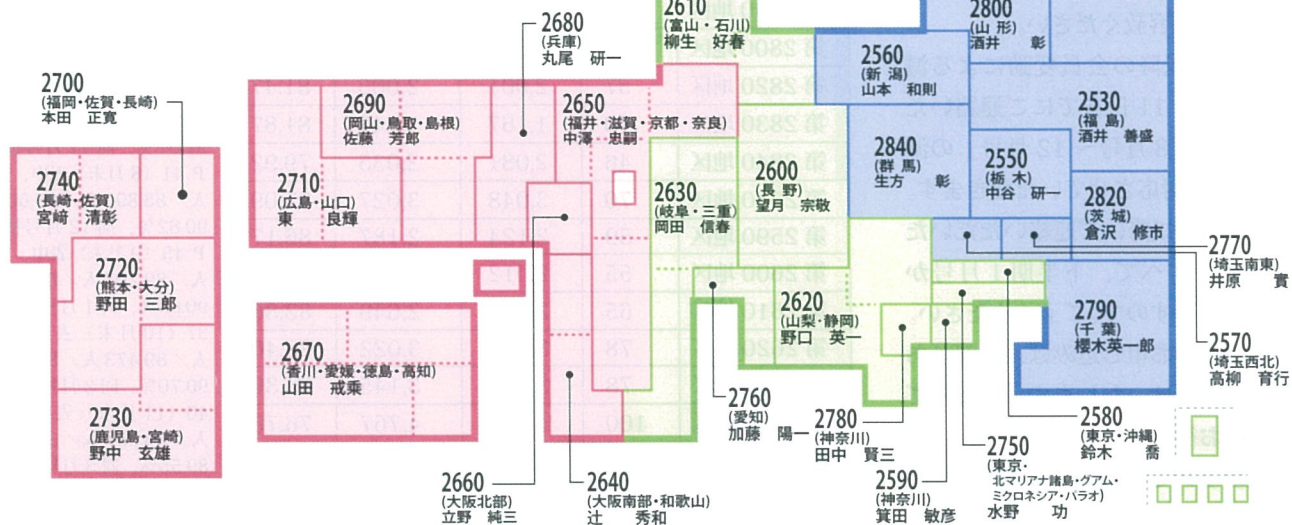
京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授 山中 伸弥

わがまち……そしてロータリー いわき市





第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第64巻 5月号

2016年4月30日印刷 2016年5月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員
杉谷 卓紀 (玉名)
斎藤 直美 (豊田)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)
箕田 敏彦 (横浜)
立野 純三 (大阪)

■ 理事会

代表理事
理事

橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
藤居 彰一 (日立)
大野 清一 (横浜東)
田中 俊實 (鹿屋)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鶴沼)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

監事

相談役

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
副編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子
振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ご投稿をお待ちしています

原稿や写真は活動後 1 か月以内にお送りください

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・1か月に1人はがき1枚に3句(首)。なるべく肉筆(楷書)で。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を明記してください。

友愛の広場

- ・エッセー、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感などの掲載欄。1,000字以内。関連写真があれば添付を。

ロータリー・アット・ワーク写真編

- ・ロータリークラブ、インターアクト、ローターアクトなどの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真に150字程度の説明文を添えてください。記念写真(集合写真)は、掲載できません。説明文には必ず、活動日の記入を。

ロータリー・アット・ワーク文章編

- ・ロータリークラブや地区の活動を紹介。原稿は600字以内。関連写真があれば、添付を。

内外よろず案内

- ・国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内、情報提供のお願いなどについての欄。原稿は200字以内。

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所

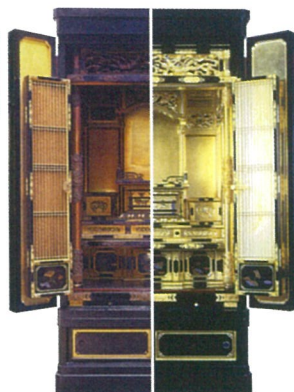
Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

京に生まれ育って187年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



修復後

お仏壇の
「洗い修復」
承ります。



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131 (代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上 2 丁目 8-13 ☎(03) 3755-8488 (代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1(築地本願寺内) ☎(03) 3546-8228 (代)・水曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南 1 条西 9 丁目 ☎(011) 512-3455 (代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町 8-5 ☎(022) 213-0666 (代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村 1 丁目 3-10 ☎(077) 564-1011 (代)・水曜定休
福岡営業所/☎(092) 761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>



THE GORILLA

進化した ゴリラ

超弾道を可能にした
アスリートドライバー



ダブルエックスワン



左用

大きな飛びで
叩いて狙える。
フェアウェイウッド



ダブルエックスワン



左用



株式会社 カナモリ ゴリラゴルフ事業部

本社: 〒933-0806 富山県高岡市赤祖父425 TEL 0766-25-7240 FAX 0766-25-0730

Eメールアドレス / kanamori@gorilla.co.jp

<http://www.gorilla.co.jp>



PREMIST

広瀬町
hirosemachi

THE HERITAGE

修景の邸

杜の都の頂点^{※1}を志す。

予告広告

本広告を行い取引を開始するまでは、契約又は予約の申込には一切応じられません。また申込の順位の確保に関する措置は講じられません。予めご了承下さい。販売開始予定時期:平成28年6月下旬

※掲載の写真は、広瀬川(約620m)を撮影した写真です(2015年6月撮影)

※1.国土交通省「平成27年地価公示」において、広瀬町は第一種住居地域では公示地価東北一(平成27年1月発表)。現地より公示地価地点まで約440m

ダイワハウスの新築分譲マンション「プレミスト広瀬町」

資料請求受付中

プレミスト広瀬町

検索

プレミスト広瀬町物件概要

●所在地/仙台市青葉区広瀬町55番2(地番)●交通/JR東北本線「仙台」駅より仙台市営バス「仙台駅前」乗車約15分、「交通局大学病院前」下車徒歩5分、仙台市地下鉄南北線「北四番丁」駅より徒歩15分●総戸数/59戸(他に管理事務室1戸)●敷地面積/2,609.15㎡●用途地域/第一種住居地域●構造規模/鉄筋コンクリート造地上13階建(一部鉄骨造)●専有面積/67.28㎡~140.02㎡(トランクルーム0.72㎡~1.53㎡含)●バルコニー面積/8.86㎡~19.00㎡●サービスバルコニー面積/1.55㎡~3.98㎡●テラス面積/11.00㎡~11.60㎡●専用庭面積/25.39㎡~28.90㎡●アルコーブ面積/4.93㎡~7.52㎡●ポーチ面積/6.65㎡~10.75㎡●管理形態/入居後、管理組合を設立して頂き、組合と大和ライフネクスト(株)との間で管理委託契約を締結して頂きます●建築確認番号/第BVJ-D15-10-0373号(平成27年8月31日付)●駐車場/61台(平面式10台・機械式51台・米客用駐車場1台)月額使用料未定●自転車置場/71台(平面式6台・スライド式65台)月額使用料未定●バイク置場/5台(うちミニバイク置場2台)月額使用料未定●完成予定/平成29年3月下旬●入居予定/平成29年5月下旬●施工会社/西松建設株式会社北日本支社●売主・事業主/大和ハウス工業株式会社●今回販売戸数/未定●販売価格/未定●管理費/未定●修繕積立金/未定●管理準備金/未定●修繕積立基金/未定●※予告広告をする時点において、すべての販売住戸を一括して販売するか又は数期に分けて販売するかは確定しておりません。当該予告広告以降に行う本広告において、販売戸数をお知らせ致します。尚、販売戸数が未定の為、専有面積およびバルコニー面積等は今後供給予定の全住戸についてのもです。●※本広告につきましては物件ホームページ(<http://www.dhms.jp/hirose>)にて平成28年6月下旬に公開予定です。



Daiwa House.
大和ハウスグループ

〈売主・事業主〉

大和ハウス工業株式会社 仙台支社

宮城県仙台市泉区泉中央3-8-1 〒981-3133

Tel 022-375-5126 Fax 022-375-5136

建設業許可番号/国土交通大臣許可(特-27)第5279号

宅地建物取引業者免許番号/国土交通大臣(14)第245号

(一社)大阪府宅地建物取引業協会会員 (一社)不動産協会会員

(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟

お問い合わせは「プレミスト広瀬町」販売準備室

0120-553-611

【営業時間】10:00~18:00(土・日・祝日定休)

プレミスト広瀬町

検索

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

ここは、真言密教の聖地・高野山。弘法大師空海がこの地に道場を開いてから千二百年を迎えた。空海が残した遺徳への感謝をこめて二〇一五年四月二日から五月二十一日までの五十日間、壮麗な高野山開創千二百年記念大法会が執り行われた。

高野山は二〇〇四年七月、「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として世界遺産に登録され、海外からの観光客も目立つようになった。大法会を締めくくる「結願法会」には秋篠宮ご夫妻も臨席されて行事を見学された。

「なんとかこの法会をカメラに収めようと片道六十五キロを車で三回訪れ、きらびやかな袈裟を着て会場に入退場する僧侶の列を狙って撮りました」

と、脇村重徳氏は言う。

撮影日は、二〇一五年五月二十日。



「天空の聖地」(和歌山県)
撮影 脇村 重徳 (2640 有田)

※
ここは、「東洋一美しいビーチ」とも評される沖縄・久米島の「ハテの浜」。



「はての浜」(沖縄県)
撮影 横野 博史 (2690 岡山南)

久米島から渡し船が出ている。

久米島の東五キロにある砂丘だけの無人島でエメラルドグリーン的大海と限りなくひろがる砂浜がうつくしい。映画「釣りバカ日誌」の沖縄編でも登場している。

撮影した横野博史氏のメモ書きによると――

二〇一二年五月十一日――

久米島の東側、奥武島・オーハ島の沖合に浮かぶ七キロの三つの砂洲、珊瑚礁島。久米島に近い方からメヌ、ナカノ浜、ハテの浜。船にはカップル、家族連れが数組ずつと、女性二人連れだ。みんな海水浴や潮干狩りなどの遊びに来ている。

ボートは水しぶきを上げながら進む。珊瑚礁の色が本当に美しい。海底の砂の模様まで見える。守りたい自然である。海だけでは写真にならない。ボートの中で、前に座っていた女性二人連れにモデルになってほしいと声をかけた

ら、あっさりOK。何もいわないのにポーズをとってくれた。そして、彼女たちは浜の果てに向かって歩いて行く。ありがたい。人が入ると島の大きさがわかるのだ。

感謝、感謝――。

撮影は、二〇一二年五月十一日。

(ジャーナリスト)

表紙こぼれ話

前号で、『友』の表紙と解説について紹介しました。今回は、さらにさかのぼってみます。

一九九六年八月・九九年六月号の表紙(七月号は除く)では、東西の美の交流を通じて、「美はひとつ」を追求。毎号、両面が表紙という『友』誌の特徴を生かして、東と西の美術作品を一点ずつ掲載し、それらの作品を通して、思いがけない影響関係や類似性を紹介しながら、古今東西の文化の流れをたどりました。解説は美術評論家の谷岡清氏が担当しました。



1996年8月号表紙。横組み(左)は、ゴッホ「雨中の橋」、縦組み(右)歌川広重「大はしあたけの夕立」



大会でひむかかるとを取り合う子どもたち

第九回 ひむかかると大会開催！

宮崎中央ロータリークラブ

第二七三〇地区 宮崎県

二月一三日、宮崎公立大学で小学生を対象に、恒例の「ひむかかると大会」が開催されました。

当クラブ提唱の宮崎中央ロータリーアクトクラブ、地域サークルの「ひむかメディアアクション」のメンバーを中心に開いており、年々規模が大きくなっています。今回は一九校三四チームと個人合わせて一三〇人が参加しました。

「ひむかかると」は二〇〇五年、同大学地域研究センターが県内の小中学生から読み札と絵札を募集し、

約三〇〇作品の中から選ばれました。当クラブは、かると創作に携わった同大学の教授とともに、立ち上げから普及にまで深く関わってきました。

今大会では、ついに誕生した、ひむかかるとテーマソング「みやざき大好きっ子集まれ！」もライブで披露され、作詞・作曲の大野勇太氏が登場し、大いに盛り上がりました。競技自体も、練習を重ねた児童たちによる熱戦が続き、ほんの少しの差が勝敗を分ける、レベルの高い内容でした。負けて涙ぐむ親子の姿は、とても感動を呼びます。次回で一回大会を迎えますが、今後ますます発展していくことでしょう。

(篠原英介・記)

金沢みなとRC杯 ミニバス大会開催

金沢みなとロータリークラブ

第二二一〇地区 石川県

「第七回金沢みなとロータリークラブ杯 第四回金沢市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会」を一月一七日に開催しました。金沢市スポーツ少年団の活動内容を充実させ、スポーツを通して団員相互の親睦と融和を図り、心身の健全育成に

努めることを趣旨としています。

参加資格は同少年団の登録団員です。北陸地方の冬といえば、雨、みぞれ、あられ、雷で「弁当忘れても傘忘れるな」という格言があるくらいです。近ごろは温暖化で雪も減りましたが、天候は悪く、外遊びができません。この大会は彼らの冬の運動のためのもので、試合ではバスケットボールを主に行っている少年たちと、他の競技をしている少年たちを二つのグループに分けて対戦してもらいます。

子どもたちは試合に熱中し、勝敗を競うというよりは体を精いっぱい動かす、汗をかき、充実感を味わっているようです。会員も観戦し、元

内外よろず案内

日本ロータリー親睦ゴルフ大会北海道大会開催

札幌南RC 舩田 雅彦

日本ロータリー親睦ゴルフ

(JGFR)では六月二八日、「第

二六回JGFR北海道大会」を

北海道有数のトーナメントコー

ス・小樽カントリー倶楽部(小

樽市銭函)で開催します。参加

資格は全国のロータリアンおよ

び配偶者、ゲストの皆さま。定

員は一二〇人(先着順)、締め

切りは五月二〇日です。皆さま

のご参加をお待ちしています。

◆登録費 一万六〇〇〇円
◆プレー代 一万九〇〇〇円程
参加をご希望の方は大会事務局までファクスでお知らせください。申込書をお送りします。
FAX 〇一―二二―二七四四
TEL 〇一―三三―二九七
詳細はホームページへ。申込書のダウンロードもできます。
<http://www.ktw.co.jp/2510>
-KONAN-RC



ボールの行方を目で追う選手たち

気な声、笑い、心から楽しむ姿を見て、元気をもらうことができます。子どもたちの健全育成に役に立てば、うれしく思います。

(笠井由美子・記)

第二回は会員二十五人が参加し、同じく午後六時から食事を取り、会議へと進みました。今回は講師として岩瀬均ロータリー財団地域コーディネーター（第一ゾーン担当）と、地区から木戸良樹会員増強維持部門委員長、大杉能弘社会奉仕部門委員長を招き、経験談などを語ってもらいました。その後、いくつかの質問と回答があり、あつという間の二時間。前回同様、「懇親会」という第二部を設定したことで、さらに熱くロータリーを語り合い、理解を深めることができました。

（齊藤茂・記）

高齢者施設にタオルと日めくりを寄贈

森ロータリークラブ

第二五二〇地区 北海道

社会奉仕プロジェクトの一環として、当クラブから森町内の関係団体に働きかけ、二月一七日、町内の高齢者施設にタオルと日めくりを贈りました。

何かを拭く時、介護の世界では近年、紙製の製成品が普及していますが、やはり使用した感触は布製品にはかなわないそうです。皆さんも朝、顔を洗った時に、ペーパータオルで拭



集めたタオルや日めくりを寄贈

くよりも、タオルで拭いた方が、ずっと快適かと思うのですが……。

また高齢化社会において、認知症は避けて通れない問題です。認知症のリハビリにおいては、朝起きた時にその日の日付や曜日を自分で確認することを日課のスタートと捉える手順が一般的ですが、その際に日めくりを活用して日付などを確認することが非常に有効である、とされています。このような日めくり（特にサイズが大きく見やすいものは、商習慣やライフスタイルの変化によって、入手が困難になってきました。そのような状況の中、会員一同が一般の方からも協力を得て、年末年始にいただいた日めくり、会社や家庭で眠っていたタオルなどを持ち寄り、町内にある介護老人保健施設の

（医）明山会・道南森ロイヤルケアセンター、特定施設入居者生活介護施設の豊生園に寄贈しました。

（向宣男・記）

お正月を遊ぼう

甲府北ロータリークラブ

第二六二〇地区 山梨県

新春の華やかさが残る一月九日、JR甲府駅北口の「よつちやばれ広場」で「お正月を遊ぼう」を開催しました。五回目を数え、楽しみにしてくれている人たちも増え、正月から続く好天に恵まれ、暖冬ということもあって、本当に多くの家族が一日を楽しんでくれました。

このイベントは、NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会との共催で行っており、開会式には甲府市長や教育長が列席。当クラブの坂本幸一会長はあいさつの中で、第一回からロータリーが支援してきたことを話しました。その後、園児たちが元気に和太鼓やマーチング演奏、組み体操などを披露し、参加者や家族などから盛んな拍手が起きていました。いよいよメインの正月遊び。広場には羽根つき、こま回し、竹とんぼ、大根鉄砲、餅つきなどの遊びを用意



羽根つきなどを楽しむ来場者たち

し、別会場の山梨県立図書館では琴の体験、かるた遊び、英語小唄や演劇など盛りだくさんの催し物で、子どもたちは多くの正月遊びに触れることができました。

当クラブは「ジャンボすごろく」を担当。ボーイスカウト、ガールスカウトやインターアクトなど三十二人がすごろくの進行や賞品渡し、ポップコーン配りなどをしてくれ、インターアクトは自発的にポリオ撲滅募金を呼びかけ、このイベントの大きな力になってくれました。

来場者は二八〇〇人。会員も全員参加して大いに盛り上がりました。今後も共催して、子どもたちの健全育成に努め、ロータリーの地域での存在をアピールしていきます。

（横裕之・記）

力が必要」と講演。さらに「野心を持つこと、執着心を持つこと、楽観的であること」、「挫折は進歩の始まりである」など、ご自身の経験も踏まえて語ってくださいました。

中高生に理解できたか心配もしましたが、当日の進行や花束贈呈などすべて生徒が行い、特に講演者への謝辞はしっかりした内容で、心強く思いました。後日、講演録と生徒の感想文を冊子にまとめ、学校に贈りました。クラブでは今後も青少年育成を一つの柱に、事業を進めていきます。

(柳澤光臣・記)

小さなクラブに

☆印三つの出来事

東京世田谷中央ロータリークラブ

第二七五〇地区 東京都

「カラダの細胞が目覚め、心に清冽な音楽が響きわたります！」をキヤッチコピーに、二月五日、クラブ主催の冬の風物詩「いきいきライフセミナーVoor・6」の幕が開きました。健康をテーマに、むし歯予防、運動、音楽の三部構成。会場の駒澤大学中央講堂は、世田谷区民を中心とする受講生で埋め尽くされ、進行は裏方を含め全会員が務めました。



体を動かしながら指導を受ける参加者たち

まず、ウィットに富んだスピーチで沸かせたのが、日本歯学センター院長・田北行宏氏の講演「スウェーデン式あなたも子供もむし歯にならない方法」。スウェーデンでは、食後にキシリトールガムをかむのが当たり前だそうです。その効果をデータで示し、会場がどよめいたほどでした。

また、「健康づくり、こんな運動はしない方がいい」と、へそ曲がりの論法で喝采を浴びたのが、NHK「おかあさんといっしょ」第四代体操のお兄さんの向井忠義氏。「さあ皆さん、膝を使って歩きましょう！」の指導に感激した人多数。余談ですが、その翌週、例会場付近で見かけた会員たちのウォーキング姿勢の良さ。健康への前向きさに☆印三つを

あげたいほどでした。

最後は坂本博士氏の構成、演出、指揮による「歌は生きる歓び」のステージ。実力派ソプラノ歌手三人が奏でる清冽な響き。クラシックはもとよりオペレッタ、ミュージカルなどのナンバーから選曲された全九曲は、誰もが記憶する名曲ばかりで好評でした。

わがクラブは少数ですが、会員の仲の良さが自慢です。全員が何がしかの役を担い、地域と世界を見つめながらパワフルに活動しています。五月一七日には創立二〇周年記念例会を迎えます。新たな一歩を踏み出すことに、全員が胸躍らせています。

(矢崎潤子・記)

炉辺会議開催！

ロータリーを学ぼう

浦和東ロータリークラブ

第二七七〇地区 埼玉県

当クラブでは一月二十六日、入会三年未満の会員を対象に第一回炉辺会議を開催。二月二十五日には、入会五年未満の会員を対象に第二回炉辺会議を開催しました。

第一回は会員二十四人と、浦和ダイヤモンドロータリークラブから会員七人が参加。午後六時から軽い食事



有意義な時間を過ごした第1回炉辺会議

を取り、自己紹介の後、本題へと進みました。テーマは①地区の役割、地区幹事の職務、②ガバナー補佐の職務、③クラブ会長の職務、④クラブ管理常任委員長の職務、⑤青少年委員会の職務、⑥支援活動を通じて感動を得る、⑦米山カウンスラーから学ぶもの、⑧ロータリー財団について、⑨フィリピン国際奉仕検証に参加して、⑩理事会の進行のあり方、質疑応答と、盛りだくさんの内容でした。会長や元会長、常任委員長などが講師となり、新会員は熱心にメモを取り、うなずいたり笑ったりしながら、約二時間の有意義な会議を終えました。新会員からは「経験に基づいた生の声で、心に響く内容でした」との感想をもらい、開催したかいがあったなと手応えを感じました。

トの説明を受けました。働く人は子育て中の母親が大半で、ミシンの訓練をしながら、ロータリークラブやRCCから受注した縫製作業に取り組んでいました。

マンダウエイストRCは少ない会員数の中で、地道に活動に取り組んでいます。小規模な事業でも着実に地域に貢献し、根付いています。今回、出会った子どもたちが笑顔を絶やさず、たくましく生きている姿が印象的でした。フィリピンでの奉仕活動の必要性を再確認し、今後も支援を続けたいと思いました。

ハワイに日本の桜を！ 植樹式に参加して

東京渋谷ロータリークラブ
第二七五〇地区 東京都

クラブ創立一五周年の記念事業として「ハワイに日本桜を植える事業」の植樹式を二月一七日、ハワイのオアフ島で行い、会員七人が出席しました。

ハワイ島では毎年桜祭りが行われ、日本との結び付きが極めて強いのですが、ソメイヨシノを代表とする日本の桜は、ハワイでは開花に必要な低温が得られないため、咲いている桜は沖縄などに見られるカンヒ



植樹式には 200 人を超える人たちが出席

ザクラです。

二〇一二年、日本がアメリカに桜を寄贈して一〇〇周年を迎えたのを機に「日本桜をハワイに」という運動が日米両国で官民挙げて行われ、当クラブも姉妹クラブの第五〇〇〇地区イーストホノルル・ロータリークラブ(RC)とともにこの運動に賛同し、ハワイ島で育てていた苗木の輸送と記念碑の設置を受け持つことになりました。

樹種はセンダイヤという山桜で、種の採取から育苗までを元高知県立牧野植物園園長・小山鐵夫氏の指導のもと、ハワイ大学などの協力で行われました。苗木はハワイ大学で管理され、順次植樹される予定です。当日はイーストホノルルRCの会員と会場へ。式典はアーサー・タニ

グチ在ヒロ名誉総領事の司会で進行し、政府関係者らのあいさつの後、二か所で植樹され、最後に当クラブの加藤叔兄会長のあいさつ、記念碑の除幕を行いました。記念碑は黒い石に白く刻印され、大変見栄えのするものでした。三〇年後、五〇年後も朽ちることなく、満開の桜の中に佇んでいることを想像するとうれしくなります。出席者はわれわれのほか、第五〇〇〇地区ガバナールをはじめ各地区内会員、地域住民、ハワイ州各地の日系人と二〇〇人も集まり、桜の花の話題で、話に花を咲かせました。

中高生らを対象に 講演会開催

佐久コスモスロータリークラブ
第二六〇〇地区 長野県

二月二日、佐久長聖中学・高等学校の生徒約一四〇〇人とPTA、教員、クラブ会員などを前に、お茶の水女子大学名誉教授で著名な作家、数学者の藤原正彦氏を招き、「真の国際人とは」と題した講演会を開きました。

クラブでは創立以来、青少年育成に力を注いでいます。三年前から取り組んだ未来の夢計画事業としては

「世界に羽ばたく人材の育成」を目標に、地元の母校とも協力して、グローバルに活躍する講師による講演会を開催してきました。

初回は外務省OB、初代NGO担当大臣の五月女光弘氏、二回目は世界銀行業務調査官の中山莉彩氏。今回が三回目であり、これまで対象とした中学生に高校生も加えた大規模な講演会になりました。

藤原氏は「真の国際人には語学や論理的思考力も必要だが、文学や歴史を学ぶことも大切であり、感受性豊かで感動力のある人が必要。日本人は圧倒的に美的感受性を持っている。日本人として真の国際人になるために、美的感受性を大切に生きてほしい。あるところまでは努力、そして才能で行けるが、その先は情緒



生徒から藤原氏に花束の贈呈

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介、600字以内。関連写真があれば添付してください。

南インドにおけるメンタルヘルス支援事業

第二七三〇地区

宮崎県・鹿児島県

ロータリー財団は次年度一〇〇周年を迎えます。私たちはその長い歴史の中で初めて「疾病予防と治療」の分野でグローバル補助金の承認を得ました。それは「ミッシン・メンタルヘルス」。つまり、精神障がい者の支援事業です。私たちの地区は昨年一月から南インドの第三〇〇〇地区と協同で精神障がい者（インドでは知的障がい者も含む）を支援しており、二月五〜一〇日に現地を視察してきました。

この事業は精神障がい者支援を行う専門機関が協力団体となり、その本部にプロジェクト管理センターを

設置、さらに四つの地方都市に精神福祉相談センターを設けました。各センターでは専門医などが相談を受け、遠隔診断装置付きのバスを遠い村まで派遣して精神障がい者や家族の生活支援、職業訓練、そして偏見や差別をなくす運動を展開します。インドでは田舎に行くほど、精神障がい者に対する偏見や差別が根深く、鎖でつながれたり、棒でたたかれたりする人もいます。まずはこのような人たちの情報を把握する必要があります。各地域に研修や実地訓練を受けた精神福祉推進員を一人ずつ配置します。ロータリアンの協力も欠かせません。主な活動は差別や偏見をなくす、いわゆるアンチ・ステイグマ運動を地域全体に広げる



精神福祉相談センターを訪問して

ことであり、キャンペーンを展開することになっています。

このように「ミッシン・メンタルヘルス」の目的は、南インドでの精神障がい者の地域密着型包括支援体制の構築ですが、日本においても同じような境遇にいる人々への理解と支援を行う必要があると感じています。

(二七三〇) ジャパンカレントロータリー

Eクラブ 戸高豊文・記

セブ島の就業支援プロジェクト

海南東ロータリークラブ

海南西ロータリークラブ

第二六四〇地区 和歌山県

海南東ロータリークラブ（RC）と海南西RCは、第三八六〇地区のフィリピンのマンドゥエイストRCと協同で、セブ島の貧しい地域での就業支援プロジェクトとして、ミシン五〇台を寄贈しました。

海南東RCとマンドゥエイストRCは友好クラブとして毎年、協同プロジェクトを実施。この間、海南西RCにも協力を要請し、給水設備や車椅子、パソコン、テレビ、教育図書などの寄贈といった支援を行ってき

ました。

フィリピンでは貧困で学校に行けず字も読めないため就職の機会がなく、またその状態が親から子に伝わり、悪循環となっています。こうした実情を受け、マンドゥエイストRCはロータリー地域社会共同隊（RCC）をつくり、RCCを通じて貧しい地域での教育や就業支援を行っています。

私たちは二月二五〜二八日で現地を訪れ、二六日に支援した現場を視察しました。マクタン島のコルドバ地区とセブ島のイナヤワン地区、サンピオ地区の三か所で、RCCが世話する作業場です。小さな家が密集する地域の作業場でしたが、たくさん



就業支援のため、寄贈したミシン

ROTARY AT WORK

市内在住の外国人に感想を聞く会

〈東京小平RC〉

小平市内在住の外国人を招き、住んでみて感じたことや意見を聞く交流会を、市国際交流協会の協力を得て開催。オランダ人のロヒヤ・ファンデル・フェルデさんは母国の現地時間に合わせインターネットで仕事をするというライフスタイル、中国人の主婦・柳樹梅さんは地震に強く、緑豊かで便利なお国柄に触れながら話し、会員が小平の誇りをあらためて教えられる良い機会となった。

(2月3日 第2580地区 東京都)



国際交流もちつき大会

〈越谷南RC〉

国際交流もちつき大会を米山奨学生と学友、青少年交換学生、インターアクト、留学生、一般高校生など多くの若い人たちを集め盛大に開催。女性会員や会員夫人、米山奨学生らが一緒に料理などを準備し、ついた餅や焼き鳥、豚汁、おでん、ベトナム料理などの食べ物を囲み、楽しく過ごした。青少年交換と米山奨学生に力を入れているクラブでは、富士登山やバーベキュー大会も実施している。今後も楽しく若い人たちの育成に奉仕したいと考えている。

(12月26日 第2770地区 埼玉県)



今年もハッピー 少年サッカー大会

〈河内長野東RC〉

「ロータリーカップ」が、セレッソ大阪の協力を得て、ヤンマーフィールド長居で開催された(例年は日韓W杯の会場・ヤンマースタジアム長居)。セレッソ大阪のコーチと交流戦などを楽しめるとあって、サッカー少年憧れの場ともなっている。全員が出場する決まりで、勝敗や技術の優劣などに関係なく「一生懸命走っているか」などの基準で会員が審査する「ロータリー賞」を各チームから1人選出表彰。第7回となる今回は、小学6年生8チームがレベルの高い勝負を繰り広げ、会員も老骨に鞭打ち、運営や採点に走り回った。

(2月6日 第2640地区 大阪府)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

「二十歳へのメッセージ」を新成人に返還

〈普通寺RC〉

普通寺市民会館で開催した「新成人の集い(成人式)」で、クラブが保管していた「二十歳へのメッセージ」を、野萱礼三郎会長から代表者2人に手渡した。新成人が中学2年生の立志式の時に二十歳になった自分への手紙として書いたもので、今回で2回目。預かった237人分の手紙のうち200人に手渡すことができ、市教育委員会の協力で式の案内状に返還の趣旨文を入れ、欠席者には手紙を郵送した。会員は、6年前に書いた手紙が今後、役立ってくれることを願っている。

(1月9日 第2670地区 香川県)



ROTARY AT WORK



国際交流で外国船へ カレンダー寄贈

〈大牟田南RC〉

国際交流の一環で、各会員の自宅にある新年のカレンダーから、特に日本の文化や景色、人物、歳時などで特色あるものを持ち寄り、三池港に寄港する外国船に贈呈し、好評を得ている。荷降ろし後、すぐ出航する船のために、三池港物流株式の協力を得ながら行っている。今では毎年のクラブ行事として定着している。

(2月9日 第2700地区 福岡県)



年末年始の交通安全を 願う

〈瀬娃RC〉

南九州市・瀬平公園横のパーキングエリアで交通安全キャンペーンを実施。南九州警察署の協力を得て、冷え込む中、安全運転を呼びかけた。車両をパーキングエリアに誘導するため警察官が笛を吹くと、ほとんどの運転手が驚いていたが、キャンペーンと知りホッとひと安心の様子。年末年始の多忙な時期に事故を起こさないよう、気を引き締めて安全運転するようお願いながらの活動となった。

(12月17日 第2730地区 鹿児島県)

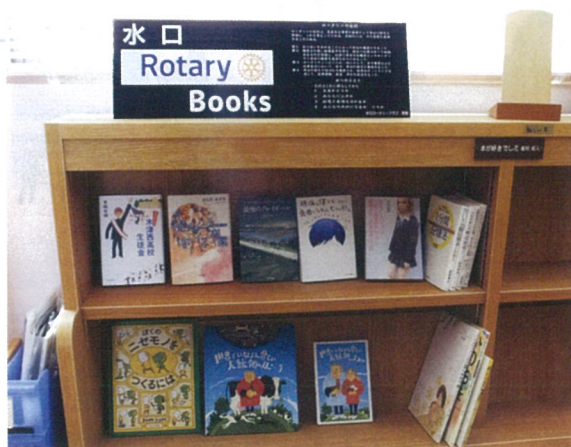
ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

甲賀忍者の歴史を伝える 漫画本を制作、寄贈

クラブ創立55周年記念事業で漫画本『甲賀戦国大冒険』を作成。甲賀の歴史を知ってもらうことで郷土愛を育み、教育の推進を目的に行われたもので、市内の小中学校28校と関連施設に2000冊が寄贈された。また各学校に図書券が贈られ、図書館にブックコーナーも設置した。本書と一緒に『ロータリーの友』などロータリー関連本を置くことで、子どもにロータリーの活動を知ってもらい、地域を思い、地域に奉仕する心を育んでほしいと、クラブでは願っている。

(12月21日 第2650地区 滋賀県)



ROTARY AT WORK

大盛況、無料相談会

〈福島・二本松・福島南・福島西・福島中央・二本松あだたら・福島21RC〉福島中央RCをホストに県北第一分区分7RC協同で「第16回あれこれなんでも無料相談会」を開催した。今回は復興支援として、福島市内全域と県北部の被災者仮設住宅にチラシ7万5000枚を配布。裏面にはロータリーの被災者支援の記事を掲載し、会場では「世界でよいことをしよう」の映像も流した。手製の「ロータリーとは」やロータリー広報誌も配布。10時の受付開始時には20人以上が来場、会員50人の対応で混雑を切り抜けた。75人から80件の相談があり盛況裏に終了した。

(2月6日 第2530地区 福島県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

総合レジャー施設で ロータリーデー開催

刈谷ロータリークラブ
第2760地区 愛知県

11月9日、移動例会として年間来場者数約840万人(2014年)にのぼる総合レジャー施設「刈谷ハイウェイオアシス」でロータリーデーを行いました。会員向けにポリオ撲滅に関する卓話を実施後、通称「1億円のトイレ」と呼ばれる超デラックストイレの前と他1か所で、午前10時から午後2時までポリオ撲滅募金を行いました。その日のブルゾンに身を包み、道行く人々に協力を呼びかけたところ、なんと約23万円もの寄付が集まりました。お母さんに促された子どもやジャッキー・チェンのポスターを指差しながら募金してくれた中国の人たち、営業マン、学生など、あらためて「日本はいい国だなあ、心があるなあ」と実感しました。募金してくれた方に配るためのミント菓子は、用意した600個が全てなくなりました。

また刈谷市にはトヨタ系列の会社5社の本社をはじめ、会員の所属する優良企業が多数あります。そこで会員企業10社が環境問題に取り組む努力を周知させることで、地域住民の環境問題への意識向上を図り、ひいては刈谷RCの活動の一端を披露することで広報につなげようと、「環境パネル」を掲示。多くの人たちが熱心に目を向け、内容を話し合う姿が見られました。

募金チームからは「みんな優しいなあ」「やって良かった。環境パネル掲示にも「こんなすごいことをやっているんだ」など多くの称賛を受け、会員企業のすごさを再認識しました。頑張った分だけ収穫を得た、大盛況のロータリーデーでした。(小澤陽一・記)

時計台裏は春山^{カフ}甲山

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

夕暮れに戻りて並ぶ寒雀

埼玉・日高 清水佳代子

うるめ干しにはかに鶯の空となる

愛知・瀬戸 玉井美智子

客が来て鶯が来てよき家居

大阪北 吉田 邦男

籠城の手配かくやに冬開

福岡南 松山 古来

出てみれば予感の通り初氷

埼玉・日高 引間 禿牛

風に揺れ鳥に大揺れ冬椿

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

初みくじ末吉とありそれも良し

埼玉・日高 高木 祥子

おでましの雛^{ひな}の齢六十五

愛知・碧南 杉浦 保子

老二人手水かけ合ひ初詣

兵庫・神戸西 後藤 睦子

白梅や白にも白の翳りあり

愛知・新城 萩野 修

大きくさめ句会的一座沸かしけり

岐阜長良川 井戸 豊彦

初空へ真すぐにあがる竹とんぼ

兵庫・神戸西 村野 利昭

福は内あれやこれやと鬼も内

岐阜・高山中央 清水 幸平

春山は暮るるに遠し日は残り

長野・飯田南 木下 親亮

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名 電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

驚くほど雪烈しきに朝刊を配る青年の歩調乱れず

福島・須賀川 柿沼 良訓

陸奥の月の出遅き湯治宿 夕餉の椀に光る満月

群馬・館林 新井 進

植系終り記念写真を撮りにけり ローター花壇にパンジーそよぐ

千葉・富里 寒郡 政雄

下請けの一次二次さらに三次にて われら零細企業の世過ぎ

東京荒川 井上 久子

むらぎもの心嬉しもシヨパン弾く 君が眸の輝きをれば

東京ワセダ 福地桂之助

健康がお金で買へるものなれば 爆買せむと君はほろゑむ

神奈川・川崎西 吉田 恵一

母の手をせがむ幼子駆け寄りて 眞綿のほほ笑み白梅あたり

愛知・豊橋 長屋 孝美

あと三年傘寿にまでは八十か国 訪問をせんとあとは八か所

岐阜加納 鶴飼 武彦

家猫は巡視終りて膝の上に 一と休みする足裏冷たし

岐阜長良川 井戸 豊彦

かまえ聴くブルックナーやいつのまに ヴァレンボイムの術にはまりて

奈良 寺田眞佐子

しだれ梅見事に咲きて十年目 苔むす庭に散り敷きにけり

奈良 吉田 佳代

阿蘇なれば牛舎に朝の冷氣あり 黒毛の背より湯氣立ち登る

熊本水前寺公園 北里美知子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名 電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

りんご食う種の疲れに氣付かずに 多数決九官鳥になっている

青森北東 遠間 善弘

笑み浮かべ一人でどうぞ終活は 線香の向こうに父の咳を聞く

鳥取・倉吉中央 牧野 芳光

孫の歳何度聞くのと叱られる 未知の地で地図を使りの意外旅

青森・五所川原中央 小野 順蔵

献金にマイナンバーのない不思議 いい人が抱いてる不発弾の山

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

アイドルのリズム乗れない歳となる 若い医者知っているかなベン・ケーシー

大阪東淀ややまち 小坂 克彦

悪い奴こんなにいるか読む新聞 地獄絵図何処も同じが氣にかかる

長野・辰野 河手 欣哉

ときめきのスイッチいつも持ち歩く 夕餉時夫の帰宅にビツクリポン

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

想い出にまさかと思ういい出会い 最年長二次会までは嫌われる

福岡イブニング 甲斐総治郎

小松 弘二

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名 電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權



原色の難民群れて春を待つ

徳島・脇町 片山 良樹

中東からヨーロッパへ向かう難民の群れ。人類の歴史を振り返ると、同様のことが幾度も繰り返されてきた。彼らに春は遠いが、春を待つ心は同じだろう。「原色の」に力がこもる。

君も我もやがて大地の花薺

岡山北 米林 真

簡単にいえば人はいつか死ぬということ。それでは身も蓋もないが、白い薺の花になるといえば詩になる。君と我は必ずしも夫婦である必要はないが、ここでは夫婦だろう。

みの虫の安心したる高さかな

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

糞虫が糸をたぐって上へのぼってゆく。やがてそれ以上、たぐることをやめて止まる。それがこの句の安心の高さである。糞虫の心を詠んでいる。

判決を待ちをり雪の地蔵前

埼玉・日高 落合 好雄

勝手な想像を許してもらえぬなら、たとえば交通事故の裁判ではないか。犠牲となった人の供養の地蔵の前で判決を待っているのだろう。降りかかる雪が非情。

黄水仙たてよこなめうしろ向き

北海道・登別 寺島紀子夫

群がって咲く黄水仙。その花の姿を花のさまざまな向きによって描き出す。黄色い絵の具でなぐり描きするように。黄色の言葉の筆致に春の喜びがあふれている。



馬場あき子



伐採し松株の上で流す汗
心地よきかな初春の風

岡山・真庭 山下 薫

作者は松（ヒノキ）を伐採している。樹幹に電動のこぎりを入れたその時から、松の香りが立ち上る爽快さが想像できるが、巨体を伐り倒したあとに切り株の上に立った時の気分は、やりとげた満足感もあって、拭う汗も、春の気配を感じさせる風もいちだんと快いものがあるにちがいない。働く現場の歌であることがすばらしい。こうした現場からの歌が少なくなっている今日、ぜひ続けて投稿してほしいと思う。

植物は雪を消しつつ土の輪を
広げて芽ぶく命ぬくとし

富山・魚津西 加納 綾子

雪に覆われた庭の雪だけは樹下からはじまる。植物の力はすごい。まるくあらわれた黒土の輪は日ごとに広がり、木の芽も草の芽もみずみずしい今年の新芽を押し上げる。小さいのに強い新芽は、草木のいのちの尖端なのだ。歌の結句は「ぬくとし」と結ばれている。もちろん新芽がぬくといはずはない。これは作者その人の新芽への見方であり、感動なのである。

新年を祝うがのとき小正月の
えんぶりの音春が来る音

青森・三戸 加藤 定男



てじま晩秋



感動を棚に遺して本整理

北海道・斜里 辻 舒宏

終活にはまだ先ながら身の回りの処分を実行、と添え書きがありました。本の整理はある意味難しいです。人生のほとんどを一緒に書もあることでしょう。感動の余韻に……ですね。

勝手です生めよ殖やせよ国の為

埼玉・入間南 大野 快三

まさに仰せのごとくです。私の生まれたころ（白状します。昭和一七年です。太平洋戦争真っ最中でした）とは次元が違いますが、少子高齢化のツケを国民に託すのはいかなるものか。

予報士の推す服装で風邪を引く

神奈川・横浜旭 吉原 則光

「春に三日の晴れ間なし」とか「三寒四温」とか昔から言われておりますが、「暖冬」と予報した気象庁も首を傾げるほどの急な寒さに遭遇した今年。作者の実感句でしょうか。

ボランティア続け善行溜めている

大阪・堺清陵 物種 唯修

いいですね。こうした作品と出会うとほっとします。このところの殺伐とした事件、事故の続く中で、当事者を助けたり慰めたりされている方がいっぱい。若き人もたくさんおられます。

解されて吸収され、肝臓でまた新しいタンパク質へと変換されます。タンパク質を消化し、体内に吸収するカロリーは、ブドウ糖を吸収するよりも多くのカロリーを使用します。

安価で吸収しやすいタンパク源に卵があります。卵は、少し加熱すると吸収力が上がり、生や固くゆでると吸収力が妨げられるため、注意しましょう。肉や魚は生に近い形でとると吸収がよいのですが、殺菌という面からも、一つの方法として魚や肉の切り身を酒かすに一晩つけて食すのも、一部がアミノ酸化して吸収力が向上します。

今は果糖摂取が過剰環境にあります。ブドウ糖果糖液糖がそれで、異性化糖とも言います。異性化糖によって脳卒中などの心血管疾患のリスクが増加するという研究結果が出ています。ジュースを水代わりに摂取しないようにしましょう。

日本は遺伝子組み換え食品は加工されたものは表記しなくてもOKなので、なるべく加工されていない、混じりつ気なしの食品を食べる環境づくりも大切です。日本が遺伝子組み換え作物の輸入大国であることを忘れないようにしましょう。

(第三六〇〇地区・長野県・上田東RCにて)

包丁の話

(株)数屋四郎兵衛 社長 平田 永一

日本の包丁は世界に名だたる存在です。現在、家庭用、専門家用にかかわらず、一番多く使われている和包丁は、鍛接という技法で作られています。やわらかい地金と硬い鋼を接合し、鍛造しながら形を整え、いったん高温にしてから急冷して焼き入れを行い、鋼をより硬くし、さらに一定の温度まで再加熱して焼き戻して粘りを出します。その後、最終的な形に整え直し、最後は専門の研ぎ師が刃付けして完成させるという工程です。

鋼とは、一言で言えば炭素を含んだ鉄合金です。鋼は、江戸時代から主に中国山地で産出されていました。中国山地の砂鉄から、古代からの方法、「たたら」で産出される玉鋼は、江戸時代中期までは主に瀬戸内海ルートで大阪に送られ、そこから問屋を通して各地の金物産地に送られていましたが、江戸時代後半になると北前船(買い積み回船)が登場し、島根の安来から新潟の三条、福井の武生、大阪の堺、岐阜の関、兵庫の三木などの金物産地へ直接運ばれるようになった。

りました。

これら江戸時代の金物の産地は現在でもその伝統を守っています。特に堺の包丁は、多くの料理人に使用され、信頼が寄せられています。堺包丁のルーツは、江戸初期に堺港に初めてタバコが入ってきたときに考案されたタバコ包丁だと言われているそうです。

包丁で使われる鋼は、ほぼ一〇〇割島根県安来市でつくられています。日本古来の製鉄法の伝統を受け継いでおり、いろいろな鋼を開発し、研究しています。現在では主に、次の鋼が刃物用として用いられています。

まず、炭素系工具用鋼材のSK鋼が基礎にあり、不純物を取り除いたり、炭素を加えたりして、黄紙(黄鋼)、白紙(白鋼)がつくられます。ホームセンターなどで販売されている炭素系の和包丁や牛刀は、特別な表示がない限り黄紙だと思っ
てよいと思います。白紙は、刃物鋼材の中でもっとも不純物が少ない素材です。包丁を購入する際には、このようなことを意識すると面白いのではないのでしょうか。

(第二六四〇地区・和歌山県・高野山RCにて、同RC会員)

卓話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

東海道五十七次

元東海旅客鉄道(株)専務取締役
東海道町民生活歴史館・館主

志田 威

東海道が大坂(大阪)までの五十七次だったことをご存じでしょうか。歌川広重の「東海道五十三次」の影響で、小学校時代に「東海道は京までの五十三次」と教えるため五十三次が定着しています。が、実際は大坂までの五十七次でした。宿駅は、人馬継立というリレー方式で旅人や荷物を運ぶためのもので、徳川家康は、関ヶ原の合戦で勝利した三か月後には江戸から京までに四〇ほどの宿駅を定めました。家康は大坂まで延ばしたいと思っていましたが、そのころ大坂は豊臣家が押さえていましたから、当初の東

海道は京までだったのです。

しかし大坂夏の陣で豊臣家を滅ぼすと、大坂を西国大名の監視拠点とするため、東海道を髭茶屋追分(大津市追分町)から分岐させ、大坂へ向かう街道を新設して、伏見・淀・牧方(枚方)・守口の四つの宿場を置きました。ですから、宿駅は京までですと五三ですが、大坂まで数えると五七となります。広重の「東海道五十三次」はうそではありません。大津追分から西は、京までと大坂までの二つの東海道が並存していたわけです。ただし、どちらが重要だったかという大坂なのです。

重要文化財になっている幕府制作の『東海道分間延絵図』や、天保一四(一八四三)年に幕府が本格調査した記録『東海道宿村大概帳』にも五十七次であつたことが書いてあります。また、「東海道牧方宿」「東海道守口宿」などと記された帳簿類もたくさん残っています。伏見宿は既に看板に「東海道五四番目の宿」と記し、牧方宿は「東海道五十七次」という絵地図を作り、守口宿は五十七次地図や法被(はっぴ)と幟(のぼり)を作つてPRしています。(第二七六〇地区・愛知県・名古屋名駅RCにて、同RC元会員)

食と健康にまつわる話

豊殿診療所 所長 戸兵 周一

近年、世界の一人に一人が糖尿病という時代で、糖尿病は日本の国民病ともなっています。

日本人は元来、肥満遺伝子を持つ割合が高いのに飽食となり、また、欧米化した高脂質食、高エネルギー食、肉食中心の食生活、かむことの少ない食品が氾濫(はんらん)し、コンビニエンスストアの普及が食品添加物を一般的なものにし、加工品天国になっています。遺伝子組み換え作物は嫌という半面、遺伝子組み換え作物の輸入大国であるわが国の国民は、コーシヤルにのせられながら、利益至上主義の犠牲となっているのです。

長野県は長寿県ですが、同県が行った研究で、それはタンパク質の割合に起因するとの報告があります。この長寿をたぶん構築したであろうタンパク質は、立体的構造をしていて、筋肉を構成するだけでなく物質の輸送や伝達にも関与します。タンパク質は、食事から摂取されると、胃のペプシンでペプチドというシートの構造になります。腩臓(すいぞう)でアミノ酸に分



これからもゴルフ、出席率 100%とともに継続してください

九四歳で優勝 月例ゴルフ大会

三島 伊丹 克明

昨年十一月一八日に行った当クラブのゴルフ部月例大会で、一九二二（大正一〇）年二月生まれの勝又一郎君（当時九四歳）が優勝しました。

永六輔氏の言葉に、「生きていくことは誰かに借りをつくること。その借りを返す義務がある。誰かに借りたら、誰かに返そう」がある。スマートエージングを実践し、人生終わり良ければすべて良し、にしようではありませんか。

（第二七五〇地区 東京都 石油）

六〇歳、 還暦からの応援歌！

三河安城 矢田 良一

勝又君は一九五七年に創立したわがクラブの創立会員であり、創立以来出席率一〇〇〇〇を継続中。九四歳でゴルフができることもすごいことです。出席率一〇〇〇〇を半世紀以上続けていることにも頭が下がります。

（第二六二〇地区 静岡県 日本料理）

私たちが幼いころ、還暦というと「人生、お疲れさまでした」と言葉をかけるにふさわしく、いつお迎えが来てもおかしくない年齢だと思われていたように思う。しかし今日では、還暦の人が「あとは余生を過ごすだけ」という気分になるには、まだまだ元氣すぎる。壮年期のように、ポジティブに新しいことに挑戦するエネルギーはすでに使い果たしているが、余生を細々と過ごしていくほど衰えていない。六〇歳、還暦は難しい年である。

学生時代、当時の土曜ドラマの主人公が芳醇なブランデーに例えて「人生はV S O P」であるといっていた。

バラエティー（Variety＝多様性）に富んだ二〇代。卒業、就職、結婚、そして新しい家庭と目まぐるしく周りの景色が変わっていく。この時期に大事なものは、さまざまな経験を積むこと。あれこれやってみないと自分が

何に向いているかわからない。あまりかたくなに「自分はこれに向いているはず」と思い込み、他を見ず、視野を狭めないこと。多様な世界に触れ、見える世界をできるだけ広げておくといい。

スペシャリティー（Specialty＝専門性）に集中する三〇代。「これでいい」という分野を見定め、その分野に集中して専門性をひたすら深め、「この分野ならあの人」と言われるよう知識、スキルを磨いていく時期。この時期に自分のコアを作り、何の専門家なのかを明確にできるといい。

オリジナリティー（Originality＝独自性）が求められる四〇代。「この発想はあの人だよ」と言ってもらえる働きをする。気力も体力も最も充実する四〇代は、専門性に独自性をプラスして、新たな世界を生み出せるといい。

パーソナリティー（Personality＝人間性）に尽きる五〇代。会社でも地域でも後進を育てる五〇代は、培われた独自性に品性（しんせい）が加わり、人間性が問われる時期。「あの人と仕事したい」と思ってもらえるかどうか。自分のためではなく、誰かのために意識し、人格が切り札になり、最後は人間性の勝負である。

振り返ると現実とはかけ離れているが、はてさて、六〇代とは一体どんな年代なのだろうか？ と思ひ悩む。

（第二七六〇地区 愛知県 司法書士）



中世ヨーロッパ風の衣装を着飾った台中RACの会員たち

と思うが、事実となれば大変なことである。

特徴的なのは、六五歳以上の高齢人口が二三%から四一%に増える。その一方で、一五〜六四歳までの生産年齢人口が、現在の八〇〇〇万人から二〇〇〇万人程度まで減少するという。これでは若者の負担が大幅に増えて、現在の社会保障制度、医療保険制度が全く機能しなくなる。

将来の若者の負担を軽くするために、今、それぞれの高齢者がいかにしてスマートに年を重ねていくかが問われている。そこで、私なりに、スマートエージングなるものを考えてみたい。

基本の第一は、生活目標と具体的な短期プランを持つこと。第二は、学び続けること。第三は、実践・行動に移すことである。これらを実現するためには、次の事柄に気を付けて、努力することになる。

- ① 本をよく読む。
- ② 討議・討論をする。相手の言い分をよく聞き、理解する。そして自分の意見をはっきり述べる。
- ③ 手で字を書く。パソコンに頼らない。
- ④ 誰かのためになる行為、「ありがとう」と言われる行いをする。
- ⑤ 年金以外の収入を得る努力をする。家計に役立ち、自分が必要とされている己の存在感。
- ⑥ 学習する。過去の経験の上に立ち、新しい知識や技術を習得する。
- ⑦ 無理・困難だと思ってもやってみる。

バナー自慢

湯布院ロータリークラブ

第二七二〇地区(大分県)



中央に町のシンボルである由布岳と朝霧を配しました。紺碧の空は人類の平和を願い、緑の大地は湯布院の環境、世界の環境保全を願っています。金鱗湖を源流に、清らかな水が大分川へ注いでいます。その源流を守り、大分の豊かな土地と緑を大切にしていきたいと思っています。

⑧ 外国語を勉強する。

⑨ 自分のことは自分でする。特に家事をする。

⑩ 健康管理・維持のため、適度な運動を欠かさない。

ある精神科医の話では、一般のサラリーマンが定年退職すると、急に時間を持て余し、どうしていいかわからなくなる。毎朝会社に行く習慣がなくなり、戸惑う。会社人間ゆえに、話し合う相手が極端に少なくなる。

生きるには、自己責任が基本であろう。長生きするには、若い時から健康管理、経済的な蓄え、老後の生活設計を持つ必要がある。自立精神の涵養かんようが大切ではないだろうか。

スマートエージングの勧め

東京西 藤原 治

わが国の人口推計によると、二〇一〇年現在、約一億三〇〇〇万人だった人口が、一〇〇年後の二二一〇年には約四三〇〇〇万人に落ち込むという。おそらく悲観的な予測だ

働き始めたころは何もわからず、迷いや失敗もあったそうですが、徐々に業績を伸ばし、現在は住宅総合建設分野へと自社を大きく発展させる一方、地域発展にも意を注ぎ、人望も厚く、宮城県議会議員を連続四期務め、県森林連合組合長なども歴任しました。
酒は毎晩欠かさない、とのこと。大沼先輩、これからお元気で、六〇年、七〇年と頑張つて一〇〇割例会出席を続けてください。

(第二五二〇地区 宮城県 印刷出版)

姉妹クラブ締結三五年 コモR Cを訪問して

十日町 登坂 尚志

一九七五年に十日町市とイタリア・コモ市が姉妹都市締結したことをきっかけに、その五年後、十日町ロータリークラブ(RC)とコモRCも姉妹クラブとなった。

昨年、姉妹都市締結四〇周年を迎え、七月にはコモ市から親善使節団二一人が来市し、一〇月には十日町市の使節団五九人がコモ市を訪問し、両市において記念式典が挙行された。十日町市からの親善使節団の中には、当クラブ会員、家族らが七人おり、コモ市で行われた記念式典、晩餐会に出席し、翌日の夜、コモRCとの交歓会に参加。パナー交換をし、シーフードレストランで白ワインを飲み、大いに盛り上がった。

コモRCの会長エレクトのD・ロンコロニ氏は、仕事で時々来日することと、日本語がかなり堪能だった。一〇年前の交歓会にも出席していた山内正胤君がその時撮った写真を持参し見せていると、「これは私だ」という会長エレクト。あまりの奇遇に、双方がびっくりした次第だった。

またその一〇年前の晩餐会で、コモ市の老婦人が倒れ、救急車が来るまでの間、医者、私が脈を診ていたことを交歓会に参加していたコモ市の職員が覚えていて、あの時の日本の医師はあなただったのか、とあらためて感謝していただいた。しかし考えてみると、イタリアの医師免許は当然持っていないので、どの程度のことまでして良かったのかを考えると、汗顔の至りだった。

姉妹クラブ提携三五周年というものの、五年ごとの記念式典の際には当クラブから数人



今後はコモRC会員の来日を期待

がコモRCを訪問しているが、コモRCからの訪問はこれまでなく、今後の課題にしたいと考えている。

(第二五六〇地区 新潟県 医師)

台中RAC三〇周年 記念式典で感じたこと

東大阪 浅井 勝史

当クラブと台中ロータリークラブは一九六九年から姉妹クラブの提携をしています。昨年度、姉妹提携四五周年を機に、それぞれのクラブが提唱する東大阪ロータリークラブ(RAC)と台中RACが姉妹提携をしました。

その台中RACの創立三〇周年式典が昨年九月一九日に盛大に執り行われ、当クラブと東大阪RACの会員も式典に出席してきました。三〇〇人も来場者が皆、祝福し、主催者側はもちろんのこと、招待客も演奏やダンスなどを披露し、大盛況でした。式典終了後はロータリーアクターたちでカラオケに行き、楽しい時間を過ごしたようです。

今回、式典に参加し、台中RACには元気があり、一体感があり、みんなを楽しませる雰囲気があるように感じました。東大阪RACも台中RACとの姉妹提携後、会員数が増え、数年前に比べると、盛り上がりが出てきたように感じています。違った文化、慣習を

札幌北ロータリークラブ

第二五〇地区（北海道）



一九七一年に創立。昨年二月に第二〇〇〇回例会を行いました。例会場から程近い北海道大学の構内には、有名なポプラ並木が風雪に耐え、市民を見守る力強い姿を誇っています。ポプラ並木をモチーフとし、四本の木は「四つのテスト」をイメージしています。

クラブがどうの、国際ロータリーがどうの、と言う前にロータリアン一人ひとりが常に自分で考えて、世の中のために役立つことをしよう、というのがロータリーの奉仕の精神だと思います。

「ロータリーの目的」の第三には「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること」とあります。奉仕活動の中には、団体で行った方が効果的なものもあります。それは団体奉仕ですばよいのです。

役に立とう

ロータリーの奉仕の理念は「Service Above Self」です。「超我の奉仕」と翻訳さ

れています。日本のロータリー創始者である米山梅吉氏は、「サービス第一、自己第二」と訳しています。「Above」には、「より上に」と「より先に」という意味があります。

人間はとかく自分のことばかり考えがちです。まず他人のことを考えて、自分のことは後で考えようではないか、という米山氏の訳の方が適しているように感じます。

ロータリーで学んだこの「みんなのために、進んで役に立とう」という奉仕の精神を自分たちロータリアンだけではなく、皆にも広げることが大切でしょう。

（第二七〇地区 福岡県 耳鼻咽喉科医）

ロータリー歴五三年
公式訪問日に誕生日

柴田 加茂 勝一

一〇月二八日、わがクラブの最長老、大沼迪義さんの誕生日が、ロータリー歴五三年にして初めて公式訪問日と重なりました。五三年という長さもさることながら、健康で、ロータリーとクラブをこよなく愛し、例会出席一〇〇〇日を継続中。クラブの誇りでもあり、全員で誕生日を祝いました。

大沼さんは岩手大学を卒業後、代々続く家の林業に従事。結婚したばかりの一九六四年、二六歳の時に、クラブの創立に参画し、創立会員になりました。翌年、長男誕生が間

近のころ、青森市で開催された地区大会に参加。その際初めて乗った飛行機が、米軍輸送機のチャーター便で、奥さまと「別れの杯」を交わして出発したのが、忘れられない思い出と言えます。

菅原裕典ガバナーから、誕生記念の花束が贈られるサプライズがあり、「今日は人生最良の日で、こんなに素晴らしい日は初めてです。ロータリアンでなければ決して会うことができなかった人、地域や職業上のお付き合いの中でも出会うこともなかった立派な人たちとお付き合いができ、生き方やものの見方を学ぶことができました。ロータリーは自己修練の場です。今日はロータリー人生のたまものです。菅原ガバナー、皆さま、本当にありがとうございます」と謝意を述べられました。



これからもお元気で 100%出席を目指してください

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

愛と奇跡の 友好クラブ協定調印式

大阪心斎橋 眞鍋 武司

大阪心斎橋ロータリークラブ（RC）は今年度、創立四五周年を迎えました。一月一日に記念式典を開催しましたが、その際、記念行事の一つとして、フィリピン・マカティオリンピアRCと友好クラブ協定を締結しました。その経緯は、まさに奇跡ともいえる物語です。

今から約三五年前、貧しくて大学進学を諦めていた一人のフィリピン人女性が、大阪心斎橋RCの先輩たちが設立した奨学金制度によって、無事に大学を卒業しました。後に成功し、ロータリーから受けた恩を返したい、との思いでマカティブエンディアRCに入会。会長を務めた後、二〇一〇年にはマカティオリンピアRCを創立しました。その女性こ

そ、同クラブの現会長、バービー・リバデネイラ氏。ロータリアンになってからもかつて受け取った奨学金のことを忘れられず、どうしても感謝の気持ちを伝えたいと思っていたそうです。

そんな時、仕事で日本に来る機会を得た彼女は、二〇一二年一月二十六日、ついに大阪心斎橋RCを訪問し、当時を知る会員に再会し、「私は大阪心斎橋RCから教育という素晴らしい翼をもらい、羽ばたくことができました。感謝は言葉では表せません」と、あふれる思いに満ちた、感動のスピーチをしました。

先輩会員によって時[※]かれた愛と善意の種は、この三〇年間で実[※]に育ち続け、感謝の気持ちを忘れない素晴らしいロータリアンによる新クラブ創立という形で花を咲かせまし



友好クラブ協定の調印をするリバデネイラ会長(右)と松田会長

た。そして、今回の記念式典で、彼女が創立したマカティオリンピアRCとわれわれ大阪心斎橋RCが友好クラブ協定を締結するとう、まるで物語のような素晴らしい実を結び、ロータリーとして最高の結果を生むことができました。涙あふれる「奇跡」の調印式でした。

(第二六〇地区 大阪府 不動産管理)

ロータリーで学んだ 一番大切なこと

甘木 富田 英壽

私のロータリーライフは三八年になります。地域社会の選ばれた有識者や異業種のロータリアンからいろいろなことを学ぶとともに、さまざまなロータリー活動を経験させていただきました。その中で学んだ一番大切なことは、「みんなのために、進んで役に立つ」ということです。

みんなのために

ロータリーで私たちは、クラブのため、友人のため、家族のため、職場のため、お客さんのため、地域社会のため、世界のみんなのために役に立つよう教えられています。奉仕・サービスとは、「人の役に立つ」ことです。

進んで

人の役に立つことを「自ら進んで」しようということです。ロータリーは「I Serve」。個人奉仕が主体的な考え方です。ですからク



サクラが満開の大宮公園



将軍吉宗の時代に新田開発
された見沼田んぼのいま

走る映像を、テレビで目にした人も多いのではなからうか。ずいぶんお金のかかるイベントなので批判的な人もいるようだが、清水勇人市長めぐることなく、昨二〇一五（平成二七）年には横浜市が投げ出した「横浜国際マラソン」（前身は東京国際女子マラソン）を引き継いで、第一回「さいたま国際マラソン」を開催している。オリンピックの女子代表選考レースになっているが、この大会出場者からは選ばれなかった。

さいたま市スポーツ文化局がかかわるイベントはまだある。この三月二六〜二七日に開かれた第四回「さいたまマーチ」というウォーキング大会である。さいたま新都心を出発点にして、氷川神社の二キロに及ぶ参道から大宮公園、大宮盆栽美術館や市立漫画会館がある盆栽村、「人形のまち」として知られる岩槻、あるいは見沼田んぼの周辺の道を、五キロ、一〇キロ、一五キロ、二〇キロ、三〇キロのコース別に歩くのだ。今年は昨年より五〇〇人多い六〇五〇人が参加した。現在、見沼代用水周辺には二〇〇〇本の桜並木があるが、将来は、総延長二〇キロを超える日本一の桜回廊にしようとする募金活動が行われている。そうすると、花見がてらのウォーキング参加者が増えるかもしれない。

さて、最後はやはり氷川神社にお参りしなければなるまい。折しも「神主さんと神社を学ぼう」というイベントが開かれていて、境内は大にぎわいだった。

幸があったこと、戦後、GHQの追及に不安を感じて記録類を処分してしまったのが惜しまれるといった話を滔々と弁じてくれたのであるが、最後に、いまも八月一日の例大祭には天皇の勅使がお参りに見えて、宮内庁の楽部による雅楽の演奏もあるという話になったところで、思わず、こちらが口をはさんだ。

「ということは、楽部にいる私の弟も来ているということかな」

遠藤さんは「エッ」といつて直立、名刺で名前を確認しつつ「お兄さまでしたか」と言いつて当方に深々と頭を下げる。遠藤さん、国学院大学の学生時代に、わが弟から雅楽の舞いの指導を受けているのだとか。

私ごとを記したついでに、もうひとつの「びっくりぽん」。氷川神社と大宮公園の下見をした時、県立「歴史と民俗の博物館」で、大宮公園の設計者が林学者の本多静六さんであると知り、そのコーナーに足を止めた。多くの展示物の中に「蔚山城址公園」の設計図があり、設計者として本多さんの名の横にわが父親の名前が併記されているのを発見した。

若いころ、父は本多さんの研究室にいて、先生の指導を受けつつ、小諸の懐古園や朝鮮の庭園の設計をしたことがあると語ってはいたが、その証拠物件をこんなところで目にしようとは！ 大宮に縁がないどころではない。急に身近に感じられた瞬間だった。

池辺史生（いけべ・ふみお）
元週刊朝日記者。現在はフリーランスの記者。
佐藤 敬（さとう・たかし）
写真家。人物の撮影を軸に活動。

名品が多く外国人客の来訪が増えている大宮盆栽美術館。来年はここで第8回世界盆栽大会が開かれる



盆栽町には日本漫画界の先駆者・北沢楽天の事績を紹介するさいたま市立漫画会館がある。楽天は職業漫画家第一号として活躍した



わがまち..... ROTARY そしてロータリー



氷川神社の由緒来歴を熱く語る広報担当の権柄宜・遠藤胤也さん

ここで平田会長が同じ大宮RC会員の川島利雄さんが営む料亭旅館「新道山家」に連絡を取って、宿を確保してくれた。

見沼田んぼをうるおす芝川のほとりのこの旅館も、大宮駅の開業三年後に川魚料理店としてスタートしている。氷川公園（大宮公園）を中心に観光開発が進み、春は桜、夏はホテル、秋は紅葉を売りものにして、盛時には公園の内外に料亭・旅館が二十数軒、芸妓が三〇〇人余もいる「東京の奥座敷」になったそうだが、いまは二軒だけになってしまったという。

大宮駅東口の繁華街、やたらけばけしい看板の店が密集する通りをさまようのもいいが、こういう静かな旅館の座敷で和食を楽しむのもおしゃれと言えよう。

サッカー、自転車、マラソン、
そしてウォーキング

さて、ここまで「鉄道のまち」の側面に触れたが、近年のさいたま市は「スポーツのまち」を標榜している。

埼玉は、埼玉県師範（いまの埼玉大学）でサッカーを学んだ学生が県下の学校に散ってサッカーを教えた結果、サッカーの盛んな土地になったのだそうで、Jリーグの浦和レッズと大宮アルディージャ、二チームのホームタウンになっている。こんな都市はさいたま市だけだと自慢する市民が多い。

大宮RCでも、大宮アルディージャの使い古しのサッカーボールを子どもたちに手入れしてもらい、それをブラジルの子どもサッカーチー

ムに贈る「エコボールプロジェクト」をつづけている。きっかけは、社会人を海外で研修させる大宮RCのプロジェクトでブラジルに派遣された大宮アルディージャの職員が、ボールが買えないほど貧しい向こうの子どもたちにロータリークラブを通じてプレゼントできないだろうかと話したことだ。サンパウロ市で子どもたちの非行防止の活動をしているリベルダーデRCを通じて、毎年七〇〇八〇個のボールが向こうの子どもチームに配られているという。

民間がそんなふうだから、行政のほうも熱心で、二〇〇三年からは、世界の強豪クラブチームを招いて浦和レッズなどと対戦させる「さいたまシティカップ」を開いてきた。

そして、二〇一三年からは「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」なる大会を

さいたま市が主催している。「世界最大の自転車ロードレース」と言われるツール・ド・フランスの参加チーム上位入賞メンバーが、さいたま新都心駅周辺の街路をものすごいスピードで



左：大宮アルディージャの使い古しのボールを磨くサッカー少年たち。オレンジの運動着を着たアルディージャの鈴木茂代表も大宮RCの会員。下：（写真提供・平田繁さん）昨年、ブラジルで行われたそのボールの贈呈式の模様





左から大宮RC長老の岩井良彦さん、若手の満山隆志さんと会長の平田繁さん



3月26日に開通した北海道新幹線の祝賀行事。
中牟田久駅長も一番列車の送迎をした

あったりするから、「鉄道ファンにはたまらないだろうね」などと言いつつ、こちらでも楽しく館内を見て回った。

そのあと、開業して一三一年になる大宮駅の四九代目の駅長・中牟田久^{なかつた}さんを訪ねた。電車の運転にあこがれて国鉄に入社したが、実際に乗務したのは横須賀線の二年間だけだったか。いまも運転に未練が残っている感じ……。

この三月二六日から新幹線が北海道まで行くようになったが、東北・北海道・秋田・山形新幹線、ならびに北陸・上越新幹線の各列車はすべて大宮に停まる。在来線は、高崎線、宇都宮線、京浜東北線、埼京線・川越線、湘南新宿ラインなど。22番線まであるホームに発着する旅客列車は合わせて一六四五本、一日の乗車人員

車、昭和五七（一九八二）年の開業当時に使われていた東北新幹線・上越新幹線の222形車両など、日本の鉄道史を彩る車両三七両が展示されている。ほかに、疑似運転体験のできるシミュレーターホールも

は二四万五〇〇〇人。JR東日本では八番目の多さだという。これに対して駅員は約二四〇人。日々さまざまなトラブルがあるだろうから、駅長さんの仕事も大変だ。

運転士、車掌、車両・設備のメンテナンスなどに当たっている人も合わせると、大宮エリアで働くJRの社員は一三〇〇人ほどになるという。昔はもっと多かったそうで、なるほど「鉄道のまち」だ。

昔話を聞くべく、大宮RCの古参会員・岩井良彦さんに会った。大宮RCは昭和三一（一九五六）年の創立、五月に創立六〇周年を迎える。昭和六年生まれの岩井さんは八四歳。東京オリンピックの年の人会というから、ロータリー歴五〇年を超えるが、なお要領^{ようりやう}たるものだ。

祖父は、氷川神社のおひざ元で三方^{さんぽう}など神さまに供える道具をつくる木具職^{きぐしやく}だった。鉄道の駅ができて駅弁が売られるようになり、折り箱の製造を手がけるようになった。いまは発泡スチロールのトレーや割り箸やら、食品関連の包装資材を手広く販売している。懐かしや、最近ほとんど見かけなくなった経木^{きようぎ}もあった。

戦時中、大宮工業学校の生徒だった岩井さん、陸軍の造兵廠^{そうへいじやう}に勤労働員され、風船爆弾の製造にかかわったという。「空襲警報が出ると、家に帰るように命じられたね」

岩井さんに会った後、東京に帰るつもりだったが、大宮の夜を探索する必要もあるかと考えた。あいにくサッカーのワールドカップ予選の試合が埼玉スタジアム2002である日だったせいでもあろうか、ホテルはどこも満室。そ

同じ日、「さいたまーチ」に参加した人たちにぎわう氷川神社の2キロの参道



わがまち.....ROTARY そしてロータリー

埼玉県さいたま市



「鉄道のまち」として発展 いま「スポーツのまち」へ

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

新幹線の分岐点
鉄道交通の要衝・大宮駅

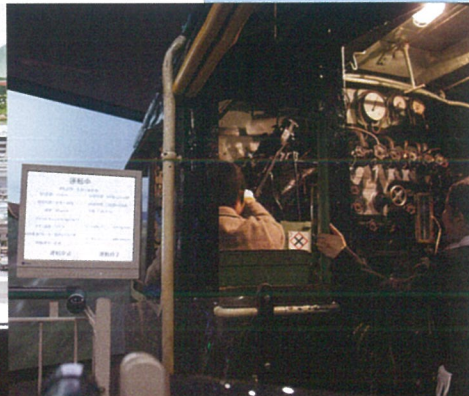
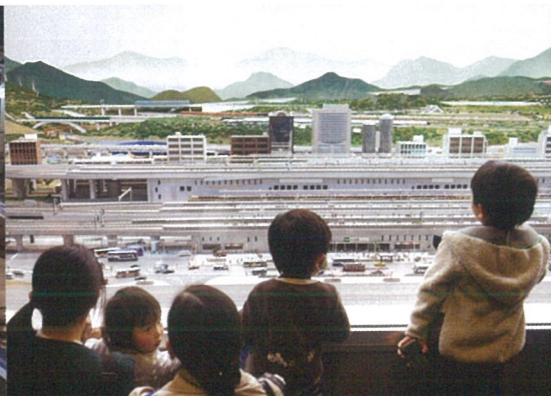
人口一二七万、全国九位の「さいたま市」が相手となると、でかすぎて焦点の絞りようがない。大宮ロータリークラブ（RC）の平田繁会長や満山隆志さんと計らって、旧大宮市域を中心に案内してもらうことにした。

大宮については、この地の氷川神社が聖武天皇の時代に武蔵国一宮とされたことが地名の由来らしいこと、中山道の宿場町だったこと、戦後、東京のベッドタウンとして大膨張したことからいはい知っていた。ただ、個人的にはほとんど縁がなく、長野あるいは新潟方面にスキーに行つての帰り、ここで埼京線に乗り換えるのが常だったから、大宮は乗り換え駅という印象ばかりがある。

しかし、大宮が「鉄道のまち」と言われるのは、明治一八（一八八五）年に大宮駅が開業してから発展した経緯があるからである。その二年前、いまの高崎線の前身、日本鉄道が上野から熊谷まで開通した時、途中の駅は王子、浦和と来て、その次は上尾だった。これでは取り残される。当時の有力者が土地を提供したりして、東北本線（宇都宮線）の開通を前に大宮駅を誘致したのだ。さらに車両修理のための鉄道工場（いまの大宮総合車両センター）や機関庫が相次いで設けられ、弾みがついた。

ついでに言えば、平成一九（二〇〇七）年には、東京・秋葉原にあった交通博物館が鉄道博物館として大宮に開業し、年間約八〇万人の入館者でにぎわっている。明治五（一八七二）年、日本で最初に新橋・横浜間を走った英国製蒸気機関車、「貴婦人」と呼ばれるC 57形蒸気機関

左：C 57形蒸気機関車などの実物車両が並ぶ鉄道博物館、中：模型の列車が走り回る巨大な鉄道模型ジオラマは子どもたちに人気、右：模擬運転も体験できる



が寄ってくるのです。対照的に子どもに言うのは「あなたは大きくなったらうんこになるの?」。ちょっと汚い話で申し訳ないのですが、そうすると金バエとか変なやつが寄ってきて、足を引っ張られてまた同じ運命の繰り返しの中に入って行ってしまう。これを断ち切らなければならぬ。それにはきれいな心にして、良い行動をさせて、良い習慣をつくって、良い人格になって、運命を変える。こういうふうにしなればいけない。私は本当にそう思っています。

最後に、児童養護施設円福寺愛育園のお話をしたいと思います。児童養護施設の養育の目的は、児童を自立させることです。このことについて父は次のように書いています(円福寺愛育園創立五〇周年誌『大きな家族』一九九九年刊行 一七ページ)。

「この児童をいかにして自立させるかということ、日本をいかにして自立させるかであり、社会の貢献できる人格に育てようということとは、日本国民が世界につくす国民になることであり、この施設の子ども達にプライドを与え、人生の生きがいを与えるということは、日本国民にプライドを与え、人生の生きがいを与えることであり、更に人類の一人として地上に敵無き世界一家の未来を創造することができる可能性を証明することなのであります。これこそが今日の家庭、学校、国家が目指すべき最も重要な問題中の問題なのであります。児童養護施設の仕事は、少ない児童に対する本当に小さな実践なのですが、世界に影響するこれだけ大きな仕事でもあります。そう思って、職員を励まし

ています」

今、当園は三歳から高校三年生までの三四人の子どもを預かって育てています。子どもに「自立」の力を付け、社会に貢献できる人格に育て、プライドを与え、人生の生きがいを与えるため、子育てで力を入れていることは三つあります。一つは子どもたちに夢を持たせることです。夢の実現のために、毎日の生活を自律して送らせる。そのために、援助を惜しまないことを伝え、励ましています。

二つ目は日課を守り、その質を上げることです。当園の子は全員が朝六時に起きます。数年前は六時に全員、起きることはできませんでした。特に高校生は起きませんでした。皆さんのご家庭でも、お子さんが毎日六時に起きるということは、なかなか難しいのではないかと思います。そして、父が児童養護施設を始めてからずっと続いている朝のおまじりをします。朝のおまじりは般若心経を唱え、仏教歌を歌って朝の誓いをします。般若心経は子どもたち全員そろって、とても大きな声で読むようになりました。その後「はきものをそろえる」を唱和して、みんなで一緒に朝食を食べます。

これは簡単なことのようにですが、そうではありません。現在、寝ている高校生に起きろ、と言って手を引っ張ったり布団をはいたりすれば、児童虐待と言って訴えられます、絶対できません。大きな声でお経を唱え歌を歌い、お誓いや「はきもの」を唱和することは、自分からその気にならないとできません。私はこのように、全員が朝の日課の生活ができるようになってい

たことを、誇りに思っています。

三番目は行事です。愛育園の職員は子どもたちの心を満たすために、たくさん行事を考え創造しています。心を満たされ、職員と人間関係ができた子どもたちは、自分の力で日課に取り組み、学業に取り組み、夢を実現しようと努力するのです。

私は円福寺愛育園の職員を誇りに思っています。ここまで力を合わせ、子どもたちの喜びをわが喜びとして、苦労をいとわない職員を誇りに思っています。今、家庭ではいろいろな問題があります。世の中を震撼させるような事件が新聞に大きく出ています。こういった中で、当園は理想の養育の場でありたいと思います。理想の養育をして、子どもたちの悪い運命を断ち切って、良い運命の中に、良い循環の中に、全ての子どもを投げ入れてあげられるように、一生懸命に努力をしているところです。

私の「凡事徹底」は今も続いています。今は子どもたちが六時に起きますから、朝五時二〇分には出勤して、廊下のぞうきんがけと六つのトイレの清掃をします。このことにより、さまざまな気付きがあります。良い影響があります。そして、職員や子どもたちの心をきれいにしていくと信じています。

どうか皆さま、奉仕の理想の原点とも言える、「はきものをそろえる」といった身近な、平凡ではあるけれども、継続することによって、大きな力になる活動を、手を携えて行っていたけると大変ありがたい、と思うところがございます。

(ホスト 燕R C)

下智茂氏が、部室やベンチに掲げ、部員に人としての道を説いた言葉があります。それは「心が変われば行動が変わる／行動が変われば習慣が変わる／習慣が変われば人格が変わる／人格が変われば運命が変わる」というものです。

この、心を変えることの第一歩が「凡事徹底」ではないでしょうか。「はきものをそろえる」ことも「徹底したお掃除」も、心が変わることによりできるようになり、それはかえって心に影響を及ぼし、習慣となるのだと思います。それが、人の運命をも変える力になるのです。

はきものをそろえるところもそろえるところがそろうとはきものもそろう

ぬぐどきにそろえておく

はくどきにころがみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきつと

世界中の

人のころもそろうでしょう

曹洞宗の教えでは「修証一如」と言います。

修行と証とは一つ。心と行動は実一つ。はきものをそろえる心と行動は実一つ。心はきれいになると、乱れたはきものは直したくて仕方なくなる。心と行動は一つです。だから

はきものをそろえる心もそろう。心がそろうとはきものもそろう。こういうふう

に言うのです。ね。そしてこのように行動が変わってくる

それが習慣になってくる。たった一つのはきものをそろえる行動が、習慣になってきます。

はきものをそろえる行動には、二つの意味が

あると思います。一つはいつも自分の足下を見るところです。これが、曹洞宗の教えの「脚下照顧」、まず足下を照らして顧みなさい。まず自分の足下を見なさい、自分のやっていることを顧みなさい。あなたは何をやっていますか？これが「脚下照顧」、はきものをそろえるという意味です。

もう一つは、はきものをそろえるということ、周りの人に思いやりの心を与えるのです。きれいにはきものがそろっていると、後から来る人が「ああ、うれしいな」と、とても気持ちよくなります。お盆に、「お棚経」といってあちこちのお宅を回りお経を読みますが、玄関をガラッと開けた時、はきものがそろっているお宅に行くと「ああうれしいなあ」、そして「ご先祖さまありがとうございます」とお経を読みます。はきものがメチャクチャになっていると「このお宅大変だな、ご先祖さま助けてください」と、お経を読むのです。

はきものがそろっているということは、周りの方に対しての、思いやりがあるということ

あり、心をきれいにすることにつながると思われるのです。そうするとこれが習慣になって、習慣になるとそれがその人の人格になる。その人格がその人の運命を変える。これは私が思うに、人格が良い人には、人格が良い人が集まってくる、そう思うのです。

大きくなったらみんなのために
きれいな花を咲かせましょう

大きくなったらみんなのために
つくせる人になりましょう

これは、私の父が作詞した円福幼稚園の園歌です。父の後を私が経営しています。この歌を毎週、子どもたちが歌っています。私は子どもたちにわかりやすく、「あなたはお花になるの？大きくなったらきれいなお花になるの？」というふうに話して心に染み込ませます。きれいな花にはきれいなチョウチョウがやってくる。花がチョウチョウを呼ぶのでしょうか、チョウチョウが花にやってくるのでしょうか。それは両方の相互作用です。

きれいな花を咲かせる人にはきれいな心の人



藤本 光世

■ 児童養護施設円福寺愛育園園長

一九四八年 長野県生まれ。七〇年 東北大学工学部卒業。七二年 東北大学大学院理学研究科物理学第二専攻修士修了。以後、長野県内の高等学校教員を勤めるが、七六年 高校教員を一旦退職し 大本山永平寺で一年間修行。九八〜二〇〇一年 長野南高等学校校長。〇一〜〇六年 松本深志高等学校校長。〇六〜〇八年 上田高等学校校長。現在、(社) 円福会理事長、児童養護施設円福寺愛育園 (http://enpukuji-aikuen.com) 園長、曹洞宗円福寺 (http://ryu-enpukuji.com) 住職、(学) 円福学園 (認定こども園 円福幼稚園) 理事長、国際ボランティア (カンボジア校舎建設) 支援・タイスラム児童支援) 円福寺友の会会長、保護司。長野南RC会員。

と監督に付いていない。掃除道具がそろっていない。生徒は職員が見ていないのを良いことに、掃除しない。これらをどうするかです。日ごろから清掃をしていないから、トイレの道具はメチャクチャ、雑巾はぬるぬる、道具置き場はゴミのたまり場になっていました。どうしたらよいでしょう。

私が行ったことは、まず道具を良くすることでした。道具を全部新しくしよう。そして、きちんと整理して置くようにしよう。これを夏休み中に行いました。そうしたら、事務長さん先頭にして五、六人の行政職員の方が、新しくそろった道具で、全てのトイレをピカピカにしてくれました。

私は二学期の始業式で、行政職員の皆さんが便所掃除してくれたことを、生徒に話しました。詩人・濱口國雄（一九二〇～一九七六）の「便所掃除」の詩を紹介し、生徒の手で毎日きれいに便所掃除をしてほしいと訴えました。

さあ、訴えたら生徒は動くでしょうか？ 動きません。そんなに簡単に人間は動きません。それなら私が「やってしまおう！」と決意して、そこから、私のトイレ掃除が始まりました。これが私の「凡事徹底」第三段でした。

さすがに女子トイレはできなかったですが、男子トイレ七つ、これを毎朝すべて清掃しました。七時半に出勤しジャージに着替えて、七つのトイレをきれいに清掃して、その後一階から四階までの廊下と階段を全部、モップ掛けして、その後は校地内のゴミを全部拾い、それから校地周囲の道路のゴミを拾って、始業が近くなる

と校門に立ち、生徒とあいさつを交わしました。そうしたら、学校はとっても良くなりました。私の任期が最後の五年目は、現役進学率が六四%まで上昇しました。東京大学を例にと、それまで浪人が主で一〇人に達しなかったのが、現役で一〇人、浪人五人、合計一五人も入りました。しかも、現役の一〇人は東大の全類の制覇です。理Ⅰ、理Ⅱ、理Ⅲ、文Ⅰ、文Ⅱ、文Ⅲ全部入りました。全類制覇は学校全体の力がないとできないものなのです。

これには、本当にすごいなと思いました。周開をきれいにすることによって奇跡が起きる。こういうふうに私は思ったのです。

私は深志の次に、県立上田高校に赴任して、同じようなことを行いました。上田高校の実習生からもらった手紙には、私の教育についての話が強く印象に残った、と書いてありました。それは、心のコップが上向きになっているか、下向きではいくら何を注いでも流れてしまふ、という話です。

「校長先生の教育方針に私はとても影響を受けました。さまざまなお話をお聴きしましたが、その一つひとつにとっても感銘を受けています。失礼な言い方かもしれませんが、私は何よりも先生が生徒の立場まで下がって、お手本を見せることによって“存在として教える”という先生の姿勢に、驚きと得も言われぬ感動がありました。教師も生徒と同様、常に学ぶ存在であり、教育するのではなく、いつも生徒に教えられ、それにより、より良い教育を模索していなければならぬ」ということも知りました。短い間に、

数えきれないほどのことを学びました」

私との出会いを喜んでくれた実習生は「最後になりましたが、上田高校がきれいになったこと、それによって先生方、生徒の心まできれいになっていることに私は気づかれました。私もいつか校長先生のような教育者になれるように、頑張りたいと思います」と述べてくれました。

私が上田高校を去る時に、ある職員が「校長の影響力は本当にあつた。校長によって学校は本当に変わっていくものだ。今、上田高校は本当に空気が澄んでいるという気がしています」と書いた手紙をくれました。

はきものをそろえると こころもそろう

今、私が経営している児童養護施設の子どもたちは、悪い運命の中で生きてきた子です。悪い連鎖の中に入ってうちに来た子どもたちの運命を断ち切って、そして良い運命の中、良い人間関係の中に入れてあげなければいけない、と私は思っています。

そのためにはやはり良い環境、凡事徹底、平凡なことを続けて行うこと。きれいで良い環境の中に自分を追い込んでいく、そういう環境で包んであげる。そういうことが私は大事だと、本当にこれが力になると思っています。

さて、父の言葉「はきものをそろえる」です。ニューヨーク・ヤンキースで大活躍した松井秀喜選手が、石川県の星稜高校生の時の監督・山



写真提供：円福寺愛育園 愛育園祭全員演舞「ソーラン」

少なくとも嫌だな、という思いを取り除くことに、この通勤途上のゴミ拾いはつながったのではないかと思います。

この行為は、一度続けると習慣になるのです。その次に赴任した高校は県立長野南高等学校です。今度の学校はちよつと遠くて、約六キロ^{メートル}離れていたで、車で行かないとならないものですから、少し早めに出勤し、学校周囲約一キロ^{メートル}半径のゴミを拾いました。一時間から二時間くらい拾うのです。そうすると、生徒が見ていて「校長先生えー！」と手を振ってあいさつをしてくれたり、畑で働いている人から「いつもゴミを拾っている先生だね、持っていって」などとリンゴをもらったりしたこともあります。

心のコップが 上向きになっているか

その次は、長野県で一番歴史と伝統のある、県立松本深志高校に赴任することになりました。この高校は当時、現役進学率は五割に届かず、実績も振るわなかったのです。前任校までは、校地外のゴミ拾いしかしていなかったのですが、学校の汚れを見て、思い切って廊下のモップ掛けを始めました。ジャージに着替えてモップを二本持って、学校中の廊下をモップ掛けしてしまふのです。これが私の「凡事徹底」の第二段でした。

そうは言っても、掃除もいき届かないようになってしまった学校をきれいにするというのは至難の業です。職員が「生徒の『自治』だ」

はきものをそろえる 私の凡事徹底

はきものをそろえるということには、二つの意味があると思います。一つはいつも自分の足下を見るということです。もう一つは、周りの人に思いやりの心を与えるのです。

児童養護施設円福寺愛育園園長 **藤本 光世**
Kousei Fujimoto

平凡なことを徹底することで 平凡は非凡になる

「奉仕」という言葉は、曹洞宗で言えば「世のため人のために尽くす」ということです。「世の人々と目線を同じにして」または「世の人々とともにありながら」という意味が、あるように思います。これが、曹洞宗の開祖・道元（一一〇〇～一二五三）の『正法眼蔵』から抜粋され、まとめられた『修証義』第四章「発願利生」の神髄です。「発願利生」は、宗歌となっていて、父の誓願でもありました。

我は仏にならずとも

生きとし生けるものみなを

もろさず救い助けんと

誓う心ぞ仏なる

私が「凡事徹底」という言葉を（株）イエローハットの社長をされた鍵山秀三郎氏からお聞きしたのは、一九九四（平成六）年二月です。父が曹洞宗の教え「脚下照顧」を「はきものをそろえる」というわかりやすい言葉で表し、その意味を詩にしたのが、今から五〇年くらい前のことでした。この言葉に「日本を美しくする会」

の会長もされた鍵山氏が共感され、父が懇意にしていたとき、そのご縁で、父が会長を務めておりました南長野仏教会が、毎年二月と三月に開催していた仏教講座に、講師としておいでいただきました。その時に私は初めて、鍵山先生のご講演を聞いたのです。

「凡事徹底」という言葉自体、当時はありませんでした。「凡事徹底」とは「平凡なことを徹底して継続することによって、平凡は非凡になる」という意味です。そして鍵山先生の継続、平凡なことを徹底して行う、ということは掃除だったのです。本当にすごいなと思いました。

社員が、いろいろな街へ掃除に歩く、その掃除をする広さと質が、その掃除をする人の人格に比例する。このように言われました。会社の車は雨が降っても雪が降っても毎朝洗う。そしてお客さまに「そう言えば、この会社はいつも車がきれいだなあ」と、思われなければだめだと。

そのころ私は、父が第一回卒業生でもある長野県立屋代高校に教頭として勤めていました。鍵山氏に刺激を受け、「私も何か」と思って、学校まで車では五分か一〇分で行かれるところを徒歩にして、道路に落ちているゴミはみんな拾ってしまおう、と思いました。左手にゴミ袋を、右手に金ばさみを持って通勤することになりました。拾っているうちに気持ちが悪くなり、これはなかなか良いぞ、と思うようになったのが、私の「凡事徹底」の始まりです。

「はきものをそろえる」ということもそうなのですが、何か周囲の人が良いなと思うこと、

5月は青少年奉仕月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

はきものをそろえる 私の凡事徹底

■児童養護施設円福寺愛育園園長 藤本 光世

4
73

シリーズ わがまち……そしてロータリー
「鉄道のまち」として発展 いま「スポーツのまち」へ
埼玉県さいたま市

文・池辺 史生 写真・佐藤 敬

9
68

友愛の広場

愛と奇跡の友好クラブ協定調印式

大阪心斎橋 眞鍋 武司

ロータリーで学んだ一番大切なこと

甘木 富田 英壽

ロータリー歴五三年 公式訪問日に誕生日

柴田 加茂 勝一

姉妹クラブ提携三五年 コモRCを訪問して

十日町 登坂 尚志

台中RAC三〇周年記念式典で感じたこと

東大阪 浅井 勝史

スマートエージングの勧め

東京西 藤原 治

九四歳で優勝 月例ゴルフ大会

三島 伊丹 克明

六〇歳、還暦からの応援歌！

三河安城 矢田 良一

●バナー自慢

卓話の泉

東海道五十七次

志田 威

食と健康にまつわる話

戸兵 周一

包丁の話

高野山 平田 永一

18
59

ロータリー 俳壇

◆長谷川 權 選

20
57

ロータリー 歌壇

◆馬場あき子 選

20
57

ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

20
57

ロータリー・アット・ワーク

総合レジャー施設で
ロータリーデー開催

刈谷ロータリークラブ

22
55

〈写真〉顔姪／大牟田南／水口／福島・二本松・
福島南・福島西・福島中央・二本松あだたら・
福島21／東京小平／善通寺／越谷南／河内長野東



南インドにおけるメンタルヘルス支援事業

第二七三〇地区

セブ島の就業支援プロジェクト

海南東・海南西

ハワイに日本の桜を！ 植樹式に参加して

東京渋谷

中高生らを対象に講演会開催

佐久コスモス

小さなクラブに☆印三つの出来事

東京世田谷中央

炉辺会議開催！ ロータリーを学ぼう

浦和東

高齢者施設にタオルと日めくりを寄贈

森

お正月を遊ぼう

甲府北

第九回ひむかかると大会開催！

宮崎中央

金沢みなとRC杯ミニバス大会開催

金沢みなと

●内外よろず案内

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

30
47

表紙 横組み 「天空の聖地」 脇村 重徳（二六四〇 有田）

縦組み 「はての浜」 横野 博史（二六九〇 岡山南）

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4〜5ページにあります。
●本文写真などの無断転載・複製を禁じます。

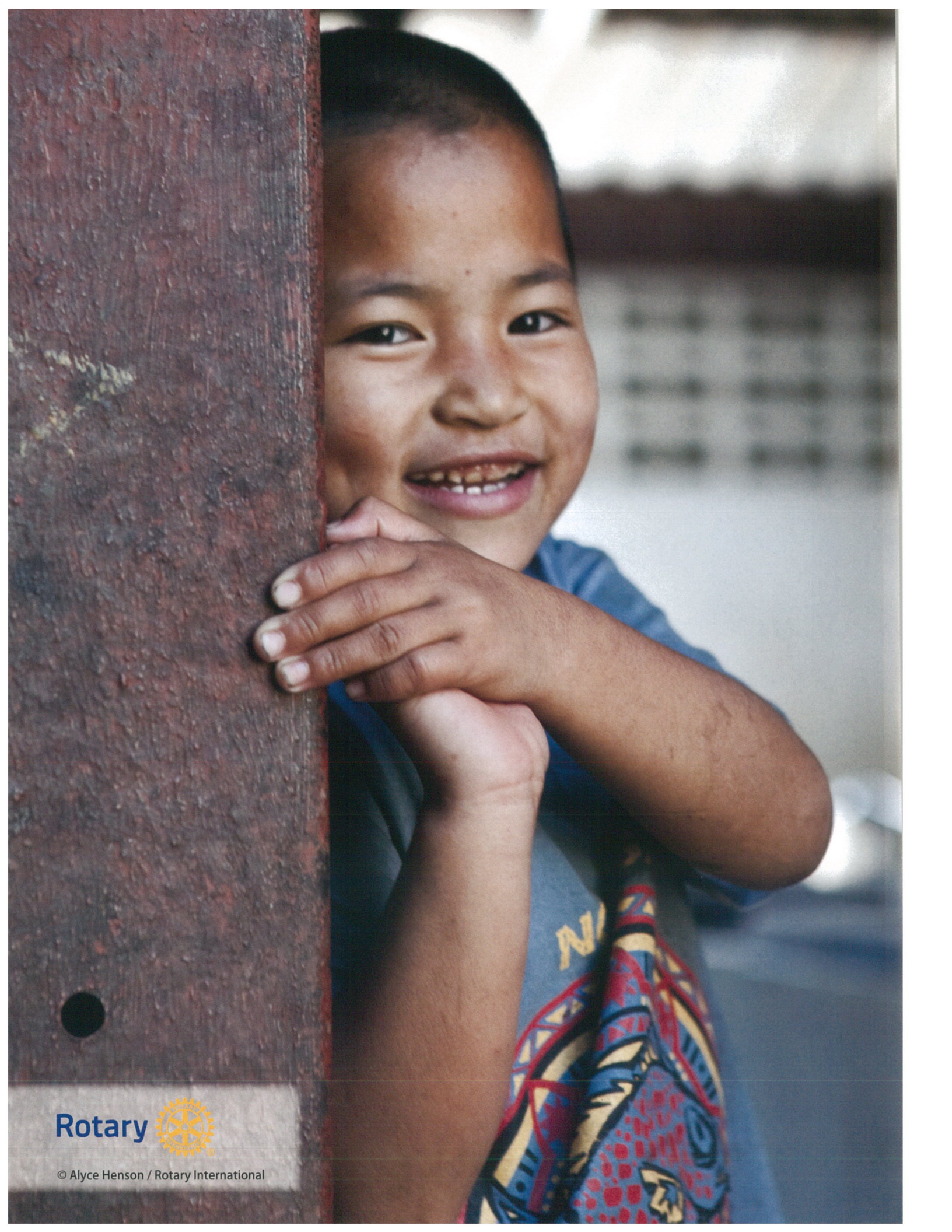
一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp



© Alyce Henson / Rotary International

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO MAY 2016 VOL.64 NO.5

ロータリーの友5月号 第64巻 第5号
平成28年5月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻761号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

5
2016



SPEECH ———

はきものをそろえる

藤本 光世

わがまち……そしてロータリー
埼玉県さいたま市

Rotary 